

大正九年七月十九日(月曜日)

午前十時八分開議

議事日程 第十二號 大正九年七月十九日

午前十時開議

- 第一 公有林野官行造林法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第二 朝鮮ニ於ケル國勢調査ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第三 北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第四 帝國鐵道電力株式會社法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第五 朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第六 關稅定率法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第七 國債償還資金ノ繰入ヲ爲ササルコトニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第八 事業公債金特別會計法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第九 道路公債法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第十 電信事業公債法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第十一 電話事業公債法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第十二 朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第十三 臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第十四 樺太事業公債法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第十五 大正五年法律第四號中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第十六 國債整理基金特別會計法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第十七 家祿賞典祿處分法施行法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第十八 鐵道國有法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第十九 京釜鐵道買收法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第二十 大正九年勅令第五十二號(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 第一讀會

會議(委員長報告)

第二十一 郵便貯金法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

一昨十七日第九部ニ於テ決算委員田中源太郎君ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果中村純九郎君當選セリ

同日豫算委員分科會ニ於テ當選シタル主査ノ氏名左ノ如シ

第一分科主査 伯爵奧平 昌恭君 第二分科主査 伯爵松浦 厚君

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

銀行條例中改正法律案外五件特別委員會 委員長 高崎 親章君 副委員長 安田 善三郎君

大正四年法律第十六號中改正法律案特別委員會 委員長 子爵稻垣 太祥君 副委員長 大島 健一君

少年法案外一件特別委員會 委員長 伯爵寺 島 誠一郎君 副委員長 岡田 文次君

同日特別委員會ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

大正九年勅令第五十二號(承諾ヲ求ムル件)可決報告書

同日決算委員長ヨリ分科擔當委員ヲ左ノ如ク決定セル旨報告書ヲ提出セリ

第二分科 中村純九郎君

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、本會期中法案ノ通牒文ノ朗讀ハ總テ省略イタシタイト考ヘマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第一、公有林野官行造林法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔左ノ通牒文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

公有林野官行造林法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正九年七月十六日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長與繁三郎

公有林野官行造林法

第一條 國ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ公共團體トノ契約ニ基キ收益ヲ分收スルノ條件ヲ以テ公有林野ニ造林ヲ爲スコトヲ得

第二條 前條ノ規定ニ依ル造林ニ係ル樹木ハ國ト公共團體トノ共有トシ其ノ持分ハ收益分收ノ歩合ニ均シキモノトス

民法第二百五十六條ノ規定ハ前項ノ樹木ニ付之ヲ適用セス

第三條 國ハ第一條ノ規定ニ依リ造林ヲ爲ス公有林野ニ同條ノ契約ノ存續期間中地上權ヲ有ス

第四條 公共團體ハ第一條ノ規定ニ依リ造林ヲ爲ス公有林野又ハ第二條ノ規定ニ依ル持分ヲ處分スル場合ニ於テハ國ノ承認ヲ受クヘシ

第五條 第一條ノ規定ニ依リ造林ヲ爲ス公有林野ノ產物ニ關スル權利ニシテ國ニ屬スルモノハ勅令ノ定ムル所ニ依リ當該公共團體ニ之ヲ讓與スルコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣(山本達雄君) 唯今議題ト相成リマシタル公有林野造林ノ件ニ付

キマシテ、此公有林野造林ノコトニ付キマシテハ、是マデ政府ニ於テモ種々獎勵ヲ致シテ居リマスルガ、ドウモ兎角其效果ガ抄リマセヌノデアリマシテ、既ニ今日公有林野トナツテ森林トナスベキ町步ガ約百万町步モアルノデゴザイマスガ、是等ヲ今日ノ儘ニ捨置キマスルト云フト、國土保全ノ上ニ付キ、又經濟上ニ於キマシテ非常ナル不利デゴザイマスル故ニ、此度ハ政府ニ於テ官行造林ヲ致シマシテ、サウシテ市町村……、此公共團體ト相談ノ上ニ於テ、ソレニ造林ヲ努メマシテ、他日此成功ノ後ニハ、ソレヨリ得ル所ノ利益ハ公共團體ト國家ト分收ラスルト云フ、約束ノ上ニ於テ、造林ヲシタイノデアリマス、ソレニ付キマシテ、最初ニ於テハ主モニ此苗木ヲ植エルト云フコトニ付テ相當ナル豫算ヲ取ツテ居ル次第デゴザイマス、ドウカ御審査ノ上ニ御協賛

アラムコトヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 別段御質疑モナイヤウデゴザイマスカラ、特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス

〔成瀬書記官朗讀〕

公有林野官行造林法案特別委員

- 伯爵吉井 幸藏君 子爵松平 直平君 子爵片桐 貞央君
- 男爵南岩倉 具威君 男爵平野 長 祥君 男爵黒川 幹太郎君
- 高橋 琢也君 鈴木 摠兵衛君 野々村 久次郎君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二、朝鮮ニ於ケル國勢調査ニ關スル法律案、

政府提出、衆議院送付、第一讀會

朝鮮ニ於ケル國勢調査ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十六日

衆議院議長與繁三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

朝鮮ニ於ケル國勢調査ニ關スル法律案

第一回國勢調査ハ朝鮮ニ之ヲ施行セス

〔政府委員古賀廉造君演壇ニ登ル〕

○政府委員(古賀廉造君) 本案ハ朝鮮ニ於ケル國勢調査ノ延期ヲシヤウト云フ法案デゴザイマス、御承知ノ如ク本年十月一日ヲ以テ全國ノ國勢調査ヲ致スコトニ相成ツテ居リマス、朝鮮モ亦其範圍ニ屬スルノデアリマス、既ニ前年其調査ノ繼續費トシテ議院ノ御協賛モ得タ次第デアリマス、爾來準備ヲ進ムルニ從ヒマシテ、朝鮮ニ於テハ、何分ニモ此十月一日ニ國勢調査ヲスルニ必要ナル人員ト云フモノガ不足致シマシテ、之ヲ行フコトガ出來ナイノデアリマス、朝鮮ニ於テハ約十萬ノ調査員ヲ要スルノデアリマス、調査員ト監理員ノ數ヲ要スルノデアリマス、然ルニ實際候補者トシテ數ヘ上ゲラレタ所ノ者ハ、僅ニ五萬ニ足ラス數デアリマス、殊ニ中二萬何千ト云フモノハ通譯ヲ要スル、是モ甚ダ覺東ナイモノデアアル、ドウモ此短期日ニ於テ、外五萬ノ調査員監理員ヲ得ルト云フコトハ不能デアリマス、今回ニ限ツテハ之ヲ延期シヤウト云フコトデ已ムナク本案ヲ出シタ次第デアリマス、何卒御協賛アラムコト

ヲ願ヒマス

○伯爵柳澤保惠君 簡單ニ質問致シマス、唯今ノ御説明ニ依リマスルト、監理員並ニ調査員ノ數ガ不足デアッテ豫定ノ如キ數ヲ得ラレナイカラ延期スルト云フコトニ伺ッタノデアリマス、然ルニ今春ノ議會ニ於キマシテノ其ノ御説明ヲ承ハリマスルト云フト、朝鮮ノ國情ハ國勢調査ノ執行ヲ許サナイ、即チ動亂状態ニ居ル所モアリ、殊ニ其方ニ重キヲ置カレテノ施行ノ延期ノヤウニ伺ッタノデアリマス、然ルニ今日ノ御説明デハ、調査員ノ方ノ理由ニ重キヲ置カレタノデアリマス、私ハ茲ニ於テモウ少シ詳シク其説明ヲ伺ヒタイノデアリマスガ、拓殖局長官ニ於テ御説明ガ不十分デアラナラバ朝鮮ヨリノ政府委員ニ伺ッテ宜シイノデアリマス

〔政府委員古賀廉造君演壇ニ登ル〕

○政府委員(古賀廉造君) 唯今柳澤伯爵ノ御質問中、朝鮮ノ國情ニ照シテ云云ト云フコトモ成程一ツノ理由ニ相成ッテ居リマス、之ニハ格別重キヲ置カヌノデハナイト云フコトヲ殘シマシタ、矢張り是モ今日ノ場合、朝鮮ノ民心ハ安定ニ歸シマシタガ、尙又斯カル始メテノ事業ヲ行ヒマスルノデ直ニ蜚語流言、又何カ課稅デモスルノデハナイカト云フ疑ヲ起シマシテ幾ラカ動搖ノ徵候ヲ起スト云フ虞ガアリマス、是モ一ツノ理由ニ相違アリマセヌ、而シテ人員ノ不足ニ付テ詳シイ説明等ヲ御質問デゴサイマスガ、實ハ此事ニ付テハ委員會デ申上ゲヤウト思ヒマシタガ、大略ノコトハ今此所デ御話申シテモ差支ナイノデアリマス、朝鮮ノ人口ハ先ヅ概算ヲシマシテ千七百九十一万九千三百六十五ト云フ數ニ相成ッテ居リマス、之ヲ調査區域、先ヅハ調査區ニ區別シマシテ人口稠密ノ所ハ九千戸、人口疎ナル所ハ六十戸トシマシテ割當テマスト云フト、調査員ノ數ガ約七方カラ要シマス、ソレニハ尙ホ監理員ト云フモノヲ置キマシテ、是ガ又約……前ノハ五方バカリ監理員ヲ入レマシテ尙ホ二方バカリヲ要シマス、ソレニ通譯ヲ加ヘマシテ丁度十方何千ト云フコトニ相成ルノデアリマス、丁度調査員トシマシテモ朝鮮人ノ方カラ取りマス數ガ二万九千五百四十人、内地人カラ探ルノガ二万七百九十一人、斯ウ云フヤウナ割合ニナッテ居リマス、其中ニ内地人ハ官公吏ガ多イノデアリマス、此官公吏ガ多イ中ニ最モ多イノハ警察官ノ數デアラウト思ヒマス、其警察官ハヤト本年ノ春幾分ノ増員ヲシマシテ、人間モ餘程異ナリマシテ、マダ朝鮮ノ國情ニ十分慣レタト云フコトモ云ヘヌノデアリマス、言語ニ於テモ不通デアリ

マス、此官吏ト云フモノヲ以テ實際ノ監理ヲヤルト云フコトニ付テモ、非常ニ困難ヲ感ズルト云フ次第デアリマス、旁、以テ人員ノ數ノ不足ト云フコトガ最モ實際上重キ理由ニナッテ居リマスル次第デアリマス、故ニ人員ノコトヲ申上ゲマシテ、モウ一ツノ國情ノ事ニ付テハ之ヲ略シマシタ次第デゴザイマス、ドウゾ左様御了解ヲ願ヒマス

○伯爵柳澤保惠君 朝鮮ニ國勢調査ヲ實行スルニ付テ、初メ案ヲ作ラレタ時ハ無論是ハ出來得ベキコトヲ豫想シテ、調査員ノ如キ者モ十分得ラル、モノトシテ豫算モ御請求ニナリ、又計畫等モ御進行ニナッタト思ヒマス、然ルニ此頃ニナッテ調査員ノ不足ト云フノハ如何ナル次第デアリマスカ、初ノ見込デハ調査員ガ足りルト思ッテ、而シテ實行シヤウト云フ段ニナルト足りナクナッタト云フノデアリマスカ、其邊ヲモウ一應伺ヒマス

〔政府委員古賀廉造君演壇ニ登ル〕

○政府委員(古賀廉造君) 柳澤伯爵ニ御答ヘ申シマス、最初ハ御所見ノ通り十分見込ガアッタノデアリマス、事實準備行為ヲ進メルニ從ッテ中、此國勢調査ニ從事スルト云フ人間ヲ募集スルト云フコトハ困難デアッテ、政府ノ募集ニ應ズル人ガ少クナッタ、是ガ最モ困難ヲ感ズル所以デアリマス

○伯爵柳澤保惠君 私ハ昨年六月朝鮮ニ參リマシテ、此件ニ付テ聊カ調べテ居ル、其時ニ自分ノ考ヘマス所デハ、調査員ノ方ハ暫ク措イテ、朝鮮ノ内地ノ狀況ガ騷擾以來、國內殊ニ北韓地方ニ於テハ中々其騷擾状態ガ止マスト云フコトヲ承ハリマシタノデ、之ニ依ッテ、殊ニ是ガ重キ理由トナッテ御延期ニナルガ當然ト考ヘテ居リマシタ、併シ唯今ノ御説明ニ依ルト、ソレモサウデアアルガ其方ハ略シタ、然ラバ餘リ重キヲ置カヌ、然ラバ長官ノ考デハ朝鮮現今ノ状態ハ靜穩デアアル、北韓ニ於キマシテモ靜穩デアアル、調査スルコトハ出來ル、唯人ガ足ラヌカラ出來スト云フコトニ伺ヒマシタガ、朝鮮國內ノ狀況ハ如何デアリマス、之ニ付テ詳細ノ説明ヲ伺ヒタイ

〔政府委員古賀廉造君演壇ニ登ル〕

○政府委員(古賀廉造君) 御答シマス、昨年ノ狀況ト今年ハ餘程狀況ハ違ッテ居ル、全ク今年ニ於テハ朝鮮ノ内地ニ於キマシテハ、人心ハ餘程安定ノ狀況ヲ呈シテ居リマス、ケレドモ如何ニモ朝鮮ト云フ所ハ、蜚語流言ノ行ハレ易イ所デ、今日ノ安定ノ狀況ニ於テモ、斯ノ如キ新シイ事業ヲ始メマス、或ハ又之ニ依ッテ蜚語流言ヲ生ジ、思ハザル人心ノ不安ヲ生ズルコトナキニシモ

非ズト思フ、是ハ想像デアリマスガ、政略トシテハ是モ幾分カ見ナケレバナ
ラヌガラウト思ヒマス、併シ實際國勢調査ガ出來ナイト云フノハ、最前申上
ゲマシタ通り、人員不足ト云フノガ最モ重ナル理由デアリマス、斯ウ云フ次
第デアリマス

○伯爵柳澤保惠君 朝鮮國內ノ狀況ハ安定デアルト云フコトハ、是ハ私ハサ
ウ考ヘテ居リマセヌガ是ハ議論ニナルカラ申シマセヌ、併ナガラ朝鮮今日ノ
狀況ガ安穩デアアル、唯調査員ガ得ラレスト云フナラバ、然ラバ近キ將來ニ於
テ調査員並ニ監理員等ガ得ラル、御見込ガアルナラバ、内國ノ一體ノ國勢調
査ノ時機如何ニ拘ハラズ、人員ヲ得ラレ次第御調べニナルノデアリマスカ、
或ハ是カラ先十年千九百三十年ニ御調べニナルノデアリマスカ、其邊ノ御計
畫ハ如何デアリマスカ

〔政府委員水野鍊太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(水野鍊太郎君) 柳澤伯ノ御質問ニ對シマシテ、私ガ尙補足シテ
御答ヘ致サウト思ヒマス、此國勢調査ヲ我國ニ施行スルト云フコトニ付キマ
シテハ、當時柳澤伯ト御同様ニ私モ調査委員會ノ會長トシテ、此事ニ從事イ
タシテ居ッタノデアリマス、其當時ニ於キマシテ、御問ノ如クニ我が國內ハ
勿論、我が新領土ニモ是ハ施行スルト云フ考ヲ持ッテ居ッタノデアリマス、從ッ
テ朝鮮ニ於キマシテモ、本年十月一日ヲ以テ國勢調査ヲ施行セムトスル、當
初ノ意思ハ此ニアッタノデアリマス、然ルニ昨年三月ニ騷擾事件ガ勃發イタシ
マシタ以來、朝鮮内ノ人心ガ安定ヲ缺イタト云フコトハ事實デアリマス、而
シテ之ガ爲ニ官制ノ改正モアリ、諸般ノ制度モ改革セラレタ、此時ニ當リマ
シテ國勢調査ノ如キ事項ヲ行フト云フコトハ、實際ニ於テ困難ヲ感ズルト云
フコトヲ發見シタノデアリマス、當時並ニ今日ノ實情ハ此事項ヲ完全ナラシ
ムルコト能ハザル情勢ニ立至ッタノデアリマス、併ナガラドコモデモ之ヲ施行
セムトスルニ付キマシテハ、先程古賀拓殖局長官ノ申サレマシタ如クニ、非
常ナル人員ヲ要スルノデアリマス、而モ此人員ヲ今日ノ狀態ニ於テ得ルコト
ガ極メテ困難デ、假ニ此ヲ得マシテモ、寧ロ正確ナ調査ヲ行フトコトガ出來ヌ
ト云フ虞ガアル、左様ナ次第デアリマスルカラシテ、此度ハ之ヲ延期スルコ
トガ寧ロ適當デアルト云フコトヲ信ジマスカラ、此法案ヲ提出ニナッタノデ
アリマス、然ラバ今後ノ國勢調査ヲ如何ニスルカト云フ第二段ノ御問ガ茲ニ
起ッタ、是亦當然ノ御質問ト思ヒマス、デ御承知ノ如クニ、國勢ノ調査ハ十年

間毎ニ行フノデアリマスカラ、朝鮮ニ於ケル國勢調査ハ此次ノ回ニ於テ施行
スル考デゴザイマス、而シテ此時ニ於キマシテハ、正確ナ調査モ出來マスシ、
又必ズヤ此調査ヲ行フノニ適當ナ時期ニ達スルト云フコトヲ信ズルノデアリ
マス、左様ナル考ヲ私共ハ持ッテ居ル次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御質疑モナイト認メマスカラ、特別委員ノ事
ニ付テ御諮リヲ致シタイト存ジマス、議事日程第二ノ法案ノ特別委員ハ、大
正八年法律第五號中改正法律案ト同一委員ニ付託サレタイト考ヘマス、御異
議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三、北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案、
政府提出、衆議院送付、第一讀會

北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付
候也

大正九年七月十六日

衆議院議長奧繁三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔小字ハ衆議院ノ修正〕

北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案

○及軌道

北海道拓殖促進ノ爲必要アリト認ムル地方鐵道○ニ對シテハ政府ハ勅令ノ
定ムル所ニ依リ該鐵道營業開始ノ日ヨリ五年ヲ限リ北海道拓殖費ヨリ補助
ヲ爲スコトヲ得

〔國務大臣床次竹二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 北海道ノ拓殖ヲ進メマスルニ、交通機關ノ發達
ニ依ラナケレバナラスコトハ申上ゲルマデモゴザイマセヌガ、而モ此事業ノ
經營ニ付キマシテハ、内地ト異ナリマシテ、北海道ニ於テハ困難ナル事情モ
ゴザイマスル、仍テ特別ニ北海道地方費ヨリ補助ヲ致シマシテ、以テ軌道並
ニ鐵道ノ速成ヲ圖リタイ趣意デゴザイマス、宜シク御審議ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今内務大臣ノ説明セラレマシタ北海道拓殖鐵道

補助ニ關スル法律案ノ特別委員ハ、鐵道敷設法中改正法律案ト同一ノ委員ニ付託イタシタイト考ヘマス、御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認マス

○議長(公爵德川家達君) 日程第四、帝國鐵道電力株式會社法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

帝國鐵道電力株式會社法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十六日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長奧繁二郎

〔小字ハ衆議院ノ修正文、ハ同削除ノ符號ナリ〕

帝國鐵道電力株式會社法

第一條 帝國鐵道電力株式會社ハ國有鐵道ニ電力ヲ供給スル事業ヲ營ムヲ以テ目的トス但シ其ノ電力ニ餘裕アル場合ニ於テハ政府ノ認可ヲ受ケ他ノ鐵道、軌道其ノ他ノ事業ニ電力ヲ供給スルコトヲ得

會社ハ政府ノ認可ヲ受ケ附帶業務ヲ營ムコトヲ得

第二條 會社ノ本店ハ之ヲ東京市ニ置ク

第三條 會社ノ存立期間ハ設立登記ノ日ヨリ百年トス

第四條 會社ノ資本ハ一億圓トシ内五千萬圓ハ政府ノ出資トス

會社ハ政府ノ認可ヲ受ケ其ノ資本ヲ増加スルコトヲ得

第五條 株金ノ第一回拂込ノ金額ハ株金ノ十分ノ一迄下ルコトヲ得

第六條 政府ハ帝國鐵道特別會計ニ屬スル電力設備、土地其ノ他ノ財産ヲ以テ株金ノ拂込ノ一部ニ充ツルコトヲ得

第七條 政府カ帝國鐵道特別會計ヨリ會社ニ出資シタル場合ニ於テ該出資

ニ因リ取得シタル株式ハ之ヲ同會計所屬財産トス

第八條 政府、公共團體、帝國臣民又ハ帝國ノ法令ニ依リ設立シタル法人

ニ非サレハ會社ノ株主ト爲ルコトヲ得ス

第九條 會社ノ株券ハ記名式トス

第十條 會社ノ取締役ハ百株以上ヲ有スル株主中ヨリ政府之ヲ命シ其ノ任期ハ五年トス

會社ヲ代表スヘキ取締役ハ前項ノ取締役中ヨリ政府之ヲ指定ス

監査役ノ任期ハ三年トス

第十一條 取締役ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非サレハ他ノ職務又ハ營業ニ從事スルコトヲ得ス

第十二條 會社ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非サレハ社債ヲ募集スルコトヲ得ス

第十三條 定款ノ變更ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第十四條 會社ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非サレハ利益金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第十五條 會社ハ每營業年度ニ於ケル配當シ得ヘキ利益カ政府以外ノ者ノ

所有スル株式ノ拂込金額ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過セサルトキハ政府所

有ノ株式ニ對シ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ要セス

配當シ得ヘキ利益カ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込金額ニ對シ年六

分ノ割合ヲ超過スル場合ニ於テ其ノ超過額ヲ配當スルトキハ政府以外ノ

者ノ所有スル株式ノ拂込金額ニ對スル配當割合カ年一割ニ達スル迄政府

所有ノ株式及政府以外ノ者ノ所有スル株式ニ對シ二ト一トノ割合ヲ以テ

スヘシ政府所有ノ株式ノ拂込金額ニ對スル配當割合カ年一割ニ達スル迄

政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込金額ニ對スル配當割合ハ年一割ヲ超

過スルコトヲ得ス

總株式ノ拂込金額ニ對スル配當割合カ年一割ヲ超過スル場合ニ於テハ總

株式ノ拂込金額ニ對シ均一ノ割合ヲ以テ其ノ超過額ヲ配當ス

第十六條 會社ハ每營業年度ニ於ケル配當シ得ヘキ利益カ政府以外ノ者ノ

所有スル株式ノ拂込金額ニ對シ年五分ノ割合ニ達セサルトキハ設立登記

ノ日ヨリ五年ヲ限リ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込金額ニ對シ年五

分ノ割合ニ達スル迄利益ヲ配當スルコトヲ得

第十七條 會社ハ電力供給ノ料金ヲ定メ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第十八條 政府ハ會社ノ業務ニ關シ監督上必要ナル事項ヲ會社ニ命スルコ

トヲ得

第十九條 政府ハ帝國鐵道電力株式會社監理官ヲ置キ會社ノ業務ヲ監視セシム

監理官ハ何時ニテモ會社ノ金櫃、帳簿、文書其ノ他ノ物件ヲ検査シ役員又ハ使用人ニ説明ヲ求ムルコトヲ得

監理官ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ會社ニ命シ營業上ノ計算及狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

監理官ハ株主總會其ノ他ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第二十條 會社ノ決議又ハ役員ノ行爲ニシテ法令、法令ニ基キテ爲ス命令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルモノアリト認ムルトキハ政府ハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ役員ヲ解職スルコトヲ得

附則

第二十一條 政府ハ設立委員ヲ命シ帝國鐵道電力株式會社ノ設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム

第二十二條 設立委員ハ定款ヲ作り政府ノ認可ヲ受クヘシ

第二十三條 設立委員ハ前條ノ認可ヲ受ケタルトキハ會社ノ株式總數ヨリ政府ノ引受クヘキ株式ヲ控除シタル殘餘ノ株式ニ付株主ヲ募集スヘシ

商法第二百二十六條乃至第三百十條ノ規定ハ前項ノ募集ニ付之ヲ準用ス株式申込證ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 定款認可ノ年月日

二 商法第二百十條第一號乃至第四號及第七號ニ掲クル事項

三 本店ノ所在地

四 存立期間

五 第一回拂込ノ金額

六 設立費用

第二十四條 前條ノ規定ニ依リ募集シタル各株式ニ付第一回拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク創立總會ヲ召集スヘシ

商法第三百三十二條第四百十一條第一項、第五百五十六條第一項第二項、第六百六十二條乃至第六百六十三條ノ四ノ規定ハ前項ノ創立總會ニ之ヲ準用ス

第二十五條 創立總會ニ於テハ創立ニ關スル事項ヲ調査報告セシムル爲檢査役ヲ選任スヘシ

第二十六條 會社ハ創立總會ノ終結ニ因リテ成立ス

設立委員ハ會社成立シタルトキハ直ニ其ノ事務ヲ帝國鐵道電力株式會社取締役ニ引渡スヘシ

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) 帝國鐵道電力株式會社法案提出ノ理由ヲ申上ゲマス、鐵道ニ必要ナル動力ト致シマシテ、蒸氣力ノ代リニ電力ヲ用ヒマスコトハ、近來歐米ニ於キマシテ一般ノ趨勢ニナツテ居リマス、各國共ニ此方針ニ基イテ改善ヲ圖ツテ居ル次第デアリマス、就中米國ノ如キハ、現今電化哩數ガ約五千哩ニ達シテ居ル、瑞西、白耳義ハ殆ド全鐵道ヲ電化スル計畫ヲ進メテ居ル次第デアリマス、而シテ各國ガ斯ノ如ク鐵道ノ動力ヲ電氣ニ求ムトスル次第ハ、電化ニ依リマシテ石炭消費ノ節約、營業費ノ減少及ビ輸送力ノ増加ヲ圖ラムトスルノデアリマシテ、是等ガ大ナル目的トスル所デアリマス、然ルニ我國ノ鐵道即チ國有鐵道ニ於キマシテハ、今日マデノ機關ハ電化シテ居ル所モアリマスガ、僅ニ五十八哩位ノコトデアリマシテ、而モ電化事業ノ先決問題トナリマスル電力供給モ頗ル不安定ナル狀況ニアルノデアリマス、現今東京附近ニ於キマシテ、國有鐵道ニ要スルモノハ約一萬「キロワット」デアリマスガ、此電力サヘ往々満足ナル供給ヲ受クルコトハ困難ナル狀況デアリマス、將來東京ヲ中心ト致シマシテ、附近ノ鐵道ノ電化事業ヲ完成スルニ付キマシテハ、約十萬「キロワット」ヲ要スルノデアリマスガ、其必要ナル電力ヲ將來果シテ満足ニ求メ得ルヤ否ヤト云フコトハ、現今ニ於ケル電力供給ノ關係ニ鑑ミマシテ甚ダ憂慮イタシテ居ル次第デアリマス、仍ツテ當局ハ各種ノ方面ヨリ致シテ其ノ利害得失ヲ講究イタシマシタ結果、茲ニ官民合同ノ一種ノ電力會社ヲ設立イタシテ、將來ニ於テ我ガ鐵道ニ必要トスル電力ノ供給ヲ仰ガムトスルノ計畫ヲ立テタ次第デアリマス、我國ニ於ケル石炭ノ命數ハ、今後五十年ヲ出デズト稱セラレテ居リマス、是ハ二十年程前ニモ學者ノ間ニ五十年ノ命脈ヲ有タヌト云フコトガ申サレマシタ、サウ云フ杞憂ヲ抱カレタ人モアリマシタガ、左程デモアリマセナシタ、ケレドモ如何ニモ今後ニ於キマシテ、長キ命數ヲ有ツト云フコトハ、覺束ナイ、石炭ハ斯ノ如キ有様デアリマスルガ、一方ニ於テハ水力ハ帝國ノ山川狀況トシテ、無限ニアリマスノデ、鐵道運輸ニ對スル時代ノ要求、衛生保安上ニ及ボス影響等ニ依リマシテ、水力電氣ヲ利用シマシテ、鐵道ヲ電化スルノ必要ヲ認メタ次第デアリマス、更ニ石炭ノ昂騰ニ依リマシテ非常ニ營業費ガ今日ハ膨脹ヲ致シテ居ル、

是モ大イニ制限ガ出來ル譯デア、又電化イタシマスレバ輸送力モ大イニ増加スル次第ゴザイマス、左様ナル理由アルニ依リマシテ、電力發生ノ爲メ必要ナル發電所ヲ經營スルニ付キマシテ、鐵道省ノ自營ニスベキデアルカ、又ハ民營トスベキデアルカ、餘程慎重ナル考慮研究ヲ要スル次第デアリマスガ、當局ハ發電費ノ爲ニ多額ノ出資ヲ短期間ニ致シマス云フコトハ、鐵道ノ財政上頗ル困難デア、又鐵道ノ如キ複雑ナル事業ヲ營ム所ニ於キマシテ果シテ能ク斯様ナル設備ヲ自ラ新設經營スルト云フコトガ至當デアリヤ否ヤト云フコトモ考慮イタシテ、ソレヲ自營ト致スヨリハ、別ニ一ノ會社ヲ設ケタ方ガ宜カラウ、併ナガラ此會社ヨリ供給ヲ受ケマスルノニハ、成ルベク低廉ナル價ヲ以テ供給ヲ受クナケレバナリマセヌ、又一面ニハ供給ガ確實デアルト云フコトニナラナケレバナリマセヌ、之ヲ全然民間ノ經營ニ俟ツト云フコトハ、以上申シマシタ二箇ノ點ニ對シマシテ満足ニ行ハレマイ、左様ナ見地カラ致シマシテ、官民合同出資ト云フコトニ致シマシテ、一面ニ低廉ナル供給ヲ受ケル方カラシテ多少ノ保護モシ、又確實ナル送電ヲ受ケルト云フ爲ニハ監督ヲ嚴ニスルト云フ必要モゴザイマス、財政關係カラ見マシテモ官民合同イタシタ方ガ宜シカラウ、斯様ニ考ヘマシテ、此案ヲ提出スルニ至ッタ次第デアリマス、之ニ付キマシテ、チヨット數字等ニ互ルコトモゴザイマセウ、専門的ノコトモ申上ゲル必要モゴザイマセウ、ドウカ委員ニ御移シ下サレマシテ能クソレゾレ専門的ノ政府委員等ヨリ御答ヘ申上ゲヤウト思ヒマス、一應提案ノ理由ヲ申上ゲマス

〔伯爵柳原義光君發言ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 柳原伯ハドンナコトデアリマスカ

○伯爵柳原義光君 簡單ニ質問イタシタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 通告者ガアリマスカラ暫ク御待テテ願ヒタイ……

阪本鈔之助君

○阪本鈔之助君 餘リ長クアリマセヌガ、此處デ述ベテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 餘リ長クナケレバ宜カラウト思ヒマス

○阪本鈔之助君 唯今鐵道大臣ヨリ一通リ説明ガゴザイマシタガ、何故カ御低聲デアリマシテ聴取リ兼ネタ所モアリマシタガ、本員ノ御尋ヲ申サウト存ジテ居ル所ニハ餘リ觸レテ居ラヌヤウデアリマスカラ、一應御尋ヲ致スノデアリマス、第一御尋ヲ致シテ見タイト存ジマスノハ、此計畫ガ成リマスト云

フト、其發電所即チ事業其モノハ、何カ既ニ御買収ニナル目的物ガアルノデアリマスカ、有ルトスレバ、ドウ云フヤウナモノヲ其會社ハ買収スルト云フノデアリマスカ、若シ無シトスレバ、今後ドウ云フモノヲ目的トシテ此會社ガ經營ヲスルノデアルカ、其點ヲ先ヅ伺ヒタイト存ジマス、尙ホ附加ヘテ伺ヒマスガ、現在何等カノ會社ガ所有シテ居ルモノヲ買収スルト云フコトガ、畢竟此會社ヲ作ル目的デアルカ、又ハ是迄既設ノ會社ガ、所有セザルモノ、所謂遺利ヲ拾ウテ、此大會社ガ仕事ヲシヤウト云フノデアルカ、ドチラニシテモ、電氣鐵道……電力ノ交通ト云フコトヲ圖ルト云フ意味ヲ含ンデ居ルダラウト存ジマスガ、所謂方針目的ハ如何ナル點ニアルカト云フコトヲ明瞭ニ伺ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ是マデ電力ニ付キマシテハ既設ノ會社ト云フモノハ、澤山アルノデアリマシテ、夫々經營ヲ致シテ居ル、又或ハ權利ダケヲ得テ事業困難ニイタシテ、一向手ヲ著ケナイ所モ澤山アルノデアリマスガ、既ニ立派ニ營業ヲ致シテ居ルモノガ、此會社ガ出來マシテ政府ノ保護ノ下ニ仕事ヲスルト云フコトニナリマスレバ、既設ノ會社トノ間ニ、非常ニ營業上ノ利不利ガ生ズルノデアリマスガ、其邊ハ如何ニ救済ヲナサルノデアルノカ、所謂弱肉強食ト云フヤウナ譯ニナリマシテ、ドウシテモ此會社ニ對抗シテ行クト云フコトハ、餘程困難デアラウト思フ、畢竟此鐵道ノ電力ダケデ所謂國有鐵道ダケニ御使ヒニナルト云フナラバ未ダシモデアリマスガ、餘力ガアレバ普通ノ供給ヲモ請負フト云フコトガ、此箇條中ニ見エルノデアリマスガ、矢張普通ノ電力供給モ此會社ガスルノデアリマス、サウスレバ此間ノ權衡ト云フモノハドウシテモ取レナイヤウニ考ヘマスルガ、此會社ハ非常ニ政府ガ保護ヲ與ヘ、サウシテ是マデ出來テ居ル所ノ會社ハ矢張り相變ラズ、自費デ成立ッテ行クト云フコトハ、國家ガスル仕事トシテハ、甚ダ不權衡ノヤウニ考ヘマスガ、是ハ如何ナル御考デアルカ、ソレカラ第十條ヲ見マスルト、重役ハ悉ク政府ガ任命スルトアル、日本銀行ノ如キ、或ハ勸業銀行ノ如キ、特殊ノ會社デサヘ總裁副總裁ハ政府ノ任命ニ係リマスケレドモ、理事即チ取締役等ハ株主ガ選舉ヲ致シテ、サウシテ其選舉ニ基イテ政府ガ任命セラレルト云フノデア、然ルニ此鐵道電力株式會社ハ悉皆官選ノ重役デ營業セシムルト云フノデア、今日ハソレハ公平ナ御取扱ヲ爲サルデアリマセウガ、將來ニ於テ、此會社ガ若シ成立チマシタ後ニハ、非常ニ弊害ガ起リハセヌカ、殆ド官營ト異ル所ハナイ、時ノ政府ノ欲スル所ノ人ヲ擧ゲテ

重役トナスコト、ナリ、此重役ヲ選擇スル上ニ於テハ、私ノ思ヒマスルニ、隨分ト情弊ガ伴フノデアラウト思ヒマス、今日マデノ半官營の事業會社デサヘ、取締役ダケハ株主ノ選舉ニ俟ツコトニナツテ居ッタノニ、此鐵道電力株式會社ニ至ツテ、悉皆取締役ヲ官選デスルト云フコトハ、ドウ云フコトニ基イタノデアリマスカ、是ハ少シ些細ナコトニ至リマスガ、事業上大ナル關係ガアルト思ヒマスカラ、此場合ニ御尋ヲシテ置キマス、ソレカラ是モ先程モ申シマシタ電力ヲ供給スル場合ニ於テハ、料金を取ルト云フコトニナツテ居リマスガ、政府ガ五千万圓ノ資力ヲ出シテ、尙ホ配當等ニ於テモ過分ナ保護ヲ與ヘ、而モ衆議院ニ於テハ、尙ホ原案ヨリモ利益ナル所ノ修正ヲ加ヘテ居ルノデアアル、而シテ國有鐵道ガ其電力ノ供給ヲ受ケル場合ニハ、矢張世間一般ノ他ノ普通ノ營利會社カラ供給ヲ受ケル料金ト、政府ガ受ケル所ノ事業ニ對スル料金ト、矢張同ジ料金を拂フノデアリマスカ、非常ニ割引デモアルノデアリマスカ、是モ些細ナコトデアリマスガ、基礎トナルモノデアリマスカラ一應伺ヒタイ、終リニ臨ンデ、明カニ承ハツテ置キタイノハ、何故之ヲ官營ニシナイカ、鐵道ノ動力ノ電化スルト云フコトハ、私ハ無論賛成デアリマス、又水力電氣ト云フモノヲ國有ニスルト云フ事モ、必要ナコトデナイカト常ニ私ハ考ヘテ居ル、政府ニ於テモ先年桂内閣ノ時デアリマシタガ、後藤遞信大臣ノ手ニ依ツテ全國ノ水力ヲ調べルト云フ事業ヲ盛ニ起サレマシテ、稍、調査モ進行シテ居リマシタガ、内閣更迭ニ依ツテ消滅イタシマシタ、是等ノ事業カ聯續サレテ居ッタナラバ、今日ハ既ニ全國ノ調査ガ完成シテ居ッタデアリマセウ、其完成シタル調査ニ基キマシテ、水力電氣ヲ殆ド國有ニセラル、ノガ相當デハナイカト思フ、今後ト雖モ遲シトセヌ、斯ノ如キ優渥ナル保護ヲ與ヘテ會社ヲ作ル位ナラバ、何故之ヲ官營ニナサラヌノデアアルカ、堂々タル政府ガ、五千万圓ノ金ヲ民間ノ力ヲ借りナケレバ、出來ナイト云フコトハナカラウ、既ニ半額ノ五千万圓ノ金額ヲ政府ガ出シテ、斯ノ如キ大會社ヲ作ルト云フナラバ、今一步進ンデ何故官營ニナサラヌノデアリマスカ、鐵道ハ國有デアッテ、其原動力ヲ作ルモノヲ會社ト云フモノニ俟ツト云フコトハ、ドウ云フ所カラ生ズルノデアリマスルカ、官營ニスベカラザル理由ガ何處ニアルノデアリマスカ、其點ハ極メテ明確ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

〔國務大臣(元田肇君)演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) 唯今阪本君ヨリ御尋ニナリマシタ其點ニ對シマシ

テ、答辯致シマス、第一ノ御尋ハ民間ノ既設電力會社ノ電力ヲ買フノカドウカト云フ意味デアッタカノヤウニ私ハ拜承イタシマシタ、ソレデ御答ヲ致シマスガ、民間ノ既設會社ノ電力ヲ買フノデハゴザイマセヌ、鐵道省ニ於キマシテハ、今回起シマスル會社ノ電力ヲ作りマス所ノ水力ハ、既ニ特許ヲ得テ居ルトコロガアリマスルカラ、會社ヲ捲ヘマシタノハ全然此會社ノ電力供給ニ依ツテ鐵道ノ動力ヲ電化シヤウト云フノデアリマス、何レモ民間會社カラ供給シテ費フト云フ意見ハ少シモナイノデアリマス、是デ御分リニナツタデアリマセウカ此點ハ……ソレカラ第二ノ法文ノ文案ヲ見マスレバ餘力ヲ以テ外ノコトニモ電力ノ賣捌ガ出來ルヤウニナツテ居ルガ、果シテ然ラバ保護ヲ與ヘタル會社ガ出來テハ既設ノ民間會社ニハ非常ナ影響ヲ及ボスデアラウ、ソレニ對シテハドウ云フ考ヲ有ツテ居ルカト云フ御尋ネト承リマシタガ、此會社ハ決シテ民間ノ電力供給會社ト競争スル意味デハナイノデアリマス、其目的ハ專ラ國有鐵道ノ動力ニ用ヒル譯デアリマス、民間ノ會社ノ如ク種々ナル方面ニ動力ヲ供給シテ賣捌キヲ營業トスルト云フ會社デハナイノデアリマス、然ラバ動力云々ト云フヤウナ法文ハラカシイデナイカト云フ御疑問ガ從ッテ起ルデゴザイマセウガ、御尤モデアリマスケレドモ、右様ノ目的デアリマシタガ、一切鐵道ノ動力ヨリ外ニ使フコトハ出來ヌトナリマスレバ、停車場ノ電燈ヲ點スルコトモ出來ヌ、決シテハ他ニ供給スル目的ノ法文デアアルノデアアリマセズ、供給ハ鐵道動力ニ用ヒルト云フコトガ目的デアリマスルケレドモ、ソレ迄ニ止メテ置キマス、「ステーション」ノ電燈ハ點ケルト云フコトモ出來ヌト云フコトニナリマス、又「ステーション」ノ外ニ、或ハ其鐵道ノ通ルトコロニ唯蒸氣ニ代ヘル動力バカリデナクシテ、鐵道用トシテ必要ナルコトガゴザイマスカラシテ、此條ヲ設ケタノデアリマス、立法ノ精神ハ民間ノ電力供給會社ト相争ウテ動力ヲ販賣スルト云フヤウナ精神ハ毛頭ナイノデアリマス、此主旨ヲ御了承下サルヤウニ……ソレカラ役員ハ政府ガ之ヲ命ズルト云フヤウニナツテ居ルガ、是ハドウ云フ譯デアアルカト云フ御尋ネ、是ハ鐵道ノ動力トイタシマシテ非常ニ確實ニイタサナケレバナラヌ、從ツテサウ云フ保護モ與ヘテ居ルト云フ譯デアリマスカラ、政府ガ命ズルト云フコトニイタシタ方ガ確實デアルト云フ見地カラス様ニイタシタ次第デアリマス、立案ノ趣旨ハ右様ノ次第デアリマス、ソレカラ次ニ餘程ノ保護ヲ與ヘテアルノニ、衆議院ニ於テ又修正ヲ加ヘタ、是ハ如何ニ思フカト云フ御尋ト存ジマス、五

年間年六分ノ割合ニ達シマセヌトキニハ、政府以外ノ者ガ所有スル株式拂込
ミ金額ニ對シテ年五分ノ割合ニ達スルマデ利益ヲ配當スルコトヲ得、是ハ配
當デゴザイマス、配當スルコトヲ得ルト云フ規定ニナツテ居リマス、ソレデ何
朱マデ政府ガ總テ保證ヲスルト云フノトハ少シ趣意ガ違フテ居リマス、詰リ
配當ヲ爲スコトヲ得ルト云フコトニナツテ居リマス、此點ニ付キマシテ政府
ノ趣旨ハ年五分ノ割合ニ達セザルトキハ宜シイト云フ考ヲ有テ提案イタシ
マシタ、衆議院ノ修正シタ理由ヲ承ハリマスレバ、目下財界ノ變動ハ甚ダシ
クイタシテ餘程確實ナル會社ノ株券ノ如キモノデモ金融ト云フコトガ出來ナ
イ今日ノ狀況ニナツテ居ルノデアリマス、此場合ニ當ツテ五分ト云フヤウナコ
トヲ出シタトコロデ、折角鐵道電力會社ノ株ヲ募集スルト云ウテモ、應ズル
モノガナイト云フコトニナツテハ、甚ダ遺憾ニ堪ヘナイコトデアリカラ、セ
メテ六分ト云フ位ニシタナラバ、其方ガ宜シカラウト云フ意見ガ陳述ニナツ
テ居リマス、政府ハ衆議院ノ此修正意見ニ對シマシテ成程臺灣ノ水力等ニ於キ
マシテハ六分ト云フコトマデニナツテ居ルヤウデアリマスルガ、ヨリ以上ノ
確實ナル會社デ、即チ設備ガ出來テ送電ガ出來レバ、供給先ハ鐵道省ト云フ動
カスベカラザル所ノ得意デアアルノデアリマスカラシテ、之ニ供給スルニ付キ
マシテハ、決シテ販路ノ不安ヲ感ズルヤウナコトハ少シモナイノデアリマス、
斯ル確實ナル會社ナラバ五分デ澤山デアラウト云フ確信ヲ有テ此提案ヲイ
タシマシタノデアリマスケレドモ、昨今ノ財界ノ變動ハ衆議院ニ於テ言ハレ
マスヤウニ、決シテ金融ガ圓滿ニ行ツテ居ルト云フ譯デアリマセヌ、左様
ナ場合デアリマスカラ、衆議院ノ修正スル理由ト云フモノモ、多少理由ノア
ルコト、云フコトニ認メマシタ、併ナガラソレヲ以テ直チニ政府ノ所信ヲ棄
テ、仕舞フト云フコトハイタシマセヌノデ、此修正ノ場合ニ當リマシテ、政府
ハ貴衆兩院ニ於テ六分デナケレバナラヌト云フ御意見デアリナラバ、鐵道動
力ヲ電化サセルト云フ目的デアリマスカラ、政府ハ五分ヲ認メテ出シタケレ
ドモ、六分デナケレバナラヌト云フコトノ兩院ノ御意見ト云フコトデアアルナ
ラバ、其場合ニ於テハ御同意申スコトニ躊躇ハイタスマイ、斯様ニ申シタノ
デアリマス、直チニ衆議院ノ修正ニ對シテ同意ヲ表シテ仕舞ッタト云フ譯デ
ハアリマセヌ、此邊ハ篤ト御審議ヲ盡サレマシテ、兩院齊シク六分ガ宜シイ
ト云フコトデアリマスナラバ、其點ニ於キマシテハ政府ハ其御意見ニ從フ
コトニ躊躇セヌ、斯様ニ申シテ衆議院ニ言明ヲイタシテ置キマシタ、ソレデ

御了承ヲ願ヒマス、他ニ衆議院ノ修正シタ理由ト云フコトハ承ハリマセヌ、
最後ニ何故官營ニセザルカ水力ハ國有ニスベキモノト云フ御意見、官營ガ出
來レバ鐵道省トイタシマシテハ尙ホ結構デアラウト存ジマス、併ナガラ鐵道
省ノミニイタシテモ諸般ノ財源ヲ要シマス、改良ニモ力ヲ盡シテ居リマス、又
交通不便ニシテ輸送ノ要求ノ甚ダ盛ンニナツテ居ル今日ニ當リマシテハ、鐵
道ノ普及ヲ圖ラナケレバナラス、斯様ナル場合ヲ考慮イタシマシテ、一億万
圓グラキハ何デモナイモノデアルト云フ意味ノ御意見ガアリマシタ、果シテ
左様ナコトデアリマス、供給ガ出來ルコトデアリマスレバ、官營ニスルト云フコ
トモ或ハ結構カモ知レマセヌ、又官營必ズシモ宜イトハ申サレマセヌ、是ハ
先刻提案ノ理由ヲ申上ゲダ時ニチヨット一言申上ゲマシタ、併ナガラ鐵道省
自身ハ運輸ト云フコトヲ專ラ專業ト致シテ居リマス、又電力事業ト云フモノ
ヲ兼ネテヤルト云フコトハ果シテ業務ノ上ニ於テ宜イコトデアアルカ、別ニシ
タ方ガ宜イカト云フコトモ考慮スベキ點デアリマス、併シサウ云フコトハ鐵
道省內ニ於テ電力供給ヲ別ニ置イテモ差支ナイト致シテモ、爲ニ豐富ニ財源
ヲ求メルト云フコトハ、一番今日ムツカシイノデアリマス、鐵道省ノ事業ハ
電信電話治水ニ、到ル所急ヲ告ゲテ居ル所ノモノガアリマシテ、ソレト申シ
マスノハ、財源ガ皆伴フコトデアリマシテ、左様ナ所カラ申シマスレバ若シ
其金ガ出來ル時マデ待ツテ居ルハ、殆ド何モ出來ルコトガアリマセヌ、茲ニ
官民合同ノ會社ヲ設ケテ、一日モ速ニ出來ル限リノ範圍ニ於キマシテ、鐵道
ノ動力ヲ電化イタシタイト云フ精神ヨリ、此法案ヲ提出イタシタ次第デアリ
マス、是ダケデドウカ提案ノ趣旨ヲ御了承ヲ願ヒマス、水力國有云々ト云フ
御意見ガゴザイマスガ、是ハ御意見トシテ拜聽イタシテ置キマス、尙ホ若シ
御答デモ申スナラバ、當局ノ遞信大臣カラ申上ゲタ方ガ至當ト心得マスカラ
私ハ申シマセヌ

○阪本鈺之助君 唯今御答ヲ拜聽イタシマシタガ、最初ニ御尋イタシタ此會
社ノ需要イタス水力ノ目的地ハ如何ナルモノデアアルカ、既設會社ノ事業ヲ御
買取リニナルノカ、或ハ全ク是マデ遺ツテ居ル遺利ヲ拾ツテ此會社ニ新ニ供給
スルノカト云フコトヲ御尋イタシマシタガ、最初ハ其意味ノ御答ガアッタヤウ
ニ聽取リマシタガ、シマヒハ既設會社ノ供給ヲ受ケナイト云フ御答ノヤウデ
アリマスガ、ドウモ其邊ガ混同イタシテ、ハッキリ致シマセヌカラ、極ク簡
單ニ申シマス、此會社ガ成立シテ、即チ事業ノ目的ト致ス水力ハ、一體是マ

デ既ニ出來テ居ル會社ガ之ヲ用ヒル權利ヲ有ツテ居ル水力デアアルカ、或ハ御買取りニナラズシテ新ナモノヲ以テ會社ガ創業スルヤ否ヤ、斯ウ云フ點ヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ十七條ノ電力供給料金ノ認可デアリマスガ、之ニ付テモ本員ニハ能ク其意味ガ徹底イタシマセヌガ、是ハ枝葉論デアリマスカラ差措キマスガ、次ニ御答ニナリマシタ他ノ事業ニ供給スルト競争ニナリハセスカト云フ御尋ニ對シテ、左様ナコトハ無イ、唯鐵道ノ動力ダケデト云フコトニナレバ、停車場ニ電燈ヲ附ケルコトモ出來ナイカラ、鐵道ニ附屬シテ居ル電燈用ニ使フノデアルト云フ、斯ウ云フ御答デアリマスガ、果シテ然ラバ、大臣ノ御説明ト法文トハ全ク違ッテ居ル、而モ法文ノ第一條ニ「但シ其電力ニ餘裕アル場合ニ於テハ政府ノ認可ヲ受ケ他ノ鐵道軌道其ノ他ノ事業ニ電力ヲ供給スルコトヲ得」ト斯様ニ書イテアリマス、他ノ鐵道軌道其他ニ電力ヲ供給シテト云フコトハ、即チ國家ハ一體鐵道軌道其他ノト云フノデアアルカラ、既設鐵道トモ申サレマスシ共同ノ事業デスカラ、煽風器ニモ使フ、我々ノ使フ電燈ニモ使フ、然ルニ決シテ左様ナコトハシナイ、唯國有鐵道ノ停車場ノ用ニ供スルノミト云フ御答ニ至ッテハ餘リ不徹底ナ御答ト存ジマス、サウスレバ決シテ私ハ民間ノ會社ガ困ラウト云フコトニ付テ御尋シタノデナイノデ、畢竟斯ノ如ク國有鐵道ヲ完成サセタイ精神ナラバ、斯様ナ但書ハ無クテモ一切此會社ガ國家ニ供給スルカ、一步進ンデ國有ニシナイカト云フコトニ付テ精神上カラ論究シタノデアアルカ、御答ガアリマスレバ其點ニ付テ御答ヲ願ヒタイ、又國有ニセスト云フ御趣意ガドウモマダ徹底イタシテ居リマセヌ、僅ニ五千万圓民間ノ力ヲ借リルノデアリマスガ、鐵道經濟ハ尙ホ將來ニ於テサウ云フ起債ヲ爲サラス譯デアリマスガ、將來ハ私ハ知リマセヌガ、五千万圓位出シタ所、大シテ御困難トハ存ジマセヌ、果シテ是ガ國立ニナレバ、一億萬圓ノ公債ハ既ニ五千万圓ハ政府ノ力デアアルト云フコトニナッテ居ルカラ後ノ五千万圓位ノモノハ國庫ノ力デアアルト云フ趣旨ヲ以テノ御答デハ、ドウモ首肯ガシ兼ネルノデアリマス、ドウシテモ會社デヤラナケレバナラスト云フ理窟ニ付テ、モウ少シ拜聽イタシタイノデアリマス

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) 唯今ノ再度ノ御質問ニ對シテ先ヅ以テ私ノ答辯ノ趣旨ガ法文ト間違ヒマシタコトヲ正ス、私ハ先刻此會社ヲ設ケマス趣旨ハ、國有鐵道ノ動力ヲ認メルヲ主眼ト致シテ居ルノデアリマス、其他ニ多ク營業ト

スル積リデナイコトノ精神ガ頭ニアリマス所カラシテ、之ヲ書イテ置カヌト「ステーション」邊リニモ火ガ附ケラレヌヤウニナルカラ書イテアルケレドモ、民間ノ會社ト競争スルノデナイト云フ御答ヲ申上ゲマシタ、然ルニ第一條ノ法文ニ「他ノ鐵道軌道其ノ他ノ事業ニ電力ヲ供給スルコトヲ得」ト書イテアリマスノハ、如何ニモ御質問ノ通りデアリマシテ、先刻ノ私ノ答辯デハ足リマセヌ、ソレハ訂正イタシマス、訂正ハイタシマスガ、併ナガラ斯ク書イテハアリマスガ、此會社ヲ設立スル本旨ト云フモノハ、前ニ御答ヘ申シタノガ本旨デゴザイマス、又他ニ軌道トカ鐵道ニ供給スルノ餘地ガ無イコト、確信イタシテ居ルノデアリマス、左様ナ餘地ガアルモノナラバ、國有ノ鐵道ノ動力ノ方ヲ益、範圍ヲ擴メテ行ク決心デゴザイマスカラ、事實ノ上ニ於テハ民間會社ニ供給シテ民間ノ鐵道トカ其他ノモノト競争ヲシテ賣捌クト云フコトハ斷ジテ無イ、又監督者ト致シマシテハ、左様ナコトハサセヌ積リデアリマス考ガ滿チテ居リマシタカラ、先刻ノヤウナ御答ヲ申上ゲタ次第デ、精神ノアル所ハサウ云フ積リデアリマス、併ナガラ法文ノ上ニ於キマシテハ、御尋ネノ通りニナッテ居リマス、ナッテ居リマスガ事實ノ上ニ於テハ國有鐵道ノ動力ニ用ヒテ、尙ホ其他ノ鐵道民間ノ鐵道ニ賣捌クト云フヤウナ餘地ガナイト云フコトヲ確信スルノデアリマス、法文ト間違ヒマシタカラ茲ニ謹ンデ訂正ヲ致シマス、ソレカラ第一ノ御尋ネノ趣意ニ御答ガ足ラナイ、成程再度ノ御質問ヲ承ッテ見マスト足リマセヌヤウデゴザイマス、民間ノ會社ヲ、既設會社ヲ買收スル、或ハ既設會社ノ權利ヲ買收イタシテ此會社ヲ起スノカト云フ御尋ネデアアルト心得マシタカラシテ、左様ナ意味デハナイ、既ニ特許ヲ得テ居ル水力ガアル之ヲ以テ本會社ヲ立テルノデアリマシテ既設會社カラ讓受ケルト云フヤウナ意味デナイト云フコトヲ前キニ御答ヲシタノデアリマス、將來ニ至ッテハドウデアアルカト云フコトニナリマスト云フト、今日ノ場合デハ既ニ特許ヲ得テ居ル水力ガアリマシテ、之ニ設備ヲ加ヘテ送電ヲスルト云フコトニナリマスノニ、本會社ガ必要デアアルノデアリマス、故ニ既設ノ民間會社カラシテ、新ニ其水力ヲ買收スルトカ、若クハ會社ヲ其儘ニ取ッテ此會社ヲ施シテ、サウシテ此會社ノ動力ニ爲スノデアルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、會社成立ノ上、遠キ將來ニ至リマシテハ、ドウ云フコトニナリマスルカ、私ハ今日言明ハ致シ兼ネマス、今日ノ設立ノ趣旨近キ將來ニ於テ

ハ少シモ民間ノ方ノヲ買受ケルト云フヤウナ意思ハ有ツテ居リマセヌ、是デ御了解ヲ得ラレルデアリマセウカ、若シマダ御分リニナラヌデアリマシタラ尙ホ申上ゲマス

○阪本鈺之助君 尙ホ國有デ……政府ノ經濟トシテ僅カ五千万圓ノ金ヲ民間ノ力ヲ借ラナケレバ仕事ガ出來ヌト云フコトハ、私共了解ニ苦シムノデアリマス、殊ニ堂々タル鐵道省ガ此事件ニ五千万圓ノ資力ヲ御供給ニナル以上ハ、モウ五千万圓ヲ公債ナリ何ナリニ依ッテ、自ラ御經營ナサル力ガ無イト云フコトハ、ドウシテモ信ジラレマセヌ、何故ニ政府自ラ手ヲ御下シニナラズシテ、民間ノ會社ニ御托シニナルカ、之ニ付テ斯ク斯クノ理由ガアルト云フコトヲ、モウ少シ明瞭ニ御答ガアレバ承ハリタイ、若シ無ケレバソレ迄ノコトデアリマス、モウ一ツ諄イヤウデアリマスガ、ドウモ御答ニ少シボカシガ掛ッテ居ルヤウデアリマシテ、明瞭ヲ缺キマスガ遠キ將來ハイザ知ラズ、政府當局モ更リマセウ、將來ノコトハ致方モゴザイマセヌガ、差向キ此會社ガ成立ヲ致シテ水力ヲ御取リニナル土地ハ、土地即チ河川ハ唯今或會社ガ既ニ特許ヲ得テ居ル、若クハ權利デモ有ツテ居ルモノヲ幾ラカ買收ヲナサルコトガアルカドウカ、全ク左様ナモノハ取除ケテ、無垢ノ谷ナリ川ナリヲ御捜シニナッテ、此會社ガ經營ヲスルノデアルカ、斯ウ云フコトヲ御尋ネシタノデアリマスガ、モウ一ツ裏ノ方カラ申シマス、此會社ハ是マデ特許若クハ權利ヲ得テ居ナイ、全ク手ノ著カナイモノヲ以テ、此事業ヲ始メルノデアルカ否ヤ、此事ニ付テサウデアルトカ無イトカ云フコトヲ伺ヒマス

○國務大臣(元田肇君) 此席カラ御答ヲ致シテ宜シウゴザイマスカ……第一ノ御質問ノ僅カ五千万圓ト云フ位ノ金ヲナセ政府自ラヤラヌカ、官營ニシナイカト云フコトデアリマス、是ハ先刻既ニ申上ゲタノデ、私ハ御分リニナラレヤウカト存ジマス、決シテ曖昧ナ言葉ヲ申上ゲタ積リハナイノデ、最初ニ提案ノ理由ヲ申上ゲマシタ通りニ鐵道ノ輸送ト云フモノヲ專業トシテ居リマスル所ノ此鐵道省ニ、電力ノ會社ノ事務ト云フモノヲ併セテ居ルト云フコトガ、果シテ宜シイノデアラウカドウデアラウカ、是モ考慮ヲ要スルコトデアアル、此事ハ假ニ兼業ヲ致シテ宜シイトシテモ、財源ヲ求ムルコトガ、唯今阪本君ノ御質問ノヤウニ五千万圓位ノコトハ何デモナイト云フヤウニアレバ宜シウゴザイマスガ、中々サウデナイ、各方面ニ互ッテノ財源ヲ要スルコトガ多々アリマシテ、鐵道省ニ致シマシテモ、改良ニ建設ニ、幾多ノ費用ヲ要シ

テ居ルノデアリマスルカラ、其額カラ申シマスレバ、唯五千万圓ト言ヘバ、ソレ程多額デアリマセヌケレドモ、總テノ方面ニ財源ヲ要スル點カラ申シマスレバ、官營ニ致シテ鐵道省ガ自カラヤルト云フコトニナリマスレバ、出來ル施設モゴザイマセウガ、一年送り二年送り三年送ッテ容易ニ電化ノ事業ガ緒ニ就キマセヌ、ソレ故ニ成ルベク一日モ電化ヲ早メタイト云フ考カラシテ、官民合同會社ト云フコトニ致シタイモノデアルト云フコトヲ申上ゲマシタ、是デ理由ハ御承知ヲ願ヒタウゴザイマス、惡ルイ善イハ別問題ト致シマシテ……ソレカラ今一ツモ極メテ明白ニ申上ゲタ積リデアリマスガ、モウ少シ露骨ニ申上ゲマスレバ、鐵道省デハ、信濃川デアリマスカノ或ル場所ニ充分ナル水力ガゴザイマシテ、其所デ電氣ヲ取ルト云フコトニ付テハ特許ヲ受ケテ居ルノデアリマス、此所ニ設備ヲ致サウト云フ考デアリマシテ、他ノ民間ニアル所ノ既ニ設備ニナッテ居ルモノヲ買取ル、又設備ハナイケレドモ水力ノ特許ヲ得テ居ルモノヲ買取ルト云フ念慮ヲ有ツテ居ラスノデアリマス、自カラ得テ居ルモノガアルノデアリマス、ソレニ設備ヲ致シテ動力ヲ拵ヘル、此會社ガ發起サレテカラ設備ガ出來ル譯デアリマス、繰返シテ申上ゲマスルガ、此法案ヲ提出イタシマシタル今日ニ於キマシテ、民間ノ他ノ動力ヲ買收スルト云フコトハ一向ナイノデアリマス、ソレカラ又水利ノ權利ヲ讓受ケテ之ヲ拵ヘヤウト云フ念慮モ毛頭ナイノデアリマス、是ダケ申上ゲマシタナラバ、ハッキリ致シマセウ

○阪本鈺之助君 能ク分リマシタ、サウシマスルト詰リ信濃川ニ水力ノ特許ヲ得テ居ル會社ガ此會社ニ變形ヲスル、斯ウ云フコトニ了解ヲ致シテ宜シウゴザイマスカ、ソレガ甚ダ營業困難デアルカラ、政府ガ丁度宜イ鹽梅ダカラ一絡ニ行カウ、斯ウ云フ御趣旨ト了解イタシテ宜シウゴザイマセウカ

○國務大臣(元田肇君) 私ハ再三申上ゲタノデ御了解下サレタト思ヒマシタガ、ドウモ未ダ御了解ニナッテ居ラシヤラナイヤウデ、鐵道省自身ガ特許ヲ得テ居ル水利ガアル、水利權ガアルノデアリマス、ソレニ設備ヲスル爲ニ此會社ヲ起スト申上ゲタノデ、民間ニ特許ヲ得テ居ル會社ノヲ貫フナド、云フコトハ、初カラ一言モ申上ゲテ居ラス、信濃川ニ鐵道省ガ權利ヲ持ッテ居ル、是デ御疑念ガ起キマシタノデアラウト思ヒマスガ鐵道省自身ガ水利權ヲ得テ居ル、他ノ民間ノ會社ノデアリマセヌ

○阪本鈺之助君 鐵道……政府自身ガ權利ヲ得テ居ルト云フ言葉ガ屢々繰返

サレマシタガ、政府自身が御持チニナツテ居ルコトハサウ云フ言葉ヲ使ハヌモノカト思フテ、疑ヲ起シマシタガ、サウスルト全ク鐵道省自身ガ御持チニナツテ居ルト云フコトデ、ソレヲ基礎トシテ御ヤリニナルノデアアル、實際全ク民間ノ事業トハ没交渉デアアル、斯様ニ御明言デアリマスカラ良ク分リマシタ

○石黒五十二君 本案ニ付キマシテハ私モ二三點御尋ラ致シタイト思フテ居リマシタガ、其中ノ或ルモノハ唯今阪本君ヨリノ御質問ニ對シテノ御答デ十分ニ了解ヲ致シマシタガ、尙ホ他ニ二三點本案ニ付テ御尋ネイタシタイ點ガアリマスカラ質問イタシマス、本案ニハ電力株式會社トアリマスカラ故ニ、是ハ無論火力モアリマセウシ又水力モアラウト思ヒマス、其水力ノコトニ對シマシテハ、先刻來阪本君ト鐵道大臣トノ應答ニ依リマシテ、幾分カ本員モ分リマシタガ、尙ホ茲ニ甚ダ必要ナ點ガアルト思ヒマスカラ御尋ネ致シマスノデアリマスカ、現ニ鐵道大臣ハ或地點ヲ御話ニナリマシテ具ニ御説明ニナッタノデアリマス、又國有問題ニ對シテモ御説明ガアリマシタガ、元來今日マデ我が帝國内ノ河川ヲ利用イタシマス所ノ水力ナルモノハ、點々ニ各地ノ最モ容易ク出來ル所ノ地點ヲ撰ビマシテ、所謂企業家ガ許可ヲ得テ居ル、其許可ナルモノヲ得テ居リマスカ、果シテ之ヲ實行スルヤ否ヤ即チ此事ニ對シマシテハ、或ル期間ヲ極メマシテ、ソレゾレ遞信省ノ命令ニヨリ何箇月間ノ中ニ計畫ヲシナケバナラス、然ラザレバ水利權ガ其期間ヲ經過イタシマシタナラバ無効ニ歸シマスカレドモ、茲ニ口實ヲ設ケマシテ、有ラユル方便ヲ以テ、延期ヲスルコトガ今日マデノ様式ニナツテ居リマシテ、甚ダ惡シキ習慣ガアルノデアリマス、ソコデ是等ノ許可サレタル其一本ノ川ニ付キマシテ、技術上取調ベノ上、最モ有力ナル、國家經濟ノ上ニ於テ最モ必要ナル計畫ヲ立テタト致シマシテモ、偶々其ノ地點ノ上流若クハ下流ニ於テ、既ニ或ハ水利權ヲ得テ居リマスカ爲ニ、其川ヲ最大有效ニ利用スルコトモ出來スシテ甚ダ、不經濟ダ姑息ニ流ル、コトガアリマス、唯今御説明ニナリマシタ所ノ信濃川ノアノ地點モ本員ハ詳シクハ存ジマセヌガ、其狀態ニ於キマシテ今ノヤウナ事柄ガアルト思ヒマス、依ッテ幸ニ鐵道省ガ御使ヒニナル所ノ動力ヲ御選擇ニナリマスカコトニ對シテモ、川全體ノ狀態ヲ御考慮アラムコトヲ望ミマス次第デアリマス、又國有問題ニ付キマシテハ、獨リ鐵道省バカリデハアリマセヌ、政府當局ガ之ガ負擔ヲ御認メニナルコト、致シマシテ、行末ニハ我が帝

國ノ動力……水力カラ生ズル所ノ電氣動力ト云フモノヲ國有ニシタイト云フ、元來私ノ考ガアリマスカ爲ニ、其見地カラ私ガ今ノヤウナコトヲ御尋ネスルノデアリマス、再ビ申シマスガ、信濃川ノ地點ニ於キマシテモ前申シマサウニ、其上流カラ下流ニ於キマシテモ、今ノヤウナ事柄ガアリマスマイカ、如何デアリマセウカ、定メシ十分ノ御取調ベニナツテ居ルコト、思ヒマス故ニ、此事柄ニ對シマシテ一應御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、又第一條ノ此但書ニ對シマシテハ、鐵道大臣ハ先刻御答辯ニナリマシタコトヲ御訂正ニナリマシタカラ、本員モ左様ナ次第デアラウト思フノデアリマス、尙ホ此第二項ニハ「會社ハ政府ノ認可ヲ受ケ附帶業務ヲ營ムコトヲ得」トアリマス若シ第一項ノ但書ノ御説明ヲ御訂正ニナラヌナラバ、尙ホ此項ニ對シテモ御尋ネシタイト思フテ居リマシタガ、御訂正ニナリマシタカラ、ソレハ宜シイト致シマシテ、此第二項ハデス、附帶業務ト云ヒマスレバ電氣ヲ以チマシテ或ハ他ノ副業ヲヤルコトガ出來ルノデアラウト思フ、サウシマスト云フト、先刻阪本君ノ御質問ニナリマシタ所ノ、此帝國鐵道電力株式會社ハ應分ノ補助ヲ受ケテ居ル會社デアリマス爲ニ……間接ノ補助ヲ受ケテ居ル會社デアリマスカラ、他ノ營業會社ト比較スレバ營業上ニ於テ大ニ差ガアラウト考ヘマス、其差ノアル會社ガ附帶業務ヲ營ム認可ヲ得ルノデアリマスカラ、之ヲ營ミマシタナラバ、一般ノ營業者ノ妨ゲニハナラヌノデアリマセウカ、是モ伺ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ御答ニ依リマシテ會得ノ出來マセヌ所ハ、更ニ御尋ネ致スコトニ致シマシテ、大體此兩點ヲ伺ヒマス

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) 石黒博士ヨリ唯今御質問ガゴザイマシテ、實ハ種々ナル御質問モアルコト、心得マスカラ、委員會ニ於キマシテ十分ニ専門的ニ其他ノ事ニ付テ委曲ヲ盡シテ御答ヲ致スコトニ致シタイト云フコトヲ先刻モ申上ゲテ置キマシタ、唯今ノ博士ノ御尋ニナツタ事ハ、大體ノ事モアリマスカレドモ、政府委員ヲシテ答辯致サセマシタ方ガ、却ッテ御答ノ要領ヲ得ルコトガアラウト思ヒマスカラ、左様ニ致シマスドウゾ……

〔政府委員岡田意一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岡田意一君) 私カラ御答イタシマス、第一條ニ付キマシテ、先程ヨリ種々御尋ガアリマスカラ、私ヨリ一應申述ベタイト思ヒマス、此第一條ノ「但シ其ノ電力ニ餘裕アル場合ニ於テハ政府ノ認可ヲ受ケ他ノ鐵道、軌

道、其ノ他ノ事業ニ電力ヲ供給スルコトヲ得」此點ニ就キマシテハ、先程鐵道大臣ヨリ申上ゲマシタ信濃川ノ發電地點ハ、最近ニ於キマシテ新タニ許可ヲ受ケタルモノデアリマシテ、唯今ノ所、約十一万「キロワット」ノ發電量ガアルヤウニ算定セラレルノデアリマス、而シテ此鐵道ニ要シマスル電力ハ、

近キ將來ニ於キマシテ約十萬「キロワット」ヲ必要ト致スノデアリマスカラ、從ツテ或ル時期ニ於テハ餘力ガ生ズルヤウデアリマスケレドモ、更ニ餘力ガ生ズル場合ニ於キマシテハ、此鐵道ノ電化ハ非常ニ利益ナモノデアリマスカラ、寧ロ他ニ販賣スルヨリハ、假ニ餘力ガアリト致シマスレバ、其餘力ヲ以テ更ニ鐵道ノ電化ヲヨリ多ク致スト云フコトニシタ方ガ利益デハナイカト考ヘテ居リマス、併ナガラ全ク鐵道ニノミ供給スルモノデアルト云フ風ニ、窮屈ニ致シテ置キマスト云フト若シサウ云フ場合ガ少シデモ生ジタ場合ニドウデアルカ、斯ウ云フ考ヲ以チマシテ、他ノ臺灣ノ水電電力會社等ノ例ニ倣ヒマシテ茲ニ掲ゲテアル次第デアリマス、第二項「會社ハ政府ノ認可ヲ受ケテ附帶業務ヲ營ムコトヲ得」ト云フコトノアリマスノハ、是ハ例ヘバ電燈ノ事業、即チ鐵道ノ停車場ニ電燈ヲ點ケルカ、又ハ若シ假ニアリト致シマスレバ、其他ノ電氣化學工業ノ種々ナル事業モ或ハヤリ得ル場合ガアルカモ知レス、又ハ多少サウ云フコトヲスル必要ガアツタ場合ニ、全然出來スト云フコトニシテ置イテハ不便デナイカト云フ考デ、斯ク掲ゲテアルノデアリマス、決シテ是等ノコトヲ併セテ目的トシテ居ルト云フ譯デハナイノデアリマス、大體此第一條ノ但書、及ビ第二項ニ付テハ、斯ノ如キ趣旨デアルト云フコトガ御分リデアラウト思ヒマス、更ニ先程ノ御質問ニナリマシタ所ノ信濃川ノ水利ノ利用デアリマスガ、唯今鐵道省ニ於キマシテ許可ヲ受ケテ居リマスル發電地點ノ上流ニ信越水力電氣會社ト云フノガアリマス、是ガ約十萬「キロワット」ノ發電量ノヤウニ思ハレマスルガ、是等ヲ合併シテ經營シタナラバ利益デアラウト云フヤウナ御考ノヤウニ拜承イタシマシタケレドモ、唯今ノ所兩方合併イタシマスルト云フト、二十何萬「キロ」ト云フコトニナリマスルガ、勿論電力ノ多クアルコトハ電化事業ノ爲メニ最モ喜ブベキコトデアリマスルガ、若シ兩方合併シテ經營イタシマスルト、更ニ非常ナ巨額ノ資金ヲ要スルコトニナリマス上ニ、近キ將來ニ於キマシテハ、殊ニ信濃川ノ發電地點ヨリ鑑ミマシテ、二十何萬以上ノ「キロワット」ノ電力ヲ必要トシナイデハナカラウカト考ヘテ居ル次第デアリマス、殊ニ既ニ一方ハ民間會社ガ特許ヲ、許可ヲ受

ケテ居ル發電地點デアリマスカラ、鐵道省等ヨリ之ニ對シテ何等ノ計畫ヲ進メルコトハムヅカシカラウト思フノデアリマス、故ニ今日ニ於テハ全ク上流ニアリマスル信越電力會社トハ何等ノ交渉モ試ミテ居ラヌ次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○石黒五十二君 最後ニ御答辯ニナリマシタ信濃川水力ニ關シマシテハ、既ニ上流ニ信越水力會社ガアルカラト云フ御話ノヤウデアリマス、本員ノ御尋ネシマシタ趣旨ハ敢テ之ト合併スルト、セザルトニナイノデアリマス、信濃川其モノヲバ上流ヨリ下流ニ十分ノ御調査ニナリマシテ、鐵道省ガ今ヤ將ニ御著手ニナラウトスル所ノ發電所竝ニ其發電方法ニ對シマシテハ信濃川ヲシテ十分ナル動力ヲ出サシムルト云フ御計畫デアリマスカ、又ハ或ハ上流ナリ下流ナリ……唯今承ハリマスレバ上流ニ信越會社ナルモノガ既ニ許可ヲ受ケテ居ルカラ、折角信濃川ヲ十分ニ利用シヤウト云ヒナガラ、既ニ上流ノ爲ニ妨ゲラレテ居ルト云フコトガアリマセスカ、今日迄ノ各河川ニ對スル狀態ハ今ノヤウナモノデアリマシテ、是ハ我國ノ最モドウモ惡イ害ダト思フノデアリマス、物ニ譬ヘマスレバ、石炭山ニ對シマシテ、山其モノノ全體ノ上カラ致シテ如何シタナラバ其山ノ炭田ノ炭ヲ最モ多量ニ出シ得ルカト云フコトヲ調査モセズシテ、俗ニ申ス狸掘ト云フ方法デ、出來得ル限りノモノヲ點々掘リ出シマシタ結果ハ、折角アリマス石炭ノ量ヲ充分ニ出シ得ナカッタト云フ實例モアルノデアリマス、水力電氣ニ對シマシテモ、亦然リト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ信濃川ノ今ノモノハ官民合同ノ會社トスルノデアリマスガ、苟モ政府ナルモノガ御ヤリニナルニ對シマシテハ、是等ノ點ハ十分ニ御調べニナツテ御ヤリニナルノガ適當ナリト、本員ハ考ヘテ居ル爲ニ今ノヤウナ御尋ヲシタノデアリマス、敢テ上流ノ特許權ヲ買収ナサルカ、ナサラストカ云フ質問デハナイノデアリマス、本員ノ質問ノ趣意ハ此處ニ在ルノデアリマスカラ、鐵道省モ十分此點ハ御考ヘテ御有テ下サレムコトヲ望ム次第デアリマス、唯今ノ御答辯ニ依ツテハ、本員ハ少シク筋違ヒノヤウニ考ヘルノデアリマス、又前段ニ御答辯ニナリマシタ第一條ノ點ニ付キマシテハ、或ル程度迄ハ本員モ了解ヲ致シタヤウデアリマスケレドモ、假リニ信濃川ノ唯今御見込ミノ地點カラ十一萬「キロワット」ノ動力ガ出ルトシテ、差向キソレダケノモノヲ選ブナラバ、此第一條ノ但書、竝ニ第二條ノ條項ニ依ッテ、附帶事業ヲ營ムコトガ出來ル、例ヘバ京濱電車、又ハ上州地方ニアリマ

ス所ノ電車ノ如キ、是等ハ電力ノ供給ヲ受ケテ事業ヲ致シテ居リマスガ、營業會社ノコトデアリマスガ爲ニ、幸ニ致シマシテ此帝國鐵道電力株式會社ノ動力ガ剩リマシテ、之ヲバ此會社デ鐵道ニ供給スルコトガ出來ルナラバ、申スマデモナク今日迄供給ヲ受ケテ居ル價格ヨリハ、比較的廉價ニ供給スルコトガ出來ルデアラウト考ヘルノデアリマスガ、サウ致シマスレバ私設ノ會社ニ多少ノ妨害ヲ、妨ゲヲ爲サナイカト云フコトヲ御尋ネシタノデアリマス、先刻ノ御答辯ニハ、ソレ等ノ意味ガ精シク了解ヲ致シ兼ネマス、更ニ第一條ノ但書ノ第二項ノ件ニ付テ今ノヤウナ趣意ニ付テ御尋ネ申上ゲテ見タイト思ヒマス

〔國務大臣野田卯太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(野田卯太郎君) 唯今石黒サンノ鐵道大臣ニ御質問デゴザイマシタガ、一體此電氣事業ハ逓信省ノ管轄ニ屬シテ居ルモノデアリマシテ、一般ノ……殊ニ信濃川一般ノコトニ付テノ御質問ノヤウニゴザイマスカラ、鐵道大臣モ御困リデアラウ、私ノ方ガ之ヲ支配シテ居ルカラ大體ノコトヲ私カラ説明ヲ此場合ニ御許シテ得テ致シタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ……信濃川ノ上流ニ於ケル唯今辯明ニナリマシタモノハ、東京ニ引ク筈ニナッテ既ニ會社ガ出來テ居リマス、サウシテ工事モシカケテ居リマス、是ト鐵道會社ノ許可ヲ受ケテ居ル所ノ發電所ハ聊カ支ヘアリマセス、此方ハ餘程調べテ居リマス、ソレデ會社ノ許可ト云フノハ逓信省カラ申シマス、此鐵道省ノ電力會社ハ一ノ會社ト見テ居リマス、矢張り鐵道省ト雖モ自儘勝手ニ水力ヲ使用スルコトハ相成リマセス、サウ云フ譯デゴザイマスルカラ、信濃川全般ノコトニ付キマシテハ、逓信省デモソレゾレ調べテ致シテ居ルノデアリマス、地方デ使フモノ、東京ニ電力ヲ取ルモノ、又ハ鐵道省デ使用スルモノ、ソレゾレ其使用ノ途ヲ分ケテ許可シテ居ル次第デアリマス、ドウカ御承知下サラムコトヲ希望シマス、又大體石黒君ノ御説ト同様デアリマスガ、相成ルベク一ツノ川ニ於テハ細カニ之ヲ分ケテ使フト水ノ損ガ出來マスカラ纏メテ許可シ又既ニ許可シタモノデモ勸誘シテ事業ハ一緒ニスルヤウニ骨ヲ折ッテ居リマス、逓信省デ……是モドウゾ御含ミヲ願ヒマス、ソレカラ阪本サンノ御質問中ニ追々ハ國有ニデモシタガ宜カラウ、後藤逓信大臣ノ時代ニ此水力ノ調べヲ仕カケテ、内閣ガ代ッテ其儘ニナッテ居ルヤウニ御話デゴザイマシタガ、是ハ今ニモ矢張り引續イテ調べテ居リマス、序デニ申上ゲテ置キマスガ、我

國ノ水力ハ今決定シテ居リマセスガ、是マデ調べテ居ルモノハ平水量デ申シマスルト約千二三百萬馬力許リアル渴水デ約七百萬馬力、此中約四百萬馬力許可シテ居リマス、是ハ渴水デ申上ゲルノデス、其中既ニモウ營業シテ居ルモノガ百二三十萬ト見タラ宜シウゴザイマス、未ダ工事中或ハ許可ヲ受ケタ儘デ今マデ著手シテ居ナイモノヲ合セマシテ、二百六七十萬馬力アリマス、約之デ四百萬馬力ニナリマスガ、サウ云フ風デアリマスガ、ソレカラ此附帶業務ノ文字ガアリマシテ御疑デアリマスガ、是ハ逓信省デ殊更ニ條件ヲ付ケタ問題デアリマス、逓信省デ動力ガ餘ッテ他ニ賣ル時ハ逓信省ノ許可ヲ受ケル、他ノ會社ト競争ヲサセヌ積リノ條件デゴザイマス、左様御承知下サランコトヲ希望シマス、私御質問モ受ケズシテ飛入りニ申上ゲルノハ、甚ダ恐縮デゴザイマスガ……

○石黒五十二君 第一條但書、第二項ノコトニ付テハ唯今逓信大臣ヨリ御答辯ガアリマシタガ、其中ニ政府ノ認可ヲ受ケルト云フコトハ適當ナリト思ヒマスガ、然ルニ此營業ノ競争ヲ致サル範圍ニ於キマシテ、此帝國鐵道電力株式會社ノ方ノ價格ヲソレニ匹敵スルヤウニ上ゲナケレバナラヌト思ヒマス、上ゲルト申シマセウカ、之ニ相對スル所ノ價格ニ行カナケレバナラヌ、サウシマスルト此電力株式會社ノ營業上ニ於キマシテ、他ノ會社ヨリカ間接ニ受取ルノデアリマスルガ故ニ、會社ノ收益ハ餘計ニナルコトハ是ハ申ス迄モナイコトデアリマス、其餘計ニナリマシタ時ニハ、他ノ條項ニアリマス所ノ六分マデノ利益ガナケレバ鐵道省ガ之ニ補助スルト云フヤウナ……金高ガ減ルダケデアリマシテ、會社ニハ何等新タニ、此會社ニハ何等今ノ特別ノコトガナイ、補助ガ無イト云フ考ヲ有ッテ居ッテ宜シウゴザイマスガ、今一應伺ヒマス

〔政府委員岡田意一君演壇ニ登ル〕

○政府委員 岡田意一君) 私ガ御答イタシマス、假リニ但書ノ適用ガアル場合ハ萬已ムヲ得ヌト思ヒマスガ、假リニアリマシタ場合ニ於キマシテ、鐵道ノ方ニ供給スル動力ノ料金ト、鐵道以外ニ供給イタシマス料金トノコトニ付キマシテハ、唯今ノ所ノ計算デハ、鐵道省ニ對スル供給ハ約一「キロワット」一錢七厘五毛位ノコトデナイカト考ヘテ居リマス、假リニ餘力ガアリマシタ場合ニ、或ハ鐵道省以外ニ、ヨリ高ク供給スル場合ニハ、鐵道省ニ供給スル料金ニ付キマシテモ引上ゲナケレバナラヌヤウニナリハシナイカト云フヤウナ

御尋ネノヤウニ思ヒマスルガ、此點ハ各電燈會社等ニ於キマシテモ、必ズシモ、料金ガ一定シテ居ラヌヤウニモ考ヘマスルガ、此計畫ノ會社ニ於キマシテモ他ニ一千「キロワット」ナリ二千「キロワット」ヲ販賣スル場合ニ、其價格ガ一般ノ市場ノ價格ニ比較シマシテ二錢五厘ナリ三錢ト云フヤウニナル場合ニ、唯今豫定シテ居リマス一錢七厘五毛ノ方モ其所マデ上ゲナケレバナラヌコトニナリマスレバ、必ズシモ大部分ノ電力ノ方ノ料金ヲ一部分ノ方ノモノニ平均サセルガ爲ニ上ゲナケレバナラヌト云フ必要ハナカラウト思フテ居リマスルガ、其點ニ付テハ先程モ逓信大臣ヨリ御話ガアリマシタ通り、逓信省及ビ鐵道省ニ於テ果シテ餘力ヲ販賣シテ、一般民間ノ電力供給者ニ影響ヲ與ヘナイカ、又供給セシメルナラバ如何ナル點ニ料金ヲ定メタ方ガ宜シイカト云フコトニ付テハ、篤ト御調査ノ上ニ、決定サレルコト、思ヒマスカラ、御尋ノヤウナ御心配ニナル點ハ萬々ナカラウト唯今ノ所考ヘテ居ル次第デアリマス

○石黒五十二君 益分ラナクナッタカラ、モウ一應御尋ネ致シマス、本員ノ御尋致シマシタノハ、假リニ鐵道省ノ御取リニナル所ノ價格ガ「一キロワット」一錢七厘五毛位ト云フ御話デアリマシタカラ、假リニ一錢七厘五毛ト致シマス、サスレバ此動力ハ大體ソレダケノモノデ、會社ガ供給シ得ルノデアリマス、然ルニ例デアリマスガ、京濱電車ハ「一キロワット」二錢五厘デ供給ヲ受ケテ居ルト致シマス、サウシマシタ場合ニ幸ニ鐵道電力株式會社ニ動力ガ餘ッテ居リマスカラ幾ラカ京濱電車ヘ賣ルト云フ契約ヲスル場合ニ、一錢五厘ハ高過ギルカラ、一錢二厘デ差上ゲマス、斯ウ云フ契約ヲ致シマシテモ、是ハ無効デアル、即チ逓信大臣、政府ノ許可ヲ得ナケレバナリマセスカラシテ、之ヲ同ジク逓信省ニ於テ今日受ケテ居リマスル所ノ價格ガ二錢五厘デアリマスカラバ、更ニ鐵道電力會社カラシテ受ケル所ノ價格ガ二錢五厘トシマスカ、又ハ現在ノモノモ下ゲサセテ、ソレダケノ取引ヲ逓信省デサセルト云フコトニ本員ハ承知イタシタノデアリマス、假リニ二錢五厘マデニ上ゲナイニシテモ、二錢二厘デ致シマスナラバ、一錢七厘五毛トノ差額ノモノガ此新會社ノ所得ガ餘計ニナルト云フ算用ニナルノデアアル、併シ其所得ガ餘計ニナリマスレバ、此條項ニアリマス所ノ六分ノ金ニナリマスマデノ間ハ鐵道省ガ補助スルト云フコトデアリマシテ、會社其モノノ懷ニハ何等差支ガナイ、何等變リガナイト云フ風ニナリマスカト云フコトヲ御尋ネシタノデアリマス、

鐵道省ノ御取リニナル所ノ一錢七厘五毛ト云フモノニナサルカト云フコトヲ今御尋ネシタノデハナイノデアリマス、ドウゾ私ノ御尋ガ悪カッタカ分リマセヌガ、更ニ自ラ質問ノ趣旨ヲ述ベテ置キマス次第デアリマス

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) ドウモ能ク御問ヒノ趣旨ヲ了解シ得ナイノデアリマスガ、博士ニ伺ッテ見タイノデアリマス、或ハ御話ガ悉ク耳ニ入り兼ネマシタノカトモ見エマスガ、若シ御差支ガアリマセヌナラバ委員會ナラバ、誠ニ近イ所デ問答ガ出來マスカラ、ソレニ御譲リヲ願ヒタイト存ジマス、唯茲ニ一言申上ゲテ置キマスルノハ、民間ノ會社ト競争シテ保護マデシテ競争スルヤウニナッテ、民間ノ會社ヲ困ラセルダラウト云フ御懸念ダラウト思ヒマス、本法案ヲ提出シマシタ趣旨ハ鐵道ノ動力ヲ電化サセルト云フノガ大眼目デ、殆ド此目的ノ外ニナイノデアアル、併ナガラ鐵道ダケト云フコトニナッテモ、或ル場合ニハ困リハセヌカト云フコトカラシテ、但書ガ付イテ第二項ガアルノデアリマスガ、提案ノ趣旨ハ民間ノ會社ト競争サセルト云フコトヲ以テ一點ニテモ目的トシテ居ラナイ、左様ナコトヲ、法文ノ或ハ足ラザル所カラシテ左様ナコトガ萬一ニモアリマシタナラバ、是ハ即チ重役ハ政府カラ命ズル必要アリ、又其重役ナドニ對シマシテハ、嚴重ナル政府ノ監督ノ下ニ立ツト云フ此法案ノ趣旨ガ其所ニアルノデアリマスカラ、提案ノ趣旨ノアル所ハ是デ御了解ヲ願ヒマス此ノ趣旨ニ適ハナイ、或ハ缺點デアリマスルト云フコトデアリマスルナラバ、委員會ニ於テ御質問、御意見等ヲ伺ヒマシテ、政府モ考慮イタサナケレバナリマセヌガ、政府ハ是デ宜シカラウト思フガ、若シ多少ノ何ガアリマスルナラバ、重役ハ政府ガ命ジ、尙ホ其上ニ嚴重ナル監督ヲ致スコトニナリマシタナラバ、萬々不都合ナコトハアルマイ、斯様ナ確信ヲ以テ、提案シタ次第デアリマス、此趣旨ダケハ御了解ヲ願ヒマス

〔鈴木總兵衛君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 鈴木君ハ何デスカ

○鈴木總兵衛君 質問イタシタウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 通告者ガマダゴザイマス、矢口君ニ發言ヲ許サウト考ヘマスガ、矢口君ノ質問ハ十五分カ、二十分掛ルト云フ御話デゴザイマス、左様デゴザイマスカ

○矢口長右衛門君 左様デス

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ休憩ヲ致シマセウ、午後ハ一時三十分ヨリ開會イタシマス

午前十一時五十七分休憩

午後一時三十八分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

實業教育費國庫補助法中改正法律案可決報告書

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス

○矢口長右衛門君 鐵道大臣ノ出席ヲ求メマス

○議長(公爵徳川家達君) 何ンデスカ

○矢口長右衛門君 鐵道大臣ガ見エナイヤウデゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今鐵道大臣ノ出席ヲ求メツ、アリマスカラ、暫ク御待チテ願ヒマセウ

○議長(公爵徳川家達君) 此際諸君ニ御諮リヲ致シタイコトガゴザイマス、

日程第四帝國鐵道電力株式會社法案ニ付テハ、大分質問ノ通告ヲ議長ハ受ケ

テ居リマス、鐵道大臣其ノ他ノ國務大臣カラ答辯ノ必要ガアルヤウニ考ヘマ

スガ、色々ノ都合デ未ダ出席ヲ致サレマセスカラ、便宜上第四ノ法案ノ議事

ハ一時中止イタシマシテ、第五ニ移リマシテハ如何デゴザイマセウカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガナケレバ左様ニ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第五朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律

案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十六日

衆議院議長與繁三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律案

朝鮮醫院及濟生院特別會計法中左ノ通改正ス
第二條中「七十一萬圓」ヲ「九十二萬圓」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員古賀廉造君演壇ニ登ル〕

○政府委員(古賀廉造君) 朝鮮ノ官立醫院特別會計法中ノ一部ノ改正ニ關ス

ル法律デゴザイマス、朝鮮總督府ノ官立醫院ト云フモノハ三ツアリマシテ、

朝鮮總督府醫院、朝鮮總督府慈惠醫院、朝鮮總督府濟生院、此三ツノ醫院ノ

經營ニ付キマシテハ從來政府ノ出資金ト料金ノ收入竝ニ基本金ノ利子等ニ依

テ、之ヲ特別會計トシテ經營致シテ來テ居ッタデアリマス、然ルニ目下ノ

物價ノ騰貴ニ伴ヒマシテ、藥品其他材料ノ騰貴ヲ來シ、殊ニ又職員職員等ノ

俸給手當ノ増加ヲ必要トスル上カラ、今日マデ政府ノ支出金ハ七十一萬圓デ

ゴザイマシタガ、之ヲ以テ支辨スルコトハ不可能ニナリマシタカラ、更ニ尙

デゴザイマス、御審議ノ上御協賛ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御質疑モナイヤウデゴザイマスカラ特別委員

ノ氏名ヲ書記官ヲシテ報告ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律案特別委員

子爵西大路 吉 光君 子爵秋田 重季君 北里 柴三郎君

石塚 英藏君 男爵竹腰 正己君 男爵永山 盛興君

男爵岩 佐 新君 三宅 秀君 二階堂三郎左衛門君

○議長(公爵徳川家達君) 鐵道大臣ガ出席セラレマシタカラ、日程ノ第四ニ

戻リマス……矢口長右衛門君ニ發言ヲ許サウト考ヘマシタガ、矢口君ガ退席

中デゴザイマスカラ、已ムヲ得ズ次ノ通告者即チ柳原伯爵ニ發言ヲ許シマス

○伯爵柳原義光君 私ガ此帝國鐵道電力株式會社法案ニ付テ質問ヲ致シタイ

コトハ多クアッタデアリマスガ、大部分ハ同僚諸君ガ既ニ質問ヲ致サレタ

ノデアリマスカラ簡單ニ殘ッテ居ル質問ニ及ビマス、此十條ノ規定ニ「會社ノ

取締役ハ百株以上ヲ有スル株主中ヨリ政府之ヲ命シ」云々ト云フコトガアリ

マスガ、是ハ如何ナル趣旨ニ基イテ斯ノ如キ規定ヲセラレルノデアリマスガ、

元來斯ノ如キ半官半民ノ會社ト云フモノハ、背後ニ政府ガアツテ、常ニ政府ノ鼻息ヲ窺フガ故ニ、事務ガ擧ガラズシテ弊害ガ非常ニ多イノデアリマス、殊ニ此會社ハ取締役ヲ全部政府ガ之ヲ指定スルト云フコトニ對シテ、政府ニ絶大ナル取締役ヲ選ブ所ノ權力ガアル、而シテ此取締役ヲ選ブノ如何ナル方針ヲ以テ御選ビニナルカ、定メテ相當ナ人格者、相當ノ手腕アル人ヲ以テ御選ビニナルト云フコトハ、蓋シ常識ノ上カラ信ジラレルコトデアリマスガ、一度思フ他ノ方ニ轉ジテ見ルト、斯ノ如キ規定ノアルト云フコトハ、弊害ガ非常ニ其間ニ蟠マルモノデアルト云フコトハ、私ナラズトモ恐ラク他ノ諸君ニ於テモ御考ヘニナルコトデアラウト思フデアリマス、サラヌダニ政府ガ特殊ノ關係ノアル所ノ會社トカ、銀行ノ重役ニ列シテ居ル者等ヲ、政府ノ差金如何ニ依ツテ政黨トカ政派ノ便利ニ利用セラレルコトニ付テハ、誠ニ弊害ガ多イコトデアラウト思フデアリマス、政府ハサウ云フコトハ爲サラナイデアラウケレドモ、假リニ此規定ヲ惡用ト言ヒマセウカ、善用ト言ヒマセウカ、其言葉ハ私ハ用ヒルコトニ苦ムノデアリマスケレドモ、此規定ヲ用ヒテ、或ハ政黨者ヲ懷柔シ、或ハ某々ノ團體ノ有力者ニ其ノ椅子ヲ與ヘルコトニナツタナラバ、蓋シ政府ハ一種ノ箝口令ヲ布カレタヤウニナラウト思フ、マサカサウ云フコトハ爲サラヌト思フケレドモ、一度ビ茲ニ思ヒテ致スト慄然トシテ膚粟ヲ生ゼザルヲ得ヌノデアリマスガ、此際御辯明ガアレバ伺ヒタイト思ヒマス、此規定ニアル御精神ヲ明カニ御話ニナラムコトヲ希望イタシマス

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) 唯今第十條ノコトニ付イテ柳原伯爵ヨリ御尋ガアリマシタガ、ソレハ先刻モ一ト通り御聽キニ達シテ置キマシタト存ジマス、特殊ノ會社デアリマシテ、最モ嚴重ニ事務ガ擧ガラナケレバナラス、會社ノ取締モ出來ナケレバナラスト考ヘマス故ニ、政府ヨリ命ズルト云フコトニ致シマシタノデアリマス、政府ガ命ズルコトニモ、非常ニ弊害ガアルカモ存ジマセヌガ、政府ハ政府ノ命ズル者ガ弊害ヲ生ズルト云フコトハ考ヘマセヌ、一番是ガ確實ニ會社ヲ營ンデ行クコトガ出來ル、殊ニ此會社ハ大切ナル交通機關ノ動力ヲ供給スル所デアリマスカラシテ、一面ニ多少ノ保護ヲ加ヘマスト同時ニ、一面ニハ監督ナリ其他ノコトニ付テ、最モ嚴重ニ致ス必要ガアリマス、或ハ政府ノ提案ヨリ以上ノ致シ方ガアルカモ存ジマセヌ、左様ナコトデアリマスレバ御意見ヲ拜承イタシマシテ、尙ホ考慮モ致シマス、政府ノヤル

コトニハ弊ガアルコトハ、近頃甚ダ遺憾ナコトデアリマスガ、時々サウ云フコトヲ謳ハレルヤウニナリマシタノハ、私共甚ダ慨嘆ヲ致シテ居ル、併ナガラ一面カラ申シマスレバ、民間ノ事業或ハ政府ノ命ジタモノ、以外ノ人ガヤル方ガ確實デアルト云フ風ニ、總テノ人ノ能力ガ進ンデ參ッタナラバ、ソレハ國家ノ爲ニ賀スベキコトデアリマスケレドモ、ドウモ特殊ノ會社ヲ取締ルニ付キマシテハ、役員ハ矢張り政府カラ命ジタ方ガ宜カラウ、斯様ナ見地カラ、此條ヲ設ケタ次第デアリマス、政府提案ノ理由ダケ申上ゲテ置キマス、尙ホヨリ以上ノ宜シイ御考案ガアラレマスコトナラバ、拜承イタシテ考慮ヲイタシマス

○伯爵柳原義光君 更ニソレデハ鐵道大臣ニ承ハリマスガ、若シ假リニ此條ヲ修正シテ「株主ノ選舉ニ依ツテ取締役ヲ選出スルコトヲ得」ト云フコトニ、修正ヲシタラ政府ハ同意ヲナサルノデアリマスカ

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) ソレハ考慮ヲシテ、御意思ノアル所ヲ篤ト考慮ヲ致シテ、尙ホ其場合ニ政府ノ御答ヲ致シマス、唯今……

〔伯爵柳原義光君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 唯今國務大臣ノ發言中デアリマス

○國務大臣(元田肇君) 唯今如何ナル法文ニナリマスルカ、御趣旨ハ株主ヨリ選舉イタシテ重役ヲ定メルト云フコトニナリマス……政府ハ株主カラ自由ニ選舉ヲ致シテ、其選出シタル取締役等ヲ以テ此會社ヲ運用サセルヨリハ、政府ガ命ジタ方ガ宜シイト云フ見地ヨリシタノデアリマス、御質疑ニ於キマシテ、矢張り株主ヨリ選舉シタガ宜シイト云フ御見解ガ定マリマス上ハ、篤ト政府ニ於テ考慮イタシマシテ或ル機會ニ御返事ヲ申上ゲルコトニ致シマス、成ルベク御院ノ意思ノアル所ヲ尊重ヲ致シテ、案ノ通過ヲ圖ルコトニ努力シタイ考デアリマス

○伯爵柳原義光君 然ラバ……

○議長(公爵徳川家達君) 柳原伯爵

○伯爵柳原義光君 考慮ノ餘地アルモノト認ムト承知シテ宜シイノデアリマスカ

○國務大臣(元田肇君) 恐レ入りマスガ……

○伯爵柳原義光君 然ラバ鐵道大臣ニ質問イタシマス、然ラバ當院ガ修正シ

タナラバ、考慮ノ餘地アルモノト御考ヘデアリマスカ

○國務大臣(元田肇君) ソレハ無論考慮イタシマス

○伯爵柳原義光君 分カリマシタ

〔矢口長右衛門君演壇ニ登ル〕

○矢口長右衛門君 私ハ唯今御質問ニナッテ居リマス問題ニ付キマシテ質問致シマス、先刻阪本君並ニ石黒君、柳原伯爵等ヨリ質問サレタル重複ニ互ル點ハ避ケマシテ重複ニ互ラス所ダケノコトヲ當局大臣ニ質問イタシタウ存ジマス、本員ノ思ヒマスルノニ、現政府ハ自分ノ政策、自分ノ主義ト云フモノヲ行ハムトスルニ非常ニ熱誠ナル爲メカ、或ハ其理想ヲ充分ニ行ハムトスル念ノ急ナルガ爲カ、我々ノ考ヘモ付カナイ、豫想モ付カナイ所ノ問題ガ、時時突如トシテ我々ノ議席ノ上ニ現レマスノデゴザイマス、本員ハ當議會ハ特別議會デ短期ノ議會デアアルカラ、最モ急切ナル問題ニノミ討議イタスノデアラウト云フ考デ居リマス、必要デハアルガ左程目下急ニ差迫ッテ居ルト云フヤウナ問題デナイト云フ問題ガ、時々現レマスノデゴザイマス、唯今此所ニ現ハレマシテ居ル鐵道電力株式會社ノ問題ノ如キモノモ、亦其一デハアルマイカト本員ハ考ヘマス、初メ本員ガ此案ヲ手ニ致シマシタ時分ハ、是ハ何カ電氣鐵道デモ統一スル法案デハナイカト云フヤウナ考ヲ以テ、之ヲ開イテ見マスレバ、焉ンゾ圖ラシヤハ株式會社ヲ……官民合同ノ株式會社ヲ拵ヘルト云フ案デアリマス、其案タルヤ大イニ考慮スベキ問題デアアル、又必要ト云フ點ニ付テハ勿論國民モ疑ハナイ所デアリマスガ、果シテ斯ウ云フ忙シイ場合ニ僅カニ緊切ナ問題ヲ議スルモノデアアルガ……是甚ダ十分ニ私ノ意ニ徹底シナイノデゴザイマス、今ヤ此電氣ヲ國有ニシナケレバナラス、恰モ鐵道ヲ國有ニシタ如ク將來ニ於テハ電氣ト云フモノハ統一シナケレバナラヌト云フ次第モゴザイマセウ、サウ云フ肝要ナル問題デアアルノニ、今斯ウ云フ肝要ナル問題ヲバ、此忙シイ時分ニ此所ヘ提出シタル政府ノ意思ハ如何ナルモノデアアルカ、今茲ニ至急ヲ要スル問題トハ本員ハ思ハヌノデアリマス、而シテ此問題ヲ茲ニ提出シタル理由ハ如何デアアルカ斯ウ云フ忙シイ時ニ此問題ヲ、何ガ故ニスル問題ヲ非常ニ忙シイ時ニ、斯ウ云フ緊要ナル問題ヲ提出シタト云フコトガ私ニハ了解ガ出來ナイノデアリマス、第二ニハ斯ル問題ハ所謂半官半民ノ電氣鐵道ト云フヤウナコトハ……電力會社ト云フヤウナコトハ、國民幼稚ナ時代デアルトカ、或ハ開拓ノ必要ガアルト云フヤウナ時分ニ、丁度滿

鐵會社ノ起リマシタ場合、臺灣ノ電燈會社ガ起ッタヤウナ場合ニ爲スベキモノデ、今ヤ電力事業ハ民間ニ非常ニ盛ンニナッテ來ル、斯ウ云フ場合ニ於テ斯ル半官半民ノモノヲ設ケル必要アリヤ否ヤ、若シ之ヲ實行スレバ必ズ一般ノ折角今將ニ盛ンナラントスル處ノ民間ノ電氣事業ノ發達ヲ阻止シハシマイカ、本員ハソレ等ヲ甚ダ憂フルノデアリマス、是ニ對スル政府ノ考ハ如何デアザイマスカ、又此案ヲ見マスルト云フト、株式會社ノ……電力株式會社法案ト云フノガゴザイマスルガ、是ハ殆ド會社ノ定款ノヤウナモノデ、法案ト云フヨリハ、マア一ツノ定款ト見テモ宜イ位ノモノデアアル、我々ニ了解ヲセシメルノニ單純ニ是バカリニ了解ヲセト云フコトハ、ドウモ私ハ甚ダ了解ニ苦シム、謂ハバ事業ニ付キマシテハソレゾレ目論見書トカ云フモノガアリマス、今日はニ目論見書ヲ附ケヨト云フノデアリマセスガ、モウ少シ詳細ナル説明書ト云フヤウナモノヲ添附シテ議員ニ呈スルノガ相當デハナイカ、然ルニ詳シイ所ハ委員會ニ申上ゲルト言ハレマスルガ、委員會ハ少數ノ會デゴザイマシテ、大部ガ參加スル譯デモアリマセス、デ出來ルモノナラバ是ニ止メズ適當ノ説明書ト云フヤウナモノヲ添附スルヲ以テ私ハ相當ト思ヒマスガ、ソレマデノ準備ガ出來ナカッタノデアリマスカ、ソレマデノ注意ガ至リマセヌノデアリマスルカ、本員ハ解スルコトガ出來マセヌノデアリマス、以上ノ四點ヲドウゾ當局大臣ニ伺ヒタイ

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) 矢口君ノ御尋ネハ第一ハ緊急ノ事項デアナイト云フコトダ、是モ見方取方ニ依ッテ左様ニモナルコトデアリマセウ、政府ノ見ル所ハ誠ニ緊急ナモノト認メタノデアリマシテ、既ニ歐羅巴方面デアリマシテハ、數千哩若クハ全部ノ鐵道動力ガ電化シツ、アル今日ニ至リマシテ、不幸ニシテ今日マデ其事ガ日本ニ行ハレテ居リマセス、目下建設ニモ力ヲ盡シテ居リマスガ、改良ノ上ニ全力ヲ擧ゲテ改良ノ一端トナルベキモノハ、即チ動力ヲ電化セシメルト云フコトガ、其一ツデアリマシテ、今年此臨時ノ場合ニ提出ガ出來マセヌト云フコトニナリマスレバ、水力ノアル所ハ冬間ハ仕事ガ出來ナイ、更ニズツト遅レテシマフト云フコトニナレバ、今日一日ヲ争ウテ改良ヲ圖リツ、アリマスル場合ニ、甚ダ差支ヘルノデアリマスルカラシテ、緊急ノモノト致シマシテ、特別議會ニ御協賛ヲ仰グコトハ決シテ違法ノコトデアナイ、斯様ニ思慮イタシマシテ、如何ニモ矢口サンノ仰セラルル通りニ、短期ニシ

テ御多忙ヲ極メテアラセラレル場合デアリマスケレドモ提出イタシマシテ、御審議ヲ仰グ次第デアリマス、ソレカラ牽引ノ實力ヨリ見レバ到底短日月ノ中二十万「キロワット」ナドノ供給ヲ望ミ得ラレヌト云フ御心配ノ御尋ネデアツタカト思ヒマスガ、政府ニ於キマシテハ此事業ニ著手ヲ致シマシテ、必ズ豫定ノ期間内ニ成功スル見込デ居ルノデアリマス、ソレカラ次ハ委員會ニ於テ詳シイコトハ御審議ヲ願ヒタイト云フコトヲ希ヒマシタ、委員會ハ少數ノ場合デアアルガ、參考書デモアルナラバ、豫メ用意ヲシテ全員ニ配付スルノガ至當デアルノニ、何故セヌカト云フ御言葉ノヤウニ承ハリマシタ參考書ヲ………詳シイ參考書ヲ差上ダレバ、皆様ノ御手許ニ差上ダマシタナラバ此上ナイコトデアリマス、今日マダ提出イタシテ居リマセヌ、大ニ御參考ノ一助ニナルト云フヤウナ考ノモノガ出來マシタナラバ差出スコトニ致シマス、今日ハ是ダケヲ申上ゲマス

○矢口長右衛門君 唯今鐵道大臣ハ違法ト云フ文字ヲ使ハレマシタガ、本員ハ決シテ違法云々ト云フコトヲ申シタノデアリマセヌ、此案ハ衆議院ヲ通過シテ本院ニ送付セラレタモノデアリマス、而シテ議案ヲ提出セラレルノハ是ハ如何ニモ政府ノ權能デアルカラ何等違法デゴザイマセヌ、違法ト云フコトヲ申シタノデアリマセヌ、唯斯ウ云フ忙シイ時機ニ於テ、斯ウ云フ緊要ナ問題ヲ提出スルノハ考慮シタラ宜クハナカッタカト云フノデアリマス、ドウカソコハ御了承ヲ願ヒマス、尙ホ唯今ノ御答辯ニ付キマシテハ、十分了解イタシタト云フ譯ニ參リマセヌ、併シ此問題ハ随分時間ヲ費シマシタカラ、私ハ賢明ナル議員諸君ノ間ニ兩者ノ質問應答ノ判斷ヲシテ戴ク積リテ最早申シマセヌ

〔鈴木摠兵衛君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 鈴木君………

○鈴木摠兵衛君 鐵道大臣ニ質問ガアリマス

○議長(公爵徳川家達君) マダ通告者ガゴザイマス、暫ク御待チヲ願ヒマス、仲小路廉君

〔仲小路廉君演壇ニ登ル〕

○仲小路廉君 帝國國有ノ鐵道ノ動力トシテ電氣ヲ供給シ、之ニ依ッテ國有鐵道ヲ電氣化シタイト云フ、斯ウ云フ御趣意デアリマス、誠ニ事柄ハ目下ノ状態ニ取リマシテ、極メテ重要ナコトデアルト存ジマス、之ニ付キマシテ、

私ハ總理大臣ノ國有鐵道ニ關シ我ガ將來ニ於テ水力電氣ノ處置ヲ如何ニスルカト云フ點ニ付テ、大體ノ御方針ヲ承ハリタイト存ズル、此際、別ケテ申上ゲマスガ斯カル重要ノ問題デゴザイマスカラ、私ハ切ニ政府ノ御方針ヲ承ハリタイト存ズル、決シテ之ニ對シテ攻撃ガマシイ考ハ無イノデアリマス、ドウカ其點ニ付テハ質問者ノ趣旨ヲ能ク御了解ヲ願ヒマシテ、成ルベク明ニナルヤウニ希望イタシマスガ、鐵道ヲ國有ト致シマシタ以上ハ此運轉運輸ノ状態ノ十分能力ヲ發揮イタシマス爲ニ、其動力ニ付テ極メテ有力ナ途ヲ執ルト云フコトハ、大切ト思ヒマス、況ヤ我國ノ如キ國ハ全ク山岳ヨリ成リ立ッテ居ル、而モ水流甚ダ豊富デアリマシテ、此水流ヲ利用イタシマスレバ、國ノ富力ヲ増進スル上ヨリモ、又運輸交通ノ利益ヲ舉ゲマスル點ニ於テ、少カラヌ效果ヲ舉ゲ得ルコト、存ジマス、此我國勢及將來産業ノ發達ノ上ヨリ見テ、水力電氣ノ應用ハ最モ切實ナルコト、考ヘマシタノデアリマス、今朝鐵道大臣ヨリモ御説明モゴザイマシタガ、既ニ石炭ノ將來モ餘程考慮ヲ致サナケレバナリマセヌ、限リアル石炭ヨリモ、寧ろ無盡ニ其力ヲ發揮シ得ル水力電氣ノコトニ付キマシテハ、我ガ將來ノ産業ノ上ヨリモ餘程考慮シナケレバナラス、過日モ大河内子爵ヨリ御話ノアリマシタヤウニ、我ガ國防ノ上ヨリ考ヘテモ、又將來貿易上ノ點ヨリモ今日ノ急務ハ全ク我ガ工業能力、工業能力ノ充分ニ發揮スル途ヲ執ルコト、是ガ國防上産業上ヨリ見テ最モ大切ノコト、存ズルノデアリマス、斯ノ如ク總テニ對シテ、重要ナル關係ヲ持ッテ居リマスル此水力電氣、之ヲ此度ハ鐵道ノ動力ニ供スルモノ、爲ニ會社ヲ作ルト斯ウ云フ、之ニ付キマシテ私ハ特ニ總理大臣ノ御方針ヲ伺ヒタイ、水力、水流レハ元々公共ノモノデアアル、所謂、河水、水流、我ガ帝國ノ如キハ誠ニ其點ニ付テ、便宜ノアル地位ニ立ッテ居リマス、多クノ河川ハ全ク國ノモノデアアル、其多クノ河川ヨリ流れ出ヅル其力ニ依ッテ、之ガ利用サレテ動力トナル、自體ガ公共ノ事物デアアル、言ヒ換ヘレバ其本質ガ既ニ國ノ有タル實ヲ現ハシテ居ルノデアリマス、而モ水力電氣ノ十分ナル效果ヲ舉ゲヤウト致シマスルト、ドウ致シマシテモ、水ノ調節ヲ圖リ、成ルベク平水ヲ保タセル爲ニハ、森林ヲ基礎ト致シテ、ドウシテモ貯水池其他ノ途ニ依ッテ、成ルベク水ノ標準ヲ保ッテ行カナケレバナラス、サウ云フ上カラ考ヘマスレバ、此水力電氣ノ力ヲ十分ニ發揮シヤウトスレバ、河川治水ノ事業、之ニ伴ウテ理水ノ途ヲ立テ、尙ホ其效果ヲ有效ナラシムルニ付テハ、山林即チ森林等ノ聯絡モ甚

ダ必要デアリマス、斯ノ如ク總テニ聯絡スル肝要ナ方途ヲ盡シテ、而シテツレヨリ得ル動力ハ國有鐵道ガ勿論之ヲ利用サレルガ當然ダト存ジマス、日本鐵道ハドチラカト申セバ、山岳鐵道デゴザイマスカラ、此動力ハ電氣化サセルノガ本當ノコトデアアル、唯東京附近ノ鐵道ナド、云フヤウナ眼孔ノ小ナルモノデハイケマセヌ、全國大キナ山岳部分ニ屬スルモノハ總テガ電氣化サレテ、貴重ナ石炭ノ消費ヲ節シテ、益之ヲ保存セラル、途ニ出ヅルノガ、國ノ經營上カラ大切デアリマス、故ニ我國ノ有スル水流ニ基ク電力ヲ本質トスル國有鐵道デアル以上ハ、其力ヲ十分ニ用ヒラレテ宜イ譯デアリマス、此鐵道運輸轉ニ最モ大切ナ其動力、鐵道ノ死命ヲ制スル動力、之ヲ假令半官半民トハ云ヘ、別ノ會社ニスルト云フコトハ、將來餘ホド面倒ガ起リハセヌカト思ヒマス、即チ其會社ノ鐵道ノ運輸轉ニ關スル死命ヲ制スルコトニナル、全クソレガ死命ヲ制スルコト、ナルノデアリマス、好シデ會社ニシテ鐵道運輸轉状態カラモ面倒ヲ増ス本ニナリハセヌカト思フ、是コソハ鐵道ヲ國有ニシタト云フ此大斷行ニ伴ウテ、其時ニ當然必要ナ動力モ矢張り國家ニ於テ之ヲ供給スルト云フコトハ當然ナコトダト存ズル、單リ鐵道バカリデアリマセヌ、各種ノ工業ニ對シマシテモ出來得ル限りハ低廉ナ動力ヲ供給スルノガ大切ナノデ、出來得ル限りハ國家ノ水力ヲ十分利用イタシテ、而シテ低廉ナ動力ヲ供給スルト云フコトガ、即チ我が工業力生産力ヲ助長シ、發達シ、之ニ依ッテ海外貿易ノ基礎トモナル、電氣經營トシテ必要ナ今日、是クラキナ對策ハ立テラレテ宜カラウト思フ、國家ノ將來ノ經營ニ付テ今日ノ如キ場合ニ於テ茲ニ水力電氣ニ付テノ將來ノ大方針ヲ樹テ、單リ帝國鐵道ノミナラズ、我が民間ノ總テニ通ジテ工業能力ヲ發揮セシメテ、我が産業ヲ開發スル爲ニ有力ナル動力ヲ出來得ル限り低廉ナル方法ヲ以テ供給スル、此對策ヲ樹テラレテ然ルベキコト、存ジマスガ、斯ノ如キ重要ナ時機ニ單ニ鐵道ノミニ供給スル、サウ云フ大切ナモノマデモ之ヲ半官半民ノ會社ニシナケレバナラヌト云フノハ、誠ニ了解ニ苦シム、了解ニ苦シム結果ハ今朝來或ハ阪本君或ハ其他ノ各位ヨリソレガ爲ニハ却ッテ弊ヲ生ジハセヌカ、ソレガ爲ニ或ハ面白カラヌヤウナ事蹟ヲ來タシハセヌカト云フヤウナ質問ガ各方面カラ起ルノハ、皆ソレニ原因スルコトデハナイカト存ジマス、私ハ是等ハ大切ダト存ズル、大切ダト存ジマスカラ、寧ロ斯ル姑息ナコトヲシテ、痛クモ無イ腹ヲ探ラレテ、サウシテ其後ニ亦面倒ヲ起シサウナコト、是ハ誠ニ策ノ得タルモノデナイト存

ジマス、之ニ付キマシテハ定メシ總理大臣ニ御考モゴザイマセウ、私ノ質問イタシマス趣旨ハ今申ス通り決シテ政府ニ對シテ攻撃ヲ致ス積リデゴザイマセヌ、國家將來ノ畫策經營トシテ戰後ノ今日、茲ニ大方針ヲ承ハリタイ、河川、治水、森林總テヲ經メテ國家的動力ノ能力ハ、組織立ツタ途ニ依ッテ將來立派ナ動力國有ノ實ヲ擧ゲラル、コトガ大切デハナイカト存ジマス、ドウゾ私ノ質問ノ趣旨ヲ能ク御了解ヲ得マシテ、適切ナ御方針ヲ承ハリタイ、尙ホ御答ノ模様ニ依リマシテハ更ニ御伺ヒスルコトニ致シマス

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 唯今仲小路君ノ御質問デアリマスガ、今回ノ提案ハ元來ニ國有鐵道ノ一部ニ使用スル電力ダケノ案デアリマス、是ハ大體ヨリ申シマスレバ、必ズ斯ウ云フ事柄ニ付キマシテハ民營ニノミ依ラシムルコトニモナラズ、必ズ官營ノミデヤルト云フヤウナコトモ如何デアラウカ、無論政府ハ色々ナル財政其他ノ都合モ顧ミナケレバナラヌノデアリマス、ノミナラズ大體斯ウ云フヤウナコトハ、官民力ヲ戮セテノ精神ニ依ル方ガ宜カラウト云フノデ、先般モ臺灣ニ於テ矢張り斯ウ云フ官民合同會社ヲ設立シタヤウナ次第デ、ソレ等ノ精神ニ基キテ今回鐵道ノ動力ニ電氣ヲ應用スル、其電氣ヲ供給スル所ハ官民合同ノ會社デヤツテ、其力ヲ以テ供給シタラ宜カラウト斯ウ云フヤウニ決メタノデアリマス、會社ト云フ以上ニハ如何ニ半官半民デモ何カ將來面倒ガ起リハセヌカト云フ御懸念モ御尤デアリマスガ、其會社ヲ組織スルニ付テハ政府ニ於テ相當ナル監督ガ出來ル組織ニナルノデアリマス、一方ニ付テハサマデノコトハ無カラウト考ヘルノデアリマス、一般動力ノ關係其事ハ學者、實業家、財政家等ニ於テモ色々議論ガアルノデ、私ノ手許ニモ、種々ナ案ナドヲ出シテ教ヘテ來ル人モアルノデ、其中ニハ電氣ハ總テ國有ニシタラ宜カラウト云フ説モ色々アルケルドモ、是ハ餘ホド攻究ヲ要スル問題ト考ヘテ居ルノデアリマス、從ッテ今日ニ於テハ政府ハ是等ノコトヲ恰モ鐵道國有ニ致スガ如ク電力ヲ國有トシテ總テ國家ノ經營ニ委ネルガ宜カラウト云フ結論ハマダ見出し兼テ居リマス、無論種々ナ説ガアリマスカラ、ソレゾレ講究中ニ屬シテ居リマス、此一般的ノ問題ハ他日相當ナル時期ニ於テ相當ナル解決ヲ致サナケレバナラヌトハ考ヘテ居リマス、今日ノ提案ハ僅ニ鐵道ニ使用スルダケノ一部ノコト、御了解ヲ願ヒマス

○仲小路廉君 唯今總理大臣ヨリ御答辯ヲ得マシタガ、總理大臣ハ今朝ヨリ

當議場内ニ起テ居リマシタ種々ノ質問ニ付テハ、或ハ御承知ナカッタカモ知レナイ、此事業ヲ今日ノ場合半官半民ノ會社トスルノハドウ云フ必要ガアッテサウナナルカ、斯ウ云フ質問ニ對シテハ、金ノ都合、金ノ募集上ノ困難、其次ニハ斯カル會社ヲ作ル以上ハ其供給動力ノ基トナル所ノ水力地點ハドウスルノカ、政府デ國有鐵道ノ爲ニ動力ガ必要ト云フナラバ、政府自ラ許否ノ權ヲ有ッテ居ル、其權限ノ下ニ於テ水流ヲ利用シテ動力ヲ供給スル途ヲ開イタラドウカ、ソレヲ國家ノ必要上國有鐵道ノ動力ニシテ置キナガラ、特別ナル會社ヲ造ルカラ、ソコデ其動力ノ基礎トナルベキモノヲ誰カ許可權ヲ得タモノカラ讓リ受ケルモノデハナイカ、或ハ他日ハ許可ヲ得テ居ル者ガ之ヲ此會社ニ持込ムヤウナコトハシナイカ、ソレヨリシテ又種々ナ弊ヲモ起シハセヌカ、殊ニ國家ニ必要ダト云フコトノ爲ニ、此重役ナルモノモ總テ官選ニスル位ナレバ、ナゼソレヲ奇麗ニ鐵道自身ト同ジヤウニ國家直接ノ事業トシナイカ、斯ウ云フ各種ノ質問ガ起テ居ルノデアリマス、是ハ我々傍聽ヲ致シテ居リマシテ、成程起ル疑問ダト思フ、政府ノ御趣意ハソレニ相違ゴザイマスマイ、ゴザイマスマイガ是ガ所謂痛クモナイ腹ヲ探ラル、ト云フコトデア

ル、故ニ政府ノ御趣意、帝國鐵道ノ運用ニイツ迄モ石炭ヲ使ッテ居ルコトハ、不經濟デモアリ、又鐵道ノ本質ニ適ハナイ、其動力ヲ有效ニスル爲ニ水力電氣ヲ用ヒ、電化スル御趣意ハ宜シイ、ソレヲ何故ニ態々是位ノコトヲ半官半民ノ會社ニスル、殊ニ今ノ總理大臣ハ最モ其感シハ深イト思フ、曾テ官民ノ間ニ中々ノ議論モアツタ、鐵道ノ國有ヲ斷行サレ、當時種々ナ議論ガアリマシタニ拘ハラズ、國家ノ將來ノ爲ニ衆議ヲ排シテ此一大事業ノ斷行ガ出來タ、此斷行ノ時ニ直チニ其鐵道ヲ運轉スル爲ノ動力ニ考ヘ及バネバナラヌ、而モ我國ノ如ク山岳重疊水流ガ多イ、鐵道ソレ自身ガ山嶽鐵道ダ、是ガ電化サレベキ趨勢ヲ有ッテ居ル、性質ヲ有ッテ居ル、故ニ鐵道國有ヲ斷行サレタト云フ其精神ヲ押擴メレバ、折角國ノ有スル水流デアリマス、公共事物、ソレヲ成ルベクハ國民一般ノ利益ニナルヤウニ使フハ當然デアアル、此趣意ヨリシテ鐵道ニ水力電氣ヲ用ヒルノハ誠ニ宜シイト考ヘル、更ニ進メテ各種工業動力ニモ低廉ノ動力ヲ供給サレテ宜シイ、ソレヲ斯ウ云フ會社ナドヲ作ッテ見ルトカ、イヤ副業ニシテ營業ヲスル、是ガ誠ニ面白クナイ結果ニナツテ來ル、是ハ其結果ガ民間ノ事業ト競争ヲ始メマス、一方ハ政府ノ保護ヲ受ケ、政府カラモ投資ガアル、サウ云フヤウナ都合ノ好イ會社、是デハ民間ノ事業者ハ堪ラ

ナイ、此競争ヲ受ケテハ堪ラナイ、是レ即チ世上多クノ人ガ疑懼スル、此議論ニ就テモ皆其心配ヲ致シテ居ル、ソレデゴザイマスルカラ、私ハ鐵道ヲ電氣化スルノハ至極宜シイ、又其趣意ハ半官半民トハ言ヒ條多少國有的思想モ含ンデ居ル此水力電氣デアリマスカラ、戰後ノ今日大切ナ時、宜シク茲ニ將來ノ方針ヲ立テ、何モソレガ一日二日ヲ争フコトヂヤナイ、茲ニ大策ヲ樹テ立派ニ此動力ヲ低廉ニ各種ノ事業ニ供給スル途ヲ開クト云フ、是ガ産業ノ發達貿易ノ擴張ニ對シ、殊ニ國防上ニモ必要デアアル、總理大臣ハ宜シク此點ニ考フ及ボシテ戴キタイト私ハ思フ、然ルニ唯今ノ御答辯デハ私ハ甚ダ不満足ニ考ヘル、蓋シ是ハ今朝來ノ議場内ニ於ケル質問ノ様子ヲ御承知ナカッタカラト存ジマシテ、唯今ノヤウナ前後ノ事情ヲ申述ベマシテ更ニ伺フノデアリマス、ドウカ此點ニ付テ御抱負ノアル所ヲ承知イタシタイト思フ

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 重ネテ御答ヲ致シマスルガ、今朝來ノ御質問應答等ハ無論出席イタシテ居リマセヌカラ存ジナイノデ、ドウ云フ事ガアリマシタカ、尙ホ後ニ速記録デモ拜見スルノ外ハアリマセヌガ、併シ方針ハ御質問ノ如何ニ拘ハラズ申上ゲルコトハ出來ルノデアリマスカラ、先刻御答イタシタ、ソレデ必ズ官營デナケレバナラヌ、必ズ民營デナケレバナラヌト云フコトヲ固ク執ッテ行クト云フコトハ、今日ノ時代ニ於テハ如何カト考ヘルノデアリマス、又既ニ遠イ所ニハ南滿ノ例モアリマスシ、其他モアリマスガ、近イ所デハ丁度電氣ニ於テハ臺灣ノ水力電氣ノ例モアリマス、故ニ私ハ方針トシテ官民合同ノ會社ヲ造ッテ電力ヲ供給スルト云フコトハ差支ナイト考ヘタノデアリマス、殊ニ鐵道ノ如キハ國有鐵道ト申シマシテモ、詰リ營利的ニ働カナケレバナラヌ鐵道デアリマス、斯様ナル譯デアリマスカラ、茲ニ電力ヲ供給スベキ一ツノ官民合同ノ會社ヲ造ッテ、之ニ供給スルト云フコトハ何等ノ差支ナイコト、認メテ居ルノデアリマス、是ガ爲ニ決シテ民業ニ壓迫ヲ加ヘルヤウナ、競争デモ生ズルヤウナ憂ヒハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、サウシテ是ハ鐵道ノ一部ニ關スル事柄デアリマス、大體論ト致シマシテモ、先刻モ既ニ申シマシタ電力ト云フモノヲ如何ニ將來イタスカト云フコトハ大問題デアリマス、鐵道國有ノ當時ニ於テハ無論同時ニ電力ナリ動力ナリヲ考ヘナケレバナラヌ譯デアリマシタラウケレドモ、當時ニアツテハ今日ノ如ク電氣ノ事業モ發達イタシマセズ、當時ニアツテハ何人ヨリモ電力ナドノ論ヲ聞イ

タコトモナイヤウナ時代デアリマシタ、然ラバ當時最モ使用シタ石炭ハドウ
デアッタカト云フコトヲ考ヘマス、是モ實ハ鐵道ニ使用スル石炭位ハ持ツタ
ガ宜カラウト云フ説位ハアリマシタケレドモ、其動力ニ付テノ論ハ無カッタ、
唯個々ニ分レテ居ツタ鐵道ヲ國有ニ致シテ之ヲ統一シヤウト云フダケデ、ソ
レガ主タル理由トナツテ鐵道國有ガ出來タノデアリマス、デ今日電力ヲ統一
イタスト云フコトニ若シモ相成リマスルナラバ、丁度鐵道ヲ國有ニ致シタ如
キ方針ヲ取ラネバナラヌガ、今日民營ニ屬シマシテ動力ヲ供給イタシテ居ル
總テノ電氣會社ヲ、鐵道國有ノ例ニ依リマシテ、何トカ方法ヲ設ケテ之ヲ買
收スルノ外ハナイト思ヒマス、此買收イタシマシテ、總テノ電力ヲ統一イタ
シテ安ク國民ニ供給スルコトニ致シタラ宜シカラウト云フ論ハ現ニアルノデ
アリマス、是ハ相當ニ考慮シテ見ルベキ論ト私ハ思ヒマス、併シ如何ニモ、
大事業デゴザイマシテ、今日電氣ヲ使用シ若クハ電力ヲ供給シテ居ル會社ノ
資本ト申シマスルト當時國有ニ致シタ各鐵道ノ資本ナドニ比シマスルト餘程
差ガアル、大ナルモノト思ハナケレバナラヌ、之ヲ盡ク買收シ盡ク統一シテ、
更ニ低廉ナル電力ヲ一般工業者、其他ニ供給スルノ案ヲ立テルト云フコトハ、
容易ニ決定ノ出來ナイ大問題デゴザイマス、政府ニハソレ位ノ考ガアラウト
云フ御議論モアルカモ知レマセヌガ、此問題ハ容易ニ決定イタシマセヌ、併
ナガラ何レノ日ニカ此電力問題ハドウニカ解決シナケレバナラヌト云フコト
ダケハ切ニ感ジテ居ル、併シドウシタラ宜カラウカ、鐵道ヲ國有ニ致シタ如
キ、當時デモ中々容易ナラヌ問題デアリマスガ、今日個々ノ電力ヲ統一スル
ノハ容易ナラヌ問題ニナツテ居リマス、輕々ニハ決シ兼ネルノデアリマス、
併シ考慮スベキ問題デ從ツテ何レノ日ニカ解決シナケレバナラヌト考ヘテ居
リマスケレドモ、今日ニ於テハ此大問題ヲドウスルト云フコトノ決定ヲ申上
ゲル時機ニ達シテ居ラス、唯今ニ於テハ唯鐵道ニ用フ……、國有鐵道ノ一部
ニ電力ヲ應用シテ、漸次是ガ成功致シマシタラ、總テノ鐵道ガ電力ニ變ルデ
アラウト思ヒマスガ、是ト一般ノ話トハ大分違ツテ居ル、殊ニ石炭モ段々高
クモナリマスシ缺乏モ致シマス、電力モ亦此儘ニ致シテ居キマシタラ、區々
ノ民營ニ移ルヤウナ點モアリマスカラ、彼レ是レノ事情ヲ考ヘマスレバ、種
々ナル問題ガ此ニ湧キ出ヅル譯デアリマスケレドモ、兎ニ角、此問題ハ一般
ノ問題ト離レテ、鐵道ニ關スルダケノ問題デアルノデアリマス、鐵道ニ關シ
テハ、今日斯様ナ方法ニ依ツテ電力ヲ供給スル方ガ宜カラウト考ヘルノデアリ

マス、併シ重ネテ申シテ置キマスガ、必ズ官營ニシナクテハナラヌ必ズ民營
ニシナケレバナラヌト云フコトモ如何デゴザイマセウカ、成ベクナラバ官民
力ヲ合セル方ガ宜シイ、從ツテ弊害モ起ラヌトハ限リマセヌガ、其邊ハ注意ス
ルコトハ勿論大切デゴザイマスケレドモ、併シ從來ノ如ク官營カ民營カ何レ
カニ偏スルヤウナコトハ、ドウカト思ヒマスカラ、最近ニ起リマシタ色々ノ
例ヲ參酌シマシテ、此邊ノコトニシタ方ガ宜カラウト私ハ考ヘテ居リマス、
巨細ノコトニ至リマシテハ、當局者デゴザイマセヌカラ多少ノ間違モアリマ
セウ、詳シイコトハ當局者ヨリ既ニ説明ヲ申上ゲテアルカモ知レマセヌ、又
重ネテ申上ゲテ宜シイノデアリマスガ、大體ニ於テハ私ノ申スノガ政府ノ方
針ト御了解ヲ願ヒマス

○仲小路廉君 唯今總理大臣ノ御答ノ中ニ、鐵道國有ニシタ時ノ狀況ヲ申サ
レテ、其當時ニモ、一タビ、民營其他ノコトニ依ツテ行ハレテ居ルモノヲ、ソ
レヲ國有ニスルト云フコトハ非常ニ困難ヲ感ジタ、實ニ容易ナラヌコトデア
ルガ、ソレモ既ニ全體ノ必要トシテ國有鐵道ニナツタノデアリマス、デ其當時
ノ動力ノコトニ付テ水力電氣ナドノコトハ思モ寄ラナカッタ、又其時分ニハソ
ンナコトモナカッタト……是ハ如何デアルカ、鐵道ノ國有ハ明治三十九年、
三年ヲ經テ漸ク完成致シマシタ、水力電氣ノコトハ其當時カラ識者ハ著目シ
テ居ツタ、ソレハ其當時ヨリ外國諸邦ハ勿論、又日本ノ中ニ於テモ、識者ハ
我が地勢ノ狀態ヨリシテ之ヲ感ジテ居ツタノデアリマス、又政府即チ遞信省
ニ於テモ、特ニ將來此水力電氣ノコトハ餘程之ヲ大切ニシテ、十分其效果ヲ
發揮セシメ、國民全體ガ其恩澤ニ霑フヤウニト云フ積リデ、其當時此水力電
氣調査ノ計畫ヲ立テタ、組織的ニ……將來ノ計畫ノ基礎ヲ組織的ニ立テタ、
中頃ニシテソレガ一時中絶シマシタコトハ甚ダ遺憾デゴザイマスガ、併シ今
朝遞信大臣モ御答ヘニナリマシタ如ク、再ビ遞信省ニ於テハ水力ノ調査ノコ
トニ著手サレテ、是皆一貫サレテ少シモ遞信省トシテハ、中絶ハシテ居ルガ
水力調査ノ事ハ一貫シテ居ルト云ツテモ宜カラウ、其調査ノ結果ハ成ルベク
有力ナル效果ヲ擧ゲテ官業ニモ使用サレルモノハ使用サレテ宜シイ、鐵道ハ
固ヨリデアアル、又民業ニモ恩澤ヲ及ボシテ宜シイ、事業ノ動力ハ成ルベク低
廉ニスル、是ハ將來ノ計畫ニ於テ當ニ執ラナケレバナラヌ方針デアアル、現ニ
遞信省ニ於テハ執リツ、アル、一方ニ斯ル途ヲ取ツテ置イテ、而シテ此際帝
國鐵道ニ供給スルト云フ動力ヲ、態、茲ニ半官半民ノ會社ヲ作ル、疑問ハ此

○仲小路廉君 唯今總理大臣ノ御答ノ中ニ、鐵道國有ニシタ時ノ狀況ヲ申サ
レテ、其當時ニモ、一タビ、民營其他ノコトニ依ツテ行ハレテ居ルモノヲ、ソ
レヲ國有ニスルト云フコトハ非常ニ困難ヲ感ジタ、實ニ容易ナラヌコトデア
ルガ、ソレモ既ニ全體ノ必要トシテ國有鐵道ニナツタノデアリマス、デ其當時
ノ動力ノコトニ付テ水力電氣ナドノコトハ思モ寄ラナカッタ、又其時分ニハソ
ンナコトモナカッタト……是ハ如何デアルカ、鐵道ノ國有ハ明治三十九年、
三年ヲ經テ漸ク完成致シマシタ、水力電氣ノコトハ其當時カラ識者ハ著目シ
テ居ツタ、ソレハ其當時ヨリ外國諸邦ハ勿論、又日本ノ中ニ於テモ、識者ハ
我が地勢ノ狀態ヨリシテ之ヲ感ジテ居ツタノデアリマス、又政府即チ遞信省
ニ於テモ、特ニ將來此水力電氣ノコトハ餘程之ヲ大切ニシテ、十分其效果ヲ
發揮セシメ、國民全體ガ其恩澤ニ霑フヤウニト云フ積リデ、其當時此水力電
氣調査ノ計畫ヲ立テタ、組織的ニ……將來ノ計畫ノ基礎ヲ組織的ニ立テタ、
中頃ニシテソレガ一時中絶シマシタコトハ甚ダ遺憾デゴザイマスガ、併シ今
朝遞信大臣モ御答ヘニナリマシタ如ク、再ビ遞信省ニ於テハ水力ノ調査ノコ
トニ著手サレテ、是皆一貫サレテ少シモ遞信省トシテハ、中絶ハシテ居ルガ
水力調査ノ事ハ一貫シテ居ルト云ツテモ宜カラウ、其調査ノ結果ハ成ルベク
有力ナル效果ヲ擧ゲテ官業ニモ使用サレルモノハ使用サレテ宜シイ、鐵道ハ
固ヨリデアアル、又民業ニモ恩澤ヲ及ボシテ宜シイ、事業ノ動力ハ成ルベク低
廉ニスル、是ハ將來ノ計畫ニ於テ當ニ執ラナケレバナラヌ方針デアアル、現ニ
遞信省ニ於テハ執リツ、アル、一方ニ斯ル途ヲ取ツテ置イテ、而シテ此際帝
國鐵道ニ供給スルト云フ動力ヲ、態、茲ニ半官半民ノ會社ヲ作ル、疑問ハ此

カラ來ル、唯今總理大臣ノ御答辯ハ水力ヲ國有ニスルト云フ點ニ付テハ種々ニ考慮ヲ要スルト……勿論ハ多少ノ説ハアリマセウガ既ニ夫ノ途ヲ取ツテ居ル、是ハ又中々容易ナラヌ事デアアル、容易ナラヌ事デアアリマセウケレドモ、大體ノ方針ハ立ッテ居ル、大體ノ方針ガアレバ、今度ノ鐵道ノ爲ニ動力ヲ供給スル、チヨットシタコトダト言ハレル、僅カナ部分ノ動力、ソレ程御手輕ニ御考ヘニナルナラバ、ナゼ此位ノ事ハ鐵道自ラヤラナイ、現ニ確氷ノ如キ、各所ニ隨分電化シテ居ル、不十分ナガラモ……ソレガ僅ニ十萬「キロワット」前後ノモノデアアル、僅カニ一部鐵道ノコト、總理大臣ガ言ハル、如ク、チヨットシタコトナラバデス、ソレナラバ鐵道ノ普通ノ經營ノ一トシテ何ノコトハナイ、ソレヲ態、此位ノコトノ爲ニ、茲ニ會社ヲ造ラレル、ソレデアリマスカラ、僅カナコトデアアルニモ拘ハラズ、態、茲ニ官民合同ノ、而カモ特殊會社、補償ノアル……之ニ對シテ人々ガ疑惑ヲ抱クノハ當然ノコトデアリマス、大方針ニ從ヘバ、國有方針ニヤツテ宜カラウ、又一部局ノ爲ニ一部ノ小作業、若クハ運轉、一部ノコトノ爲デアアルナラバ、鐵道ノ改良工事、鐵道當然ノ事業トシテ、此動力關係ハ其一部分デ經營サレテ宜イ、全ク大ナル途ヲ探ルノカ、小ナルコトデアアルノカ、前後モ一貫セズ、首尾モ貫カズ、茲ニ斯ウ云フモノガ出テ來ルカラ之ガ問題ニナル、私ハ今朝來ノ情勢ヲ見テ已ムヲ得ズ此質問ヲ致スデアリマス、總理大臣ニ御出席ヲ願ヒマシテ、定メシ之ニ付テハ十分ノ御説明ヲ得マシテ、我々モ疑惑ヲ解クコトガ出來ルカト存ジタノデアリマス、甚ダ遺憾デゴザイマスガ、唯今ノ御答辯ニ依リマシテハ所謂帶ニモ付カズ釋ニモナラズ、誠ニ中間ノ異様ナモノガ、此特別議會ニ出サレタト云フ疑ヒヲ、矢張り有ツノデアリマス、此以上ニ最早御尋ネ申スコトモゴザイマセヌカラ、是デ質問ヲ終リマス

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 官民合同ノ會社デアアルガ宜シイカ、官ノミデアアルガ宜シイカ、或ハ民營バカリデアアルガ宜シイカト云フコトハ、是ハモウ議論デアリマス、イロ／＼ニ見ル所アツテ論ズルト云フコトハ、已ムヲ得ザル事柄ニナリマセウト思ヒマス、政府トシテハ官民合同ガ宜シカラウト考ヘタノハ、先刻申シタ如ク、必ズ官デアル、必ズ民デアルト云フコトニ依ラズ、臺灣等ニ實行イタシタ如ク、斯様ナル種類ノモノハ、官民合同ガ宜シカラウト考ヘタノデアリマス、其間何等別段ノ理由等ハナイノデアリマス、大體ノ水力問

題ニ付テハ、仲小路君ノ言ハレタルヤウニ、水力調査費ト云フモノガ遞信省ニアリマシテ、殊ニ熱心ニ仲小路君ナドハ從事セラレタノデアリマスケレドモ、當時ニアツテモ、必ズ水力ヲ官營ニスルトカ、民營ニスルト云フ目的ヲ以テ調査シタノデハナイヤウニ、私ハ記憶シテ居リマス、官デ使用スルモノハ、無論ソレデ宜シイ、少シモ妨グルコトハナイ、又民間ニ於テ段々電氣ヲ應用スル事業モ起ツテ參ルノデアリマスカラ、各地ノ水力ヲ調査シテ居ラスケレバ、人民ノ企業スルニモ甚ダ無駄ナ手數ヲ費シ、無駄ナ勞力ヲ費スコトニナルカラ、政府ニ於テ十分ニ調査ラシテ、此便宜ヲ計ツタラ宜カラウト云フコトデアアツタト私ハ記憶イタシマス、故ニ此時ニ於テモ必ズ官營ニスル、民營ニスルト云フコトガ定マツタコトハ記憶シテ居リマセヌ、況ンヤ今日ニ於テ鐵道ノ一部ニ用ヒルナド、云フコトハ、極メテ些細ナルコト、私ハ申シタ次第デアリマセヌ、資本ニ付テモ相當ナモノデ、會社ハ既ニアルノデアリマスカラ、些々タル事業デハ、無論ナイノデアリマス、併ナガラ大體ノ方針ニ關スレバ一部ノモノデアリマス、大體ノ方針トシテ電力ヲ統一イタスト云フコトハ大問題デアリマス、出來得ルヤ否ヤモ、餘程攻究シナケレバナラヌ位ノ問題ト、今日考ヘテ居ルノデアリマス、故ニ此問題ハ十分ナル攻究ヲ致シタ上デナケレバ、必ズ統一スルトカ、若クハ統一シナイ、民營ニ區ニ許シテ置クト云フコトハ定メ難イト、今日ハ思ッテ居ルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○仲小路廉君 最早質問ハ致サヌ積リデアリマシタガ、唯今ノ御言葉ニ依ッテ一言申シテ置キマス、總理大臣ノ御言葉ノ中ニ、場合ニ依リマスト少シ世間ノ誤解ヲ招クコトガアリハセヌカト存ズルノデアリマス、總理大臣ハ別シテ能ク御承知ニナツテ居リマス、往年遞信省デハ水力電氣ヲ調査イタシタコト、尙ホ今日引續イテ遞信省デ水力電氣ノ調査ヲ致シテ居リマス、此調査ノ目的ハ、我國ニ要スル水力ヲ成ルベク有效ニ、有能力ニ使ッテ、國民一般其恩澤ヲ蒙ルヤウニサセタイ、官營民營ト仰セニナリマスガ、一體官營民營ト云フ言葉ハ、今日ハ之ガ誤解ノ種トナリハセヌカト思フ、官民ト言フヨリモ國民全體ヲシテ恩澤ヲ蒙ラセルヤウニ成ルベク有效ナ經營ヲスル、當時國有鐵道ニ付テ誤解ヲ招イタノモノソレデアツタ、國有鐵道ト云フモノハ所謂國民ノ國有ニスル主義デアアルノニ、兎角スルト民營ヲ官ニ取上ゲルト斯ウ云フヤウナ感ジラ有ツタ、ソレガ甚ダシキ間違デアリマス、水力調査ノ趣旨ハ其外

ニアツタ、蓋シ今日モソレデアラウト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、其趣旨ハ出來得ル限リ貫徹スルヤウニ、官ノ事物ニ應用スルニモ低廉ナ動力ガ宜シイ、又民業ニ對シテモ出來得ル限リハ低廉ナル動力ヲ供給シテヤラナケレバナラス、ソレニ付テハ成ルベク統一シテ、無駄ノ費用ガ掛ラズ、餘計ナ經費ガ掛ラズニ、出來得ル限リ國家自ラ持ッテ居ルモノハ成ルベク有效ニ使フ爲ニ、河川、治水、及ビ森林等トモ共ニ見合ッテ、出來得ル限リ費用モ掛ラズ低廉ニスル、此趣旨デアルカラ、其趣旨ノ上カラ云ヘバ唯今斯様ナモノ、出來ルコトハ、却テ是ガ煩雜ノ種ヲ蒔クコトニナル、ソレデゴザイマスルカラ、此問題ハ決シテ事小デハナイ、ソレガ總理ノ仰セニナルコトハ、一部分ノモノデ僅カナモノダト云フナラバ、其僅カナモノ、爲ニコソナ會社ヲ造ラズトモ、鐵道ノ經營中ノ一部ニ現ニ今日火力ヲ用ヒ、水力ヲ用ヒ、動力ヲ使ッテ居ルノデアリマスカラ、暫クソレデヤツテ澤山ダラウト思ヒマス、大ナル方針ヲ茲ニ決定シテ官民共ニ其恩澤ヲ蒙ルヤウニスルガ、戰後ノ大經營デアリマス、國防ノ上カラ、海外貿易ノ上カラ、又我國實業ノ發達ニ付テモ、ドウカ堅實ナル組織アル本當ノ工業國タラシメナケレバナラヌト思フノデアリマス、宜シク其他ノ點ニ於テ御留意アリタイト思ヒマス

○伯爵廣澤金次郎君 私ノ質問ハ簡單デアリマスカラ、自席カラ述ベテ宜シウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○伯爵廣澤金次郎君 私ハ今朝來種々ノ質問應答ガアリマシタガ、未ダ少シク明瞭デアリマセヌ點ガアリマスカラ、鐵道大臣及ビ遞信大臣ノ御説明ヲ願ヒタイト考ヘマス、第一ハ民間ノ既設未設ニ拘ラズ、既得水力權及ビ出願中ノ水力ニ關スル點デ伺ヒタイノデアリマス、鐵道大臣ノ午前中ヨリノ説明ニ依リマス、唯今議題ニ上ボリマシタ所ノ帝國鐵道電力株式會社ナルモノハ、單ニ信濃川事業計畫ノミデアアルヤウニ聞エマスガ、且又鐵道大臣ハ他ノ既設民間電力會社若クハ出願中ノ權利等ヲ買收スル見込ナシト云フコトヲ斷言セラレテ居ルノデアリマス、併ナガラ一朝此帝國鐵道電力會社ナルモノガ成立シタ曉ニハ本案ノ第何條ニ依リマシテ、午前ニ鐵道大臣ガ聲明サレタル通りニ拘束スルコトガ出來ルノデアルカト云フコトヲ第一ニ伺ヒタイノデアリマス、私ガ本案ヲ通ジテ見ル所ニ依ルト、十九條ニ政府ハ帝國鐵道電力株式會社ニ監理官ヲ置クト云フコトガアリマスガ、マサカ他ノ水力權ヲ買收シ

或ハ出願中ノ水力權ニ競争シテ此會社ガ出願スル所ノコトハ、第十九條ノ監督官ノ或ル監理權使用ノ拘束スルト云フコトハ出來ヌダラウト考ヘマス、遞信大臣ハ又内閣ガ代リマスレバ又他ノ御方ニナラレルト考ヘマスガ、此コトニ付キマシテハ單ニ當局大臣ノミノ言明デハ甚ダ明カデアリマセヌカラ、此點ニ付テハ精シク御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、即チ本案ノ第何條ニ依ッテ鐵道大臣ノ言ハレル、拘束スルコトガ出來ルカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス、其次ハ是ハ數字ノコトデ承リタイノデアリマスガ、ソレハ私ハ斯ウ云フ疑問ヲ持ッテ居ルカラデアリマス、或ハ看板ハ信濃川水力デアリマスガ、事ニ依ルト既ニ信濃川ノ一部ノ水力工事ノ著手、或ハ又他方面ニモ水力ノ工事ヲ拵ラヘル場合ガアリハシマイカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、ナゼナラバ帝國ノ鐵道ノ電力ニ電化スル必要ナルモノハ信濃川ノ送電ノ範圍ニ限ラヌダラウト思ヒマス、今日ニ於キマシテハ例ヘバ京阪地方ノ如キ、或ハ九州ノ門司附近ノ如キ、人口稠密ナル都市ノ交通機關ハ電力ニ依ルト云フコトガ便利デアルト云フコトハ、歐米諸國ノ例ニ倣ヒマシテモ當然デアラウト思ヒマス、故ニ將來帝國鐵道ノ動力ヲ電化ニ變更……電化スト云フ必要ハ信濃川ノ送電範圍ノミニ限ラヌダラウト思ヒマス、故ニ私ハ茲ニ政府ノ御説明ヲ煩ハシタイノハ、政府ノ言ハル、如ク信濃川水力ノ十一万「キロワット」ノ發電ヲ成就スルニハ、建設費ハ幾ラ掛カルカト云フコトヲ承リタイト思ヒマス、又土木工費及ビ送電裝置ノ竣成ノ上ハ、是ガ發電所ニシテモ宜イノデアリマスガ、或ハ東京附近デモ宜シイノデアリマスガ、一「キロワット」ガ何錢ニ付クカト云フコトヲ承リタイノデアリマス、之ニ關聯シマシテモ一ツ伺ヒタイノハ、鐵道省ハ既ニ大キナ設備ヲシテ居リマスガ、或ハ火力發電所ヲ所持シテ居ラレルヤウデアリマスガ、是ハ第六條ニ於ケル株式ノ株ハ財產ヲ以テ拂込ムト云フコトデアリマスガ、其一部ニ御充テニナルノカト云フコトヲ伺ッテ置キタイノデアリマス、モウ一ツ伺ヒタイノハ十六條ノ建設期間ノ配當ノコトデアリマス、是ハ民間ニモ鐵道會社若クハ水力電氣會社ニハ往々アル例デアリマス、建設期間ノ配當、是ハ俗ニ言ヒマス蝸配當ト申スノデアリマス、即チ之ニ依ッテ金額ハ建設費ニ課セラレルト云フコトデアリマス、是ハ或ル程度マデハ已ムヲ得ヌト云フコトヲ私モ是認スルノデアリマス、併ナガラ通常民間ニ於キマシテ所謂蝸配當ハ五分ニ止ッテ居ルヤウデアリマスガ、政府ヨリ是ヲ殊ニ六分ニ、一分値上ゲヲシテ六分ノ配當ニ御許シニナル、殊ニ

衆議院ノ修正ニ御同意ニナツタト云フ理由ヲモウ少シ明瞭ニ伺ヒタイノデア
リマス、以上二點ニ、主モニ鐵道大臣ハ將來ノ出願權ノコトニ付テハ、此電
力會社ハ通常ノ法人ト同様ニ御取扱ニナルカト云フコトヲ御答辯ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス

〔國務大臣野田卯太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(野田卯太郎君) 廣澤伯ニ御答イタシマス、御問ヒノ通り全ク一
ノ會社ト見テ、遞信省ハ水力ノ値上ノ如キハ取扱ヒマス、又第一條、其前ニ
御話致シマシタガ、外ニ動力ノ供給ヲスル時モ一個ノ會社ト見テ許否ヲスル
積リデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○伯廣廣澤金次郎君 今一應簡單ニ遞信大臣ニ伺ヒマスガ、即チ通常ノ法人
ト認メマスガ、如何ニ半官半民デモ之ニ優先權ハ認メヌト云フ御答辯ト承知
シテ宜シイノデアリマスガ

○國務大臣(野田卯太郎君) 御問ノ通りデゴザイマス

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) 御尋ネノ項ニ或ハ落チガアルカモ知レマセスカシ其
時ニハ再ビ御尋ネヲ願ヒマス、一「キロワット」何錢ニナルカト云フ御尋ネガ
アツタヤウデアリマス、是ハ政府委員ガ精シク心得テ居リマスカラ其方カラ
御答イタシマス、ソレカラ火力ヲ實施スルコトガアルカト云フコトデアリマ
ス、是ハ鐵道省内ニ現在火力ヲ持ッテ補ッテ實施スル積リデアリマス、衆議院
ノ修正ニ同意シタ理由ハドウカト云フ、衆議院ニ向ッテ直チニ同意ト云フコ
トヲ申シテ居リマセヌ、先刻モ申上ゲマシタガ衆議院ノ修正理由ハ、目下財
界ノ變動ガ甚シイノデアリマスカラシテ、斯ル場合ニ五朱ト云フコトデハ連
モ成立セヌト云フ意味ニ於テ、六朱ニシタ方ガ出來ルデアラウト云フ意味デ
修正案ガ出マシタ、政府ノ意見ヲ問フト云フコトデアリマスガ、政府ハ確實
ナル販路ヲ有ッテ居ル此會社ノコトデアリマスカラ、五朱デ正當デアルト認
メテ原案ヲ提出シタノデアアル、アリマスルノガ今日ノ財界ニ願ミテ之ヲ一朱
ダケ上ゲル必要ガアルト云フ議論モ全ク根據ノ無い御修正トモ考ヘマセヌ、
貴衆兩院ニ於テ其修正ガ一致ノ意見デアルト云フコトニナリマシタナラバ、
其點ノミヲ以テ政府最初ノ提案ト違フト云フバカリデ反對ヲ表スルコトハ致
サズ、原案ノ通過ヲ希望スルカラシテ、其際ニ同意スルコトニ吝カナラヌト
述ベタノデアリマス、直ニ同意ヲ表シテ居ルノデゴザイマセヌ、マダ御尋ネ

ガ殘ッテ居リマシタラ……

○伯廣廣澤金次郎君 一番大事ナ點ノ御説明ガ濟ンデ居リマセスカラ、モウ
一應已ムヲ得ズ繰返シマス、鐵道大臣ハ今朝ヨリ議員ノ質問ニ答ヘラレマシ
テ、此帝國鐵道電力株式會社ナルモノハ既ニ鐵道院時代ニ權利ヲ得テ居ル信
濃川ノ水力ト云フモノヲ計畫スルノガ目的デアアル、故ニ本日議員ノ質問ニ對
シテ、他ノ民間ノ水利事業若クハ水利權ヲ買收スル等ノコトハ、此會社ニ於
テハサセヌ積リデアルト云フコトヲ言明サレテ居ルノデアリマス、併ナガラ
私ノ申シマスルノハ、ソレハ現政府存在中ハ元田鐵道大臣ノ言明通り參リマ
セウガ、内閣ガ迭リマシタ場合ニハ、其言明ハ少シモ有效デナイト考ヘマス、
故ニ其御言明ヲ本案ノ第何條ニ依ッテ、此會社ヲ拘束スルコトガ出來ルカト
云フコトヲ伺ヒマス、或ハ十九條ニ監理官ト云フ條項ガアリマスカラ、此監
理官ノ監督權使用ニ依ッテ行フト云フヤウナ御解釋ガアリマスガ、マサカ左
様ヲ御解釋デナイト考ヘマスガ、本案ノ第何條ニ依ッテ他ノ民間ノ會社ノ水
利權ヲ買收スルトカ或ハ他ノ民間ノ會社ト競争ハサセヌトカ、斯ウ云フコト
ヲサセヌコトヲ、第何條ニ依ッテ拘束スルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリ
マス

○國務大臣(元田肇君) 如何ニモ左様ナ御問デゴザイマシタ、先刻ノ私ノ御
答ヲ少シ申上ゲヤウガ惡カッタノデゴザイマセウ、此會社ハ成立スレバ其動
カト云フモノハ、民間ノ既設會社カラ買收スルコトモアル積リデアアルカ、或
ハ水利權モ買收シテ之ヲ成立セシムル積リデアアルカト云フヤウニ私ハ了解イ
タシマシタ、ソレ故ニ此會社ヲ設立イタシマスニ付イテハ、信濃川ニ既ニ
鐵道省ガ特許ヲ得テ居ル所ノ水利ガゴザイマス、水力ガゴザイマス、之ニ設
備ヲ加ヘマシテ、而シテ送電スルト云フコトガ此會社ノ設立ノ目的デ此案ヲ
提出シタ次第デアリマシテ、他ヨリ民間ノ會社ヨリシテ或ハ買收スルトカ、
或ハ水利權ヲ買受ケルト云フ意味ニ於テ、成立サセムトシテ提案ハセヌト云
フコトヲ申上ゲテ置キマシタ、併シ其時ニモチヨット申上ゲテ置キマシタガ、
將來ノコトハ何トモ申上ゲ兼ネマスガ、政府ガ今回此案ヲ提出イタシマシタ
ノハ、何所ノ水利ヲ取ッテ立テル積リカ、民間ノ會社カラデモ買收スルノカ
水利權ヲ買收スルノカ、サウシテヤル積リカト云フ御尋ト心得マシタガ、サ
ウデハアリマセヌ、現ニ信濃川ニ鐵道省ガ特許ヲ得テ居ルノガアリマス、之
ニ設備ヲ加ヘテ此電力ヲ取ルト云フノデアリマス、遠キ將來ニハ如何ヤウニ

ナルカ、此ノ事マデ今言明ハ致シマセス、現政府ガ之ヲ提案イタシマシタノハ、現ニ茲ニアル所ノ水利ノ上ニ設備ヲ加ヘルト云フノデアリマス、斯様ニ申上ゲタノデアリマス、從ツテ將來ニ於テ此法律案ヲ以テ法律ガ出來タナラバ、永遠ニ他ノ水利權モ買ハスト云フコトマデ、何處デ括ラル、カト云フ御尋デアリマスガ、ソレ程マデニ括ラル、條文ハアリマセス、是ハ將來左様ナコトガアリマシテハナラヌト云フ非常ニ杞憂ヲ懷ク場合デアリマスナラバ、長ク束縛スル所ノ法案ヲ備ヘテ置クノガ必要デゴザイマセウガ、現政府ノ此會社ヲ創立サセル所ノ趣意ハ今申上ゲマシタ通りノ趣旨デアリマシテ、遠キ未來ニ於テ水利權ヲ買フコトハ出來ヌト括ツテ置ク必要ハ有ルマイカト思ヒマス、是ダケ……

○伯爵廣澤金次郎君 建設費及ビ電力ノ一「キロワット」當リノ値段ノコトハ後ニ政府委員カラ伺フトイタシマシテ、今一應唯今ノ大臣ノ御説明ニ對シテ伺ツテ置キタイト考ヘマス、今朝カラ見マスルト、大臣ノ御答辯ガ大分違フヤウニ私ハ考ヘマス、今朝ハ私ガ考ヘマスノニハ、帝國鐵道電力株式會社ヨリハ、寧ロ信濃川電力株式會社ト案名ヲ變ヘラレタ方ガ適切デアラウト云フ位ニ考ヘテ居ッタノデアリマスガ、唯今ノ御説明ハ近キ將來ハ知ラヌガ、遠キ將來ニ於テハ他ノ水利權モ買收シ得ルデアラウ、又他ニ水利權ヲ出願スルコトモアラウ、斯ウ云フヤウナ御解釋デアリマス、固ヨリ是ハ當然ノ解釋ト私ハ考ヘマス、會社ガ成立シタ以上ハ、是ハ株主ノ權利デアリマス、即チ株主ニ於キマシテ、信濃川ノ水力電氣ト云フモノガ或ハ一回二回ノ計畫ガアルト致シマシテ、第一期第二期ノ工事ハ有利ナリト認ムルモ、第三期ノ工事ハ有利ナラズト認メテ、他ニ水力ヲ求ムベシト云フヤウナ株主ノ決議ガアッタナラバ、當然他ノ水力ニ此會社ハ手ヲ延スコトニナラウト思ヒマス、是等ハ寧ロ當然ノ御解釋デアラウ、私モ左様ニ解釋シテ居ッタノデアリマス、然ルニ午前ノ御答辯ト唯今ノ御答辯トハ大分模樣ガ違ヒマスカラ、改メテ私ノ申シマシタ所ノ説ガ、即チ鐵道大臣ノ本案ニ對スル御説デアアルカト云フコトヲモウ一應確メテ置キタイト思ヒマス

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) 重ネテ御答ヲシマス、私ハ午前ニ御答ヲシタノト餘リ相違ヲシテ居ラヌ考デゴザイマス、唯今ノコトニ關係イタシマシテハ阪本君ヨリ御尋ガゴザイマシテ、民間ノ會社ト云フモノカラ買入レルノデナイカ

ト云フコトヲ屢々御尋ニナッタノハ、ドウモ私ニハ其意味ガハッキリ致シマセヌデ、度々サウデアアリマセス、茲ニ特許ヲ得タ所ノモノニ基イテ之ニ施設ヲ加ヘテヤリマスノデアリマス、斯ウ御答シタノハ此提案ハ政府ガ提案シテ、何ヲ目的トスルカト云フ御尋ト心得マシテ、其際ニモ申上ゲマシタ、今日提案ノ場合ニ於テ會社ヲ立テルノニ、他ノ民間ノ會社ノモノヲ買集メテ會社ヲ拵ヘルト云フ意味デゴザイマセス、茲ニチヤント備ヘタノガアルノデアリマス、遠キ將來ノコトハ今私ハ何トモ申シテ居ラヌノデアリマスケレドモ、今日提案ヲシテ創立スルト云フノハ左様ナ譯デハナイ、現ニ特許ヲ得タノガ信濃川ニアリマス、斯ウ云フ意味ニ申シタノデアリマス、唯今廣澤伯爵ノ午前十違フト云フヤウナ御尋ヲ得マシテ、阪本君ヨリ屢々御尋ネセラレタノハ、ドウモ再三御尋ニナリマシタノガドウ云フ譯デアラウカト云フコトガ漸ク了解ヲ致シマシタ、唯今御答申上ゲタノデ明白スルデアラウト考ヘマス、ソレカラ經營ノ設備費ト云フヤウナコトデアリマシタナラバ、ドウカ委員會其他ニ於テ政府委員ヨリ御聽取ヲ願ヒマス

○伯爵廣澤金次郎君 唯今書類ヲ御所持ニナラナイナラバ委員會ニ……私ハ委員デアアリマセスガ、或ハ速記録デ、拜見スルカモ知レマセスガ、幸ヒ書類ヲ御持參ナラバ此席デ御申述ベニナッタ方ガ宜クハアリマスマイカ、ソレトモウ一ツ序ニ鐵道大臣ニ伺ヒマスルガ、先程申シマシタガ、將來ニ於キマシテハ所謂信濃川ノ電力送電配電ノコトデ、帝國鐵道ニ於テ動力電化ノ必要ガアル所モ多クアルダラウト考ヘマス、若シ斯様ナ場合ニ動力電化ノ必要ガアリマシタナラバ、即チ此帝國鐵道電力株式會社ヲシテ増資ヲ爲スカ、或ハ社債ヲ起シテ其時ハ又他ノ仕事ニ著手スルノデアアルカト云フコトヲ、序ニ伺ツテ置キタイノデアリマス

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) 御答イタシマス、是ハ衆議院デモ質問ガゴザイマシタ、當局ト致シマシテハ總テ國有鐵道ノ動力ヲ電化サセタイノデアリマス、洵ニ壯舉デアリマシテ此計畫ガ立テバ宜シイト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマス、先刻仲小路君カラモ御話アリマシタ通りニ、計畫トシテハサウコウアリタイコトデアリマスガ、併シ實際ニ於キマシテサウ云フ計畫ノ下ニシヤウト云フコトヲ企テマスレバ、一日一日ト遅レマシテ、實行ガ遅レテシマフノデアリマス、當局ト致シマシテハ、一日モ速ニ出來得ル範圍ニ於テ

電化ヲ致シタイ、左様ニナリマスレバ、石炭ノ消費ヲ少ナクスルト云フコト
ニナリマス、先ヅ第一著今同ノ一億万圓ト云フ設備ヲ以テ東京附近ヲ是ヨ
リ得タル所ノ電力ヲ以テ電化サセルト云フ決心ノ下ニ出シタノデアリマス、
右様ノ理想デゴザイマスカラシテ、更ニ廣ゲマシテ漸次ニハ全國ニ及ブヤウ
ナコトヲ勿論希望シテ居ル、其場合ニ至ッテハ、又ソレ相應ナ設備ヲスルト
カ、或ハ増資ヲスルトカ云フ御尋ネデアリマスガ、左様ナ場合モアリマセウ
シ、又ハ増資ニ依ラズシテ、國家ノ保護ニ依ルカモ知レヌ、是ダケノ程度ニ
電化ヲ止メルト云フ趣意デハナイノデアリマス、私ノ答辯ニ依ッテ判明イタ
シマセウカト思ヒマス

○伯爵廣澤金次郎君 質問ニ質問ヲ重ネマシテ恐縮デアリマスガ、將來ニ他
ニ電化ヲ要スル場合ニハ其電化ニ要スル水力ノ供給ハ矢張り此會社ヲシテ經
營ナサシメルト云フノデアリマスガ、或ハ九州ノ方ハ別ニ半官半民ノ會社ヲ
設ケルノデアリマスガ、全國ニ互リマシテ東京以外ノ地ニ又電化ノ必要ノ起
キタ場合ニハ、帝國鐵道電力株式會社ヲシテ其供給ニ當ラシメルカ、其方法
ハ或ハ社債ニ依ルカ外債ニ依ルカ、其方法ハ各々マセヌガ、帝國鐵道電力株
式會社ニ依ッテ經營ヲ爲サシメルカト云フコトニ付テ御意見ヲ伺ヒタイノデ
アリマス

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) ドウモ私ノ申上ゲヤウガ不明瞭デアリマス、理想ハ
全國ノ鐵道ヲ電化サセタイト云フコトニアアルノデアリマス、一概ニ此計畫ヲ
立テルト云フコトハ理想トシテハ出來マスケレドモ、實行ガ遅レテシマヒマ
スカラ、先ヅ以テ今回ハ東京附近ノ其供給力ノ及ブ所ニ致シタイノデアリマ
ス、他日ハ全般ニ及ボシタイノデアリマス、其場合ニ於テ之ヲ東京ニ致サウ
カ、其他ニ會社ヲ建テルカト云フコトハ、ソレハ今日何レニ依ルカト云フコ
トハ言明ハ致シ兼ネマス、ドチラカノ方法ニ依ッテ普ク電化サセルト云フコ
トニ付テノ此目的方針ハ決ッテ居リマス、ドウ云フ方法ニ致スカト云フコト
ハ茲ニ即答申上ゲルコトハ出來マセヌ

〔政府委員岡田意一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岡田意一君) 工事費及ビ「キロワット」ノ直段ニ付テ私カラ御
答イタシマス、此工事費ニ付キマシテハ、設立委員ガ任命イタサレマシタ後、
更ニ調査ヲ重ネタル後デアリマセヌケレバ明確ニ申上ゲ兼ネル次第デアリマ

スガ昨今ノ所デハ發電所ノ其工事費約八千万圓内外ヲ要スルダラウト云フ見
込デアリマス、次ニ「キロワット」ニ付キマシテハ、是モ正確ナコトハ申上
ゲ兼ネマスガ、唯今ノ所デハ、或ハ「キロワット」一錢七厘内外ト云フコトニ
ナリハシナイカト云フ見込デアリマス

○伯爵廣澤金次郎君 何處渡シ

○政府委員(岡田意一君) 東京渡シ

○伯爵柳原義光君 本案ノ委員ヲ十五名ニ致サレムコトヲ...

○議長(公爵德川家達君) 少シ御待テ下サイマシ、御急キニナラヌコトヲ願
ヒマス

○鈴木揆兵衛君 私ハ鐵道大臣ニ質問ガアリマスガ、簡單デアリマスカラ、
演壇ニ登ラズ自席カラ發言ヲ御許シテ願ヒマス、御尋ネシタイノハ此鐵道電
力株式會社ガ創立ノ上ハ、此電力ヲ以テ鐵道ノ車輛ヲ運轉シ得ルコトハドノ
線路トドノ線路ガ出來ルカ、先刻來御説明ニ依リマス、十一万「キロワット」
ノ電力デ、當局デハ信濃川ニ近イ所ノ信越線トカ、北陸線トカ、或ハ中央線
トカノ他ニ、ドレダケノ鐵道ガソレニ依ッテ運轉シ得ルコトガ出來ルカ、是
ガ第一問デアリマス、第二ニハ此一株ノ株券ハ幾ラカト云フコトガ規定ハア
リマセヌガ、是ハ會社ノ定款デヤラシメルト云フ意味デアリマスガ、此數字
ノ中ニモ取締役ハ百株デ資格ガ出來ルノデアリマス、假ニ一株ガ五十圓トシ
テモ、一億圓ノ資本金デアル會社ノ役員トシテ、五千圓デハ甚ダ微弱デア
ルト思ヒマスガ、是等ハドウ云フ所カラ百株ト云フコトヲ御割出シニナツタカ、
又一株ノ金額ヲ承ハリタイ

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) 御答イタシマス、最後ノ方カラ參リマス、五十圓ト
スルト五千圓ニナルガ餘リ少ナイト云フ御尋ネデアリマス、百圓券ニナルコ
トデアラウト心得マス、ソレデ一億圓ノ會社ノ重役ガ餘リ株ガ少ナイト云フ
御尋ネデアリマスガ、他ノ既ニ成立シテ居ル會社ト比例テ取ッテ決シテ少イ
コトハナイト確信イタシテ居リマス、ソレカラドノ位ナ範圍ニ電力ヲ供給ス
ルカト云フコトノ御尋ネデアリマス、是ハ圖面モ御手許ニ差出スコトガ出來
マスと思ヒマスガ、參考書トシテ尙ホ差出シテモ宜カラウト思ヒマスカラ差
出シマス、委員會デ其邊ノコトハ細カニ申上ゲタイト思ヒマスガ、鈴木君ノ
折角ノ御尋ネデアリマスカラ、政府委員カラ御説明ヲ申上ゲルコトニイタシ

マス

○政府委員(岡田意一君) 唯今信濃川發電所ノ電力ヲ當テマシタトコロノ電化區間……豫定區間ノ大體ヲ申上ゲマス、恐入リマスガ一々區間ヲ申上ゲマスカ、總數ダケデ宜シウゴザイマスカ

○鈴木揆兵衛君 モウ一應……

○政府委員(岡田意一君) 明細ニ區間ガ分ツテ居リマスカラ、區間ノ名前ヲ申上ゲマセウカ、哩數ヲ申上ゲマセウカ

○鈴木揆兵衛君 私ノ伺ヒタイノハ十一万「キロワット」ノ電力ヲ起シテ、是ガ應用セラレル所ノ鐵道ハ中央線カ信越線カ北陸線ヘ持ツテ行クカ、何レ其近カ間ニ多ク應用サレルノハ、全部カ或ハ一部分デアルカ、其電力ヲ應用サレル所ノ範圍ガ分リマセスカラ私ハ御尋ネラスルノデアリマス、尙ホ序ニ伺ヒマスガ、先刻大臣ノ御答辯ニ株ハ五十圓トモ百圓トモ未定ノヤウデアリマスガ、果シテサウ云フ御都合デアルカ……

○政府委員(岡田意一君) 御答ヘイタシマス、信濃川發電所ヨリ出マストロノ電力ハ、現在五十八哩六分ハ既ニ電化セラレタル區間ガアリマスガ、是ヲ籠メマシテ尙ホ東海道ニ於キマシテハ東京沼津間、橫須賀線ニ於キマシテハ大船橫須賀間、中央線ニ於キマシテハ吉祥寺八王子間、東北線ニ於キマシテハ神田大宮間、山手線ハ品川田端間、同ジク山手線ニ於キマシテハ池袋赤羽間、總武線ニ於キマシテハ神田千葉間、上越線ニ於キマシテハ高崎長岡間、更ニ進ミマシテ橫濱線ニ於キマシテハ東神奈川八王子間、甲州線ニ於キマシテハ八王子甲府間、常盤線ニ於キマシテハ日暮里我孫子間、信越線ニ於キマシテハ大宮橫川間、是ダケノ區間デアリマス、其總計ハ四百八十哩デアリマス、第二ノ御質問ノ一株ノ價デゴザイマスガ、是ハ定款ニ於テ定メルコトニナツテ居リマス……唯今ニ於キマシテハ一株百圓ト云フコトニイタシタラドウカト考ヘテ居リマス

○伯爵柳原義光君 質問ハ盡キタノデゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) モウ他ニ御質問ナサル御方ハナイヤウデアリマス

○伯爵柳原義光君 然ラバ特別委員ハ十五名トセラレ、議長ニ於テ御指名ナサラムコトヲ、此動議ヲ提出イタシマス

○谷森眞男君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 柳原伯爵ノ本案ハ特別委員ノ數ヲ十五名トシ、其

指名ハ議長ニ一任スル、此動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ報告ヲイタサセマス

〔小林書記官朗讀〕

帝國鐵道電力株式會社法案特別委員

- 侯爵佐佐木行 忠君 伯爵副島 道正君 伯爵兒玉 秀雄君
- 子爵吉田 清風君 淺田 德則君 岡野 敬次郎君
- 犬塚 勝太郎君 平井晴二郎君 小松 謙次郎君
- 中村 是公君 男爵斯波 忠三郎君 男爵安場 末喜君
- 男爵福原 俊丸君 藤田 四郎君 今井 五介君

○議長(公爵德川家達君) 日程第六、關稅定率法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

關稅定率法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十六日

衆議院議長與繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

關稅定率法中改正法律案

關稅定率法中左ノ通り改正ス

第五條ノ二 不當廉賣品ノ輸入又ハ輸入品ノ不當廉賣ニ因リ本邦ニ於ケル重要産業カ危害ヲ被ルノ虞アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ不當廉賣審査委員會ノ審査ヲ經テ當該物品ヲ指定シ之ニ對シ期間ヲ定メ別表ニ定ムル關稅ノ外其ノ正當價格ト同額以下ノ關稅ヲ課スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ指定セラレタル物品ニシテ既ニ輸入セラレ不當廉賣者又ハ其ノ代理人ノ所有又ハ所持ニ係ルモノニ對シテハ前項ノ規定ニ準シ不當廉賣者又ハ其ノ代理人ヨリ附加關稅ヲ追徵スルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ追徵スル附加關稅ハ國稅徵收ノ例ニ依リ之ヲ徵收ス
第七條第四號ヲ左ノ如ク改ム

四 政府ノ輸入ニ係ル燃料用礦油

同條第四號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

四ノ二 直接燃料ニ供スル礦油ニシテ攝氏十五度ニ於ケル比重〇、九〇

四ヲ超エタルモノ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受ケ輸入スルモノニ限ル

同條第二十三號ヲ左ノ如ク改ム

二十三 國道府縣其ノ他ノ公共團體、政府ノ指定スル産業ニ關スル法人

又ハ政府ノ許可ヲ受ケタル者ノ輸入スル種用動物、獸疫免疫血清及獸疫豫防接種液

第八條中「提供スルコトヲ要ス」ヲ「提供セシムルコトヲ得」ニ改メ同條ニ左ノ一號ヲ加フ

八 博覽會、展覽會、共進會又ハ品評會等へ出品スル爲輸入スル物品

別表輸入稅表中左ノ如ク改ム

第九號中「種魚」ヲ「種魚介」ニ改ム

第十號ノ次ニ左ノ如ク加フ

一〇ノ二 蠶種

第十一號中「同」ヲ「從價」ニ改ム

第二十八號中「アイボリーナット」ノ下ニ「ゾームナット」其ノ他類似ノ紐釦製造用核子」ヲ加フ

第二十九號ノ次ニ左ノ如ク加フ

二九ノ三

別號ニ掲ケサル採油用種子（桐子ヲ除ク）

第六十一號及第六十二號中「一七、〇〇」ヲ「二四、二〇」ニ改ム

第六十三號中「一一、〇〇」ヲ「一六、四〇」ニ改ム

第六十四號中「四〇、〇〇」ヲ「四七、八〇」ニ、「一五、〇〇」ヲ「二二、八〇」ニ、「二〇、〇〇」ヲ「二七、八〇」ニ、「三〇、〇〇」ヲ「三七、八〇」ニ改ム

第六十五號中「一〇〇、〇〇」ヲ「一〇八、〇〇」ニ改ム

第六十六號中「二〇、〇〇」ヲ「二七、八〇」ニ、「一一〇、〇〇」ヲ「一二四、〇〇」ニ、「六〇、〇〇」ヲ「七三、九〇」ニ、「一圓」ヲ「一圓二十八錢」ニ改ム

第六十六號ノ次ニ左ノ如ク加フ

六六ノ二 鹽

第六十九號第一項ヲ左ノ如ク改ム

一 綿羊皮及山羊皮

甲 鞣シタルモノ

乙 其ノ他

第八十七號ヲ左ノ如ク改ム

八七 籠甲

第八十八號中「同」ヲ「從價」ニ改ム

第九十八號第一項中「每百斤」ヲ削リ「一、七〇」ヲ「無稅」ニ改ム

第九十八號第二項ヲ左ノ如ク改ム

二 牛脂

同號ニ左ノ如ク加フ

三 其ノ他

第九十五號中「柏油」ヲ削リ同號ノ次ニ左ノ如ク加フ

一一五ノ二 柏油

第九十六號中「同」ヲ「每百斤」ニ改ム

第九十七號中「每百斤」ヲ削リ「二、〇〇」ヲ「無稅」ニ改ム

第九十八號中「同」ヲ「每百斤」ニ改ム

第九十九號中「同」ヲ削リ「八二、〇〇」ヲ「無稅」ニ改ム

第一百號中「同」ヲ削リ「二割」ヲ「無稅」ニ改ム

第一百零一號中「同」ヲ削リ「二、六〇」ヲ「無稅」ニ改ム

第一百零二號中「每百斤」ヲ削リ「六、六五」ヲ「無稅」ニ改ム

第一百零三號中「二」及「ヤボランヂ葉」ヲ、「ヤボランヂ葉及パッチュリー葉」ニ改ム

第一百零四號中「每百斤」ヲ削リ「二、八五」ヲ「無稅」ニ改ム

第一百零五號中「同」ヲ削リ「二、六〇」ヲ「無稅」ニ改ム

第一百零六號中「同」ヲ削リ「二、六〇」ヲ「無稅」ニ改ム

一二二ノ二 杏仁及苦扁桃仁

一二二ノ三 番木鱈

第一百三十三號中「同」ヲ削リ「一四、三〇」ヲ「無稅」ニ改ム

第一百三十七號中「同」ヲ削リ「六、一〇」ヲ「無稅」ニ改ム

第一百三十八號中「同」ヲ「每百斤」ニ改ム

第一百四十一號ノ次ニ左ノ如ク加フ

一四一ノ二 甘草越幾斯

每百斤 九、四〇

無稅

第百五十一號ノ次ニ左ノ如ク加フ

一五ノ二 ブローム

第百五十二號中「同」ヲ「每百斤」ニ改ム

第百五十七號ヲ左ノ如ク改ム

一五七

サリチール酸及アセチールサリチール酸

從價 三割五分

第百五十八號中「同」ヲ「每百斤」ニ改ム

第百五十九號 削除

第百六十號中「每百斤」ヲ「同」ニ改ム

第百七十二號ヲ左ノ如ク改ム

一七二

サリチール酸曹達及サリチール酸曹達シオブロミン

從價 三割五分

第百七十九號ヲ左ノ如ク改ム

一七九

ブローム水素酸、ブローム加里其ノ他別號ニ掲ケサルブローム鹽類

從價 三割五分

第百八十號中「同」ヲ「每百斤」ニ改ム

第百九十七號及第百九十八號中「〇、七三」ヲ「一、〇〇」ニ改ム

第百九十六號中「同」ヲ「從價」ニ、「一一、〇〇」ヲ「三割五分」ニ改ム

第百七十七號中「同」ヲ「每百斤」ニ改ム

二一五

コールドタル分餾物ヨリ誘導シタル化學的生成品(ベンザルデハイド、ナイトロペンゾール及ナイトロトリユール酸、ベークライト及醫藥ヲ除ク)

從價 三割五分

第百二十六號中「同」ヲ「每百斤」ニ改ム

第百二十號中「〇、七三」ヲ「一、〇〇」ニ改ム

第百三十七號ヲ左ノ如ク改ム

二三七 人造藍

同 二割

第百四十三號ヲ左ノ如ク改ム

二四三 別號ニ掲ケサルコールドタル染料

從價 三割五分

第百五十九號中「每百斤」ヲ削リ「〇、五五」ヲ「無稅」ニ改ム

第百四十八號中「纖維狀ノモノ」ノ下ニ「(白金粉ヲ有スルモノヲ含ム)ヲ加フ

第百二十三號中「每百斤」ヲ削リ「〇、〇六」ヲ「無稅」ニ、「同」ヲ「每百斤」ニ改ム

第百三十五號第一項中「從價」ヲ削リ「五分」ヲ「無稅」ニ改メ第二項甲中

「同」ヲ削リ「一割」ヲ「無稅」ニ、「同項乙中」同「ヲ」削リ「從價」ニ改ム

第百五十八號中「鑛」ノ下ニ「(燒キタルモノヲ含ム)、マツト、ボットム及鑛滓」ヲ加フ

第百五十九號ヲ左ノ如ク改ム

四九九 白金、イリヂウム、オスミウム、バラヂウム、ロヂウム、インヂウム及ルセニウム

無稅

第百六十四號第七項中「每百斤」ヲ削リ「一、三〇」ヲ「無稅」ニ改ム

第百六十五號第一項中「同」ヲ「每百斤」ニ改メ第六項中「同」ヲ削リ「〇、三〇」ヲ「無稅」ニ改ム

第百六十六號中「同」ヲ「每百斤」ニ、「五分」ヲ「無稅」ニ改メ第四項中「從價」ヲ削ル

第百七十一號第七項中「同」ヲ削リ「二、二五」ヲ「無稅」ニ改ム

第百九十六號中「三七、五〇」ヲ「五〇、〇〇」ニ、「二二、五〇」ヲ「三〇、〇〇」ニ、「一四、三〇」ヲ「一九、一〇」ニ、「一二、八〇」ヲ「一七、一〇」ニ、「一一、三〇」ヲ「一五、一〇」ニ、「九、八〇」ヲ「一三、一〇」ニ、「六、八〇」ヲ「九、一〇」ニ、「六、〇〇」ヲ「八、〇〇」ニ、「三、八〇」ヲ「五、一〇」ニ、「三、五〇」ヲ「四、七〇」ニ改ム

第百十二號第一項己中「同」ヲ削リ「一、八〇」ヲ「無稅」ニ、「壬中」及「ハコヤナギ」ヲ、「ハコヤナギ及胡桃」ニ改メ同號第二項丙ヲ左ノ如ク改ム

同號第二項ニ左ノ如ク加フ

丙 燐寸軸木

同號第二項ニ左ノ如ク加フ

丁 其ノ他

第百四十四號中「每百斤」ヲ削リ「〇、三〇」ヲ「無稅」ニ改ム

第百四十五號中「同」ヲ削リ「〇、〇六」ヲ「無稅」ニ改ム

從價 二割五分

無稅

附則

本法ハ大正九年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員神野勝之助君演壇ニ登ル〕

○政府委員(神野勝之助君) 現行ノ關稅率ハ此度ノ歐洲戰爭ノ影響ニ依リマシテ根本的ノ整理改正ヲ要スルノデアリマス、併ナガラ其範圍モ廣ク複雑イタシテ居リマスカラ之ヲ致シマスニハ、相當ノ長キ日子ヲ要スルノデアリマス、ソレ故ニ差當リ急速ヲ要スルモノニ付テノミ此度改正案ヲ提出イタシマシタル次第デアリマス、其内容ノ主モナル點ハ第一ニ戰時中ニ勃興イタシマシタル染料並ニ藥品等ノ工業ニ對シテ相當ノ保護ヲ加フルコト、第二ニ各種原料ノ輸入稅ヲ免ズルコト、第三ハ外國品ノ不當廉賣ニ對シマシテ、若シソレガ爲ニ我國ノ産業ニ危害ヲ及ボスト云フ虞ノアリマス場合ニハ、之ニ對スル對策トイタシマシテ、其廉賣品ニ對シテ相當ノ附加關稅ヲ賦課シヤウト云フノデアリマス、第四ニハ此度酒造稅法ノ改正ニ付キマシテ、均衡上輸入セル酒類ニ對シテ相當ノ輸入率ヲ増加シヤウト云フノデアリマス、何卒御審議ノ上御協贊ヲ願ヒマス

〔男爵東郷安君演壇ニ登ル〕

○男爵東郷安君 唯今提案ニナリマシタル關稅定率法中改正法律案ニ付キマシテ、本案ハ政府ガ戰後經營トイタシマシテ、我が貿易政策上其抱負ノ一端ヲ發現セラル、始メテノ案デアルト承知イタシテ、私ハ最モ重キヲ置キ敬意ヲ以テ茲ニ二ツノ質問ヲ豫メ提出イタシタイト思フノデアリマス、第一ハ唯今御説明ニナリマシタル不當廉賣取締ノ制度デアリマス、此改正ハ第五條ノ二ノ條文ノ表面カラ拜見イタシマス、何ヲ不當廉賣ト云フノデアアルカト云フコトハ、不當廉賣調査委員會ノ審査ヲ待チ、即チ事實問題トシテ決定スルト云フコトニナツテ居リマス、又本邦ニ於ケル重要産業ガ危害ヲ蒙ルヤ否ヤト云フ問題ニ付テモ、審査委員會ノ決定ヲ待ツコトニナツテ居ルノデアリマス、從ツテ不當廉賣ト認メラレマシタルコトノ物品ニ對スル廉賣防止規定ノ程度モ、亦此審査委員會ノ權能ニ依ツテ左右セラル、コト、認メテ差支ナイト思フノデアリマス、斯ノ如ク不當廉賣審査委員會ハ、當局大臣ノ監督ノ下ニ屬スル一個ノ諮詢機關ニ過ギナイノデアリマスケレドモ、其權能ハ極メテ廣大ニ極メテ有力ナルモノデアルト認メナケレバナラスノデアリマス、抑、關稅定率ハ法律ニ依ツテ一々事細カニ規定サレテアリマスル以上、斯ル廣大ナル

トコロノ權能ヲ行政機關ニ委任イタシマシテ、一片ノ行政命令ヲ以テ任意ニ之ヲ左右シ得ルト云フ權能ヲ與ヘルコトハ、是ハ餘ホド我々ノ立場トシテハ考ヘナケレバナラス問題デアラウト思フノデアリマス、即チ我々ハ此點ニ付キマシテ政府ニ唯今白紙委任狀ヲ渡スカ渡サスカト云フ問題ニ遭遇シテ居ルノデアリマス、我が立法院ト致シマシテハ此際、當然深キ注意ヲ以テ、此新ナル立法例ノ開始ニ先ダツテ、是ガ是非ヲ判斷スル必要ガアルデアラウト思フノデアリマス、不幸ニ致シテ、衆議院ニ於キマシテハ第四十二議會及ビ今回ノ議會トモ前後十數回ノ本會委員會ヲ通ジマシテ本案ニ付テ周到ナル審査ガアッタニ拘ラズ、此重要ナ一點ニ付テ何等表面的ニ觸ル、所ガナカッタノデアリマス、私ハ此點ハ最モ重要ナル點トシテ、唯今本院ニ回付セラレマシタ時ニ當ツテ、此點ニ付テ政府ノ明確ナル御辯明ヲ得テ本院ニ於テ更ニ深く審議スルコトハ尤ナル手段デアルト考ヘテ、茲ニ質問ヲ提出スル所以デアリマス、ソコデ私ノ質問ハ不當廉賣トハ一體何ヲ指シテ謂フカ、何ヲカ不當廉賣ト謂フカト云フノガ第一ノ質問デアリマス、ソレカラ何ヲカ重要ナル産業ト謂フノデアアルカ、何ヲ根據トシテ重要ト云フコトヲ認メルノデアアルカ、即チ内地ノ生産事業ノ上カラデアアルカ、或ハ貿易ノ上カラデアアルカ、或ハ價額ノ上カラデアアルカ、或ハ能ク外國デ申シマス所ノ「キー、インダストリス」ニ屬スル種類ノモノデアアルカ、是ハ各國デ「キー、インダストリス」ト云フモノハ何ニデアルト云フコトハ分ツテ居ナイ、此重要産業ト云フコトハ今日當局ニ於テハドノ位ノ程度デアルト考ヘテ居ラルルノデアアルカト云フコトヲ、明確ニ致シタイノデアリマス、次ニ若シ不當廉賣ノ事實ガアリマス場合、本法案ニ依リマスト正當價格ト同價以下ノ關稅ヲ課スルト云フコトニナツテ居リマス、是ハ非常ニ廣イ範圍ノ關稅ヲ課スルコトデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマス、場合ニ依ツテ非常ナ重稅ヲ課スル結果ニナルノデアリマス、加奈陀ニ於キマシテハ此點ニ付キマシテ、豫メ考慮ヲ加ヘマシテ、從價一割五分ヲ超エザル範圍内ニ於テ輸出價格ト内國市場價格トノ差額ニ相當スル廉賣防止關稅ヲ課スルト云フコトガ、法律ニ明記シテアリマス、又英吉利ニ於キマシテハ、輸出價格ト内國市場價格トノ差額ヲ限ツテ廉賣防止ノ課稅ヲスルト云フコトニ極ツテ居リマス、然ルニ我國デハ唯今申上ゲマシタ通りニ、正當價格ト同價以下ノ關稅ヲ課スルト云フノデアリマスカラ、其範圍非常ニ廣ク、審査委員會ノ權限モ頗ル大キイト申サナケレバナリマセヌ、是等ニ付キマシ

テハ當局トシテ如何ニ御考ヘニナルノデアリマスカ、次ニハ第五條ノ第二項デアリマス、或ル物品ニシテ既ニ輸入セラレ不當廉賣者又ハ其代理人ノ所有又ハ所持ニ係ルモノニ對シテハ前項ノ規定ニ準ジ、不當廉賣者又ハ其代理人ヨリ附加關稅ヲ追徵スルコトヲ得、斯ウ云フ規定ガ設ケテアルノデアリマス、例ヲ以テ申上ゲマスレバ或貿易業者ガ外國ノ市場ニ於テ割合ニ内地ニ持ッテ來ル上ニ於テ廉價ニシテ有利ナモノヲ取次ギ得ルト云フコトヲ發見イタシマシテモ、果シテ内地ノ官憲、即チ此審査委員會ガ此物品ヲ不當廉賣ト認メルヤ否ヤト云フコトノ事實ノ認定ハ輸入シテ見ナケレバ分ラナイ、又輸入スル前ニハ相當電報ノ往復ヲモシナケレバナラヌコトデアリマス、サウシマスト其境目ニアル、極メテ不明瞭ナ物ニナリマス、今日ノヤウナ海外ニ對スル通信機關ガ不足シテ極メテ滯滞シテ居リマス時ニハ、到底商機ヲ逸セザル譯ニハ行カナイノデアリマス、是ガ爲ニ貿易業者ガ遂ニ不安ノ念ニ驅ラレテ、其取引ガ萎縮シテ仕舞ッテ、其結果我ガ貿易關係ノ上ニ於テ惡イ影響ヲ及ボシテ來ル虞レガアルノデアリマス、之ニ付キマシテ當局トシテ如何ニ御考ヘニナッテ居リマスカ、斯ノ如ク不當廉賣委員會ニ對シマシテ、立法機關ノ手續ヲ經ズ、言葉ヲ換ヘテ申シマスト國民ノ承諾ヲ經ズシテ、關稅附加ノ權能ヲ與ヘルト云フコトハ頗ル重要ナコトデアリマシテ、是ガ運用ノ如何ニ依ッテハ、大ナル弊害ヲ生ズル虞ガアルノデアリマス、故ニ私ハ此際此機會ニ於キマシテ、此委員會ノ組織、權限、性質ニ付テ當局ガ明確ナル御説明ヲナサレテ置クコトハ、自他トモ便利ナル機會デアラウト思ヒマシテ、茲ニ質問ヲ申上グル次第デアリマス、尙ホ附加ヘテ申上ゲマスガ、私ハ何故斯ノ如キ質問ヲ提出スルカト申シマス、斯ノ如キ貿易上、即チ商賣上密接ノ關係アル事項ニ對シテ、或ル特殊ノ行政機關ガ之ヲ左右シ、之ヲ指導スルト云フヤウナ權能ヲ持ッテ居リマスル以上ハ、是ガ弊害ト云フモノハ、場合ニ依ッテハ甚ダ恐ルベキモノガアルノデアリマス、若シ或國ニ於キマシテ、非常ニ一國ノ政黨政派ノ權衡ガ取レズ、多數黨ガ橫暴ヲ極メ、天下ノ有ラユル利權ニ對シテハ爪牙ヲ磨ク場合ガアツテ、表面ニ於テハ甚ダ綺麗ナコトヲ申シテ居リマスガ、事實ニ於テ誠ニ醜穢目モ當テラレナイ事情ガアルトスレバ、斯ノ如キ廣大ナル權能ヲ持ッタ審査會モ亦如何ナルコトカニ依ッテ、非常ナ失態ヲ生ジ、非常ナ情弊ヲ生ジナイトモ限ラヌト云フ虞レガアリマス、英吉利ニ於キマシテモ、昨年ノ暮、十二月ニ矢張り之ト同ジヤウナ意味ノ法律案ガ出タノデアリマス、

然ル所之ニ對シマシテ、英國ノ官民ヲ通ジテ嚚々ノ議論ガゴザイマシタ、私ハ其一ニテ唯今茲ニ御紹介シテサウシテ、私共ガ今日此場合ニ於テ杞憂ヲ懷クト云フコトノ無理カラヌコトヲ論證シタイト思ヒマス、其最初申上ゲマス例ハ、昨年暮「リヴァプール」デ出マシタ或新聞ノ論說ニアリマス、此新シイ立法ハ驚クベキ官僚式ノ立法デアアル、斯ウ先ヅ痛罵シテ居リマス、サウシテ我國ノ審査委員會ニ當リマスル英國ノ通商取締委員ハ對外貿易ヲ恣ニ左右スベキ實權ヲ掌握スベク、其權限ノ廣大ナルコト洵ニ驚クベシト申シテ居リマス、尙ホ言葉ヲ繼イデ、此關稅ハ或ル特殊ノ物品ニ關シ或ル特殊ノ國家ニ打撃ヲ與ヘムトス、從ッテ英國ノ輸入商ハ原產地ニ於ケル相場ヨリ低廉ニ輸入品ヲ賣捌ク能ハズ、爲ニ英國ニ於ケル各種ノ物品ハ原產地ト同ジク高價ナラムトス、斯クシテ英國ハ通商取締委員ノ手ニ依リ米國、伊太利、佛蘭西等ノ諸國ガ各自國內市場ニ於ケル價格ヨリモ低廉ニ英國市場ニ賣込マムトスル場合、是等諸國ニ打撃ヲ與ヘ英國ハ却ッテ世界ニ於ケル最少惠國タラムトス、ト云フコトヲ申シテ居リマス、更ニ甚シイノハ「バーンレー」ノ商業會議所ノ宣言デアリマスガ、此法案ヲ指シテ貿易上最惡ナル保護主義ノ實行デアルト申シテ居リマス、英國ノ國力ノ恢復ヲ阻害シタノハ此法案デアアル、通商取締委員會ニ關稅附加ノ權能ヲ與ヘラレルガ爲ニ當該官憲ヲ收賄非行ニ誘致シ、貧者ニ不利ヲ及ボシ、富者ヲ益シ利セシム、若シ近ク英國ニ革命ガ起ッタコトガアリトセバ、是等ハ將ニ此法案ニ誘因ヲ爲スモノデアルト斯ウ斷言シテ居リマス、斯ノ如キハ實ニ極端ナ言ヒ分デアリマス、關稅制度ニ於テハ根本的ニ我國ト其事情ヲ異ニシテ居リマスカラ、斯ノ如キ激論ノ出ルノハ已ヲ得マセヌガ、又以テ今日我國ニ於ケル他山ノ石トスルコトガ出來ルノデアアル、此點ニ付テハ此二ツノ例ヲ以テ大體御靜聽ヲ煩ハシタイノデアリマス、從ッテ尙ホ此議會ニ於キマシテ、皆様ト共ニ政府ガ此審査委員會ノ權能組織ヲ如何ニ決定スルノデアアルカ、法律ニ規定セムトシタモノデアアルカト云フコトヲ考ヘルノハ、必シモ徒爾デ無イト信ズルノデアリマス、第二ニ私ハ染料保護政策ニ付テ當局ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、開戰以來我國ニ於ケル化學工業ノ材料ト見ルベキ染料工業ハ著シキ發達ト言ハレマスガ、ソレハ戰後ニ於キマシテ、又諸君御承知ノ通り多大ナル打撃ヲ受ケツ、アルノデアリマス、併ナガラ我國ニ於キマシテハ、此工業ハ染料其物トシテ重要ナルノミナラズ、軍需工業ニ於テ最も重要ナ一ツニシテ、是ハ特ニ注意ヲ拂ハナケレバナラヌ

工業デアリマス、從ッテ私ハ染料保護ニ付テハ、政府ハ徹底的ニ十分ナル保護ヲシ、而シテ物價騰貴ノ原因ニナラヌヤウニ御注意ヲ願ヒタイト思フノデ、今回御提案ニナリマシタ、内容ノ重ナルモノハ、化學工業品中ノ染料及藥品ノ保護ヲ目的トセラレテ居ルノデアリマス、即チ改正品目中ニハ人造藍ノ二割ヲ除キマシテ、外ハ大體ニ於テ前回ノ御提案ト同ジク三割五分ノ課稅ヲ以テ是等ノ商品ヲ保護セラル、ノデアリマス、然ルニ前議會當時御提案ニナリマシタ時ト、今日トハ我國ノ經濟界ハ全ク其事情ヲ異ニシテ居リマス、從ッテ化學工業界モ非常ニ事情ヲ異ニシテ居リマス、若シ今日染料ノ保護ガ必要トスルナラバ、私ハ其當時考ヘテ居リマシタ保護ノ程度ヨリ更ニ一層立入ッテ重イ關稅ヲ課シテ徹底的ニ保護ラスルカ、或ハ又到底内地デハ立チ行カナイト云フ見込ガ付イタモノデアリマシタナラバ、イツソノコト其關稅ヲ撤廢シ、若クハ輕減スルコトガ必要デアラウト思ヒマス、然ルニ政府ハ前回同ジモノヲ玆ニ御提案ニナリマシタノハ、果シテソレハ時宜ニ適スルモノカ、ドウカト云フコトニ付テ私ハ多大ノ疑ヲ有ッテ居ル、即チ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ今日我國ノ染料界ハ、マダ大戰後ノ餘波ヲ受ケテ徹底シテ居ラス、落付ク所ニ落付イテ居ラス、ソレダカラ此落付イテ居ラス所ニ直チニ關稅保護ヲスルト云フコトハ、到底徹底シタ良イ案ガ出ル譯デ無イト、斯ウ私ハ見ルノデアリマス、政府ノ御所見ハ如何デゴザイマセウカ、若シソレダケノ保護ヲ急ガル、コトガアルナラバ、私ハイツソノコト直接ニ御保護ニナッテハドウカ、即チ關稅ノ如キ間接ニ一般的保護ノ方法ヲ取ルヨリハ、各染料工業其物ニ向ッテ直接ノ保護ヲ講ゼラル、コトガ極メテ必要デハナカラウカト思ヒマス、私ガ玆ニ直接保護ト申シマスルノハ、例ヘバ原料ノ配布ヲ公平ニスルモノデアリマス、御承知ノ通り染料ノ原料ナル「ベンゾール」ノ如キモノデアリマス「ベンゾール」ノ如キモノハ我が内地ニ於キマシテハ、マダ自給自足ノ域ニ達シテ居リマセヌ、即チ製鐵所ニ於テ重モニ供給セラレルノデアリマス、然ルニ製鐵所ノ供給品ト云フモノハ、政府ガ特ニ保護ヲナシ、一二ノ會社ノミニ配給セラレテ、其他ニハ及バヌノデアリマス、從ッテ此原料ノモノハ得ラレマセヌ、是ハ今回ノ改正案ニ依リマス、從價ニ割ノ關稅ヲ拂ッテ、外國ヨリ原料ヲ輸入シナケレバナラヌト云フ譯ニナッテ居リマスカラ、旁、以テ非常ナ公平ナ立場ニアルノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申セバ、今マデハ小ナル染料業者ト云フモノハ立チ行カズ、倒レテ仕舞フノデアリマス、丁度或ル種ノ小サナ

モノシカ殘ラヌノデアリマス、私ハ此點ハ餘程政府ニ於テ御考ヘニナラナケレバ、我國ノ染料界ノ前途ニ對シテ由々シキ事件ガ續々生ジテ來ルト思ヒマス、又第二ノ方法トシテ直接保護トシマシテ今マデハ盛ンニ致シマシタケレドモ、今日ニ於テハ氣息奄々タル狀況ニ居ル、是ハ當局ニ於テハ工業合同ヲ獎勵サレテ、之ニ相當ノ金融機關ノ途ヲ計ッテヤッタラ、今少シ復活スルノ見込ガアリハシナイカト思ヒマス、之ニ依ッテ直接間接ニ關稅ヲ保護セラレ、一旦物價ガ騰貴シタ限リハ却ッテ直接ニ斯ウ云フ種類ノ方法ニ依ッテ御ヤリニナッタ方ガ一般國民ノ爲メ、又當局者ノ爲メ、兩方トモ都合ガ宜クハナイカト思ヒマスガ、此點ニ付テハ政府ノ御意見ハ如何デゴザイマセウカ、又其他各染料會社ノ供給品ノ保護ヲシテヤルトカ、或ハ獨逸人ノ技師ヲ招聘スルトカ云フヤウナ種々ナ手段ガアラウト思ヒマスガ、何故ニ政府ハ其直接有效ナル保護ノアルニ拘ハラズ、間接ナル方法、即チ關稅ノ附加ト云フ方法ニ依ッテ我國ノ染料ヲ保護セラレルノデアアルカ、併シ其染料ナルモノハ未ダ大戰後ヲ受ケテ、安定ノ位置ニ立ッテ居ルモノデナイ、尙ホ動搖シテ居リマス、其動搖シテ居ルモノニ對シテ今直チニ此處デ關稅ヲ定メルト云フコトハ、果シテ策ノ得タルモノデアアルカ否ヤト云フコトニ付テ私ハ大ニ疑ガアルノデアリマス、以上二點ニ付テ當局ノ明快ナル御答辯ヲ得タイト思フノデアリマス

〔政府委員神野勝之助君演壇ニ登ル〕

○政府委員(神野勝之助君) 御答ヲ申上ゲマス、關稅率ノ如キ重要ナルコトヲ行政ニ委ネテハ如何デアアルカト云フ、第一ノ御尋ネノヤウデアリマス、現在ニ於キマシテモ其例ガ一二アルノデアリマス、例ヘバ糶ノ稅ガ百斤ニ付テ一圓トシテ、而シテ不作ノ場合ニハ之ヲ命令ヲ以テ四十錢マデ低下スルコトヲ得ト云フコトガ、法律ヲ以テ行政權ニ委任シテアル、或ハ最近ノ緊急勅令ヲ以テマシテ、米、粃、卵、綿糸等ノ輸入稅ニ關シマシテモ、期限ヲ定メテ命令ヲ以テ其輸入稅ヲ減免スルコトヲ得ルト云フヤウナ例モアルノデアリマス、元來斯ノ如キ臨機ニ處分イタシマスル事柄ハ、相當ニ命令ニ委任シテアリマセヌト云フト、其時機ヲ失シテ實行ヲ舉グルコトガ困難デアルト思フノデアリマス、ソレ故ニ今回ノ改正ニ於キマシテモ之ヲ命令ニ委任シヤウト云フノデアリマス、其範圍ニ付キマシテハ御示シノ如ク、或國ハ正當價格ト廉賣價格ノ差ヲ附加稅トスルトカ云フヤウナ例モアルヤウデアリマスガ、又或國ハ不當廉賣ヲ不法行爲ト看做シテ之ニ罰金ヲ科シ或ハ體刑ヲ科スルト云フ

位マデ行ッテ居ル所モアルノデアリマス、ソレ故ニ我國ニ於キマシテ其廉賣

價格ト云フモノヲ標準ニシマシテ、其以下ノ程度ノ附加關稅ヲ課スルト云フ

コトニ致シマシタノハ、強ヒテ外國ノ例ニ比シテ、失當デアルト云フコトハ

ナイカト思フノデアリマス、殊ニ我國ニ於キマシテハ、關稅ニ付テ多ク其價

格ヲ標準トスル主義ヲ執ッテ居ルノデアリマス、例ヘバ外國ニ於テ我が輸出

品ヲ差別待遇ヲシタト云フ時ニハ、其差別待遇ヲシテ外國カラ輸入スル品物

ニ對シテハ、其價格ト同一ノ附加關稅ヲ課スルト云フ規定ノ如キモアルノデ

アリマス、サウ云フ風ニ我が關稅法ニ於キマシテハ、其品物ノ價格ト云フモ

ノヲ標準トシテ、附加關稅ヲカケルト云フ主義ヲ執ッテ居ルノデアリマスカ

ラ、今回ノ不當廉賣ニ付テモ矢張り其例ニ倣ッタ譯デアリマス、併ナガラ御説

ノ如ク、不當廉賣ニ對シマシテ附加關稅ヲ課スルト云フコトヲ命令ニ委任ス

ルノハ無論重大ナコトデアリマスルカラ、單ニ之ヲ行政官ノ考ノミニ委ネズ

シテ、學識アリ經驗アリ相當ナ知識アル人々ヲ集メテ審査會ヲ組織シ、其調

査ヲ待ッテ之ヲ決定スルト云フ鄭重ナ手續ヲ執リタイト云フ趣意ナンデアリ

マス、ソレカラ第二ノ染料等ノ保護ニ付テノ色々ノ方法ガアルト云フ御示シ

デアリマシタガ御示シノ點ハ無論講究ノ價アル問題デアルト思フノデアリマ

スルガ、政府ニ於キマシテハ、今日ノトコロ此程度ノ關稅ヲ課シテ一般ニ保

護スルノガ相當ト考ヘマシテ、此案ヲ提出イタシタル次第デアリマスルガ、

尙ホ御意見ノ點ハ深く考ヘマシテ、適當ト認メマシタナラバ、又其場合ニ於

テ相當ナ手段ヲ執ッテ然ルベシト考ヘマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今議題トナリマシタ日程第六ノ法案ノ特別委員

ハ、大正九年勅令第五十二號ノ特別委員ニ付託イタシマス、御異存ゴザイマ

セヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第七、國債償還資金ノ繰入ヲ爲ササルコトニ

關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

國債償還資金ノ繰入ヲ爲ササルコトニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十六日

貴族院議長公爵徳川家達殿

國債償還資金ノ繰入ヲ爲ササルコトニ關スル法律案

政府ハ國防ノ充實ニ關スル經費支辨ノ爲大正九年度乃至大正十二年度限リ

國債整理基金特別會計法第二條ノ規定ニ依ル元金償還資金ノ繰入ヲ爲ササ

ルコトヲ得

〔政府委員神野勝之助君演壇ニ登ル〕

○政府委員(神野勝之助君) 本案ハ曩キニ豫算ニ關シマシテ大藏大臣ヨリ當

議場ニ於テ申上ゲマシタル通り、新規國防充實計畫ニ關シマシテ、是ガ財源

ノ一部ニ供スル爲ニ、國債整理基金繰入ヲ中止イタシマシテ、之ヲ其財源ニ

供シヤウト云フノデアリマス、是ハ多分三四年ヲ出デズシテ復舊ガ出來ルカ

ト考ヘテ居リマスルノデアリマス、即チ國債整理基金特別會計法ノ主義ハ之

ヲ變ゼズシテ、其主義ハ維持シテ參リマシテ、唯一時歲計上ノ都合ニ依ッテ繰

入ヲ中止イタスノデアリマスルカラ、國債整理基金特別會計法ハ改正ヲ致サ

ズシテ、便宜單行法ヲ以テ是ガ例外法ヲ設ケタイト云フノデアリマス、御審

議ノ上御協賛ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サ

セマス

〔成瀬書記官朗讀〕

國債償還資金ノ繰入ヲ爲ササルコトニ關スル法律案特別委員

子爵榎本 武憲君 荒井賢太郎君 男爵東郷 安君

男爵池田 長康君 仁尾 惟茂君 中村純九郎君

小山 健三君 菅原 通敬君 佐藤 傳兵衛君

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ御諮リヲ致シマス、日程第八ヨリ第十四マ

デノ法案ハ一括シテ、議題トシ説明ヲ煩ハシタイト考ヘマス、御異存ゴザイ

マセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第八、事業公債金特別會計法中改正法律案、第九、

道路公債法案、第十、電信事業公債法案、第十一、電話事業公債法中改正法律案、第十二、朝鮮事業公債法中改正法律案、第十三、臺灣事業公債法中改正法律案、第十四、樺太事業公債法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

事業公債金特別會計法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正九年七月十六日

衆議院議長奧繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

事業公債金特別會計法中改正法律案

事業公債金特別會計法中左ノ通改正ス

「事業公債金特別會計法」ヲ「公債金特別會計法」ニ改ム

第一條 各種ノ經費ノ支辨ニ充ツヘキ公債金ノ會計ハ之ヲ特別トシ一般ノ

歳入歳出ト區分スヘシ

第二條 公債金ヲ使用セムトスルトキハ之ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ屬スル

會計ノ歳入ニ繰入ルヘシ

第六條 公債金ハ之ヲ以テ支辨スヘキ經費毎ニ區分整理シ其ノ經費ヲ要セ

サルニ至リタル後剩餘アルトキハ之ヲ其ノ經費ノ屬シタル會計ノ歳入ニ

繰入ルヘシ

第八條 本法ハ大正五年法律第四號ニ依リ發行スル公債ノ收入金ニ關シテ

ハ之ヲ適用セス

附則

本法ハ大正九年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

道路公債法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十六日

衆議院議長奧繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

道路公債法

第一條 國道改良費支辨又ハ國道、府縣道若ハ市ノ重要街路ノ改良費補助

ニ關スル經費支辨ノ爲政府ハ二億八千二百八十萬圓ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ之カ繰替支辨ノ爲借入金ヲ爲スコトヲ得

第二條 前後ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場

合ニ於テハ前條ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

電信事業公債法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正九年七月十六日

衆議院議長奧繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

電信事業公債法

第一條 電信擴張及改良費支辨ノ爲政府ハ七千三百八十萬圓ヲ限リ公債ヲ

發行シ又ハ之カ繰替支辨ノ爲借入金ヲ爲スコトヲ得

第二條 前條ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場

合ニ於テハ前條ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

電話事業公債法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十六日

衆議院議長奧繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

電話事業公債法中改正法律案

電話事業公債法中左ノ通改正ス

第一條中「一億二百五十萬圓」ヲ「三億二千八百萬圓」ニ改ム

第二條中「本法ニ依ル公債又ハ借入金借換ノ爲必要アルトキ亦同シ」ヲ削ル

朝鮮事業公債法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十六日

衆議院議長奧繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

朝鮮事業公債法中改正法律案

朝鮮事業公債法中改正法律案

朝鮮事業公債法中左ノ通改正ス

「第一項」ヲ「前項」ニ、「一億七千八百萬圓」ヲ「二億六百五十萬圓」ニ改メ第二項ヲ削ル

臺灣事業公債法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十六日

衆議院議長與繁二郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

臺灣事業公債法中改正法律案

臺灣事業公債法中左ノ通改正ス

第一條中「事業費支辨ノ爲」ヲ「事業費又ハ事業費補助ニ要スル經費支辨ノ爲」ニ、「九千二百五十萬圓」ヲ「一億六百二十萬圓」ニ改ム

樺太事業公債法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十六日

衆議院議長與繁二郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

樺太事業公債法中改正法律案

樺太事業公債法中左ノ通改正ス

第一條中「五百五十萬圓」ヲ「千二百五十萬圓」ニ改ム
第二條中「本法ニ依ル公債又ハ借入金借換ノ爲必要アルトキ亦同シ」ヲ削ル

〔政府委員神野勝之助君演壇ニ登ル〕

○政府委員(神野勝之助君) 事業公債金特別會計法ハ、事業ニ使フ公債金ヲ此所ニ集メマシテ、取扱ノ統一ヲ期スルト云フ趣意ヲ以テ制定セラレタノデアリマス、然ルニ今回事業以外ノ公債金ヲ矢張り同一ノ會計ニ纏メマシテ整理スル必要ヲ生ジマシテ、即チ道路公債、道路ノ爲ニ募集イタシマスル公債ハ、直接國ガ致シマスル分モアリマスルケレドモ、多クハ之ヲ公共團體ノ道路ノ經營ノ爲ニ補助スルモノガ多イノデアリマス、ソレデアリマスルカラ道路公債法ニ依ッテ募集スル公債金ハ、全部是ガ事業公債金デアルト云フコトハ言

ヒ惡イノデアリマス、其他教育機關擴張ノ爲ニ募集スル公債金、或ハ帝國鐵道會計法ニ依ル公債金、是等ヲ全部此公債金特別會計法ニ一括シテ整理統一ヲシタイト云フ趣意カラ事業ト云フ文字ヲ削除イタサウト云フコトガ、即チ經費ノ支辨ニ當テル公債ナラバ、皆會計法ニ統一シタイトノデ、從ッテ經費ノ支辨デナイ、公債例ヘバ臨時國庫證券特別會計法ニ於キマシテ爲替資金ノ融通ニ使フ爲ニ、其資金ヲ得ル爲ニ出ス所ノ公債ノ如キハ、單ニ運用ノ爲ニ出スノデアリマシテ、事業ノ爲ニスル經費支辨ノ爲ニスル公債デアリマセヌカラ、是ハ此會計ノ以內デ整理致サウト云フノデアリマス、又軍事實費ノ公債ノ如キモ是ハ臨時特別ノモノデアリマスカラ、是ハ別ニ致シマシテ臨時軍事實費特別會計ニ於テ整理致シタイトアリマス、次ハ道路公債……殆ド我國ノ道路ハ道幅勾配路面等ガ不十分デアリマシテ、殆ド新式交通用具ノ使用ニ堪ヘナイモノガアリマス、ソレ故ニ今回計畫ヲ立テマシテ、三十年間ノ計畫ヲ以テ、二億八千二百八十萬圓支出シテ、地方ニ於ケル支出ト相俟ッテ國道特別ノ需要アル府縣道及ビ内務大臣ノ指定ニ係ル市ノ重要街路ヲ改良致サウト云フノデアリマス、是ハ其財源ヲ公債ニ致ス必要カラ本案ヲ提出致シマシタル次第デアリマス、電信事業公債法……我國ノ電信ハ、電報ノ數ハ非常ニ増シテ參リマシテ、十年前ニ較ベマスト二倍以上ニ増加シテ居ルノデアリマス、然ルニ電信線路ノ設備擴張ハ是ニ伴ウテ居リマセヌノデ、電報ノ停滯遲延ガ甚シク殆ド其用ヲ辨ゼナイコトガアルノデアリマス、大正九年度カラ十五年度マデ七箇年繼續費トシテ總額七千三百八十萬圓ヲ以テ其設備ヲ完成スル計畫ヲ立テマシタガ、財源ヲ公債ニシタイト云フノデアリマス、次ニ電話事業公債法……電話事業ハ是マデ公債支辨ヲ以テ施設ヲ致シテ參ッタノデアリマシガ、電話ノ需要ハ著シク増加致シマシタノミナラズ、物價賃銀ノ騰貴ニ伴ヒマシテ、豫定ノ事業モマダ完成スルコトガ困難ノ状態ニゴザイマス、ソレ故ニ此場合ニ於テ新ニ大正九年度カラ十六年度ニ互ル八箇年度ノ二億二千五百五十萬圓ヲ既定ノ年割額ニ加ヘマシテ、電話事業ノ擴張ノ完成ヲ期セムトスルノデゴザイマス、而シテ其財源ハ矢張り公債ニ仰ガウト云フノデアリマス、朝鮮事業公債法……朝鮮ノ事業ハ從來鐵道ノ建設改良、海關工事、道路修築、平壤鑛業所擴張費等ニ對シマシテ計畫ヲ致シタノデアリマスルガ、此度鐵道建設及改良費、鹽田擴張費、其他四件ニ對シマシテ總額二千八百四十萬圓ノ追加ヲ要スルノデアリマス、其年割額ハ或ルモノハ九年度限リデア

リマスガ、或ルモノハ九年度以降七箇年繼續ノモノモアルノデアリマス、第二項ヲ削リマスルノハ國債整理金特別會計法第五條ノ規定ノ改正ニ關シテ借換ニ關スル規定ヲ存シテ置ク必要ガアリマセヌカラ、序ニ削ラウトスルノデアリマス、臺灣事業公債法……臺灣ハ新規追加ニ掛ル事業ト致シマシテ鐵道建設費、大正九年度十年度ノ二箇年度ノ繼續費トシテ七十六萬餘圓竝ニ基隆築港工事費即チ基隆ノ有效岸壁ヲ延長致シマシテ岸壁ノ總荷役能力ハ從來四十五萬噸デアッタノヲ八十萬噸ト致シタイト云フノデアリマス、是ガ大正九年度カラ十五年度ニ至ル七年度間千二百八十九萬餘圓、前ノ鐵道費ト合計致シマシテ千三百六十五萬餘圓ヲ、現行ノ起債法定額ニ増加致シタイト云フノデアリマス、樺太事業公債法ハ現在五百五十萬圓ト云フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、物價ノ騰貴竝ニ既定線ノ工事ノ變更ニ依リマシテ、新ニ鐵道建設費ノ追加ト致シマシテ大正九年度以降十一年度ニ互ル三箇年度間繼續ト致シマシテ、二百十萬圓ヲ要スルニ至ッタノデアリマス、ソレカラ大泊港ノ修築ヲ必要トスルガ爲ニ四百九十萬圓ノ大正九年度以降四箇年度ニ互ル繼續費トシテ支出ヲ要スルコトニナリマス、此二件總計七百方圓ト云フモノヲ現行ノ起債法定額ニ増加スルノデアリマス、第二條ノ改正ハ國債整理基金特別會計法ノ規定ノ改正ニ伴ヒマシテ、之ヲ削ラウト云フノデアリマス、大體サウ云フ趣意デアリマス、何卒御審議御協賛ヲ給ハラント願ヒマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 日程第十五、大正五年法律第四號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

大正五年法律第四號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正九年七月十六日

衆議院議長與繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

大正五年法律第四號中改正法律案

大正五年法律第四號中左ノ通改正ス

「三億二千萬圓以内」ヲ「四億八千萬圓以内」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

參照

大正五年法律第四號

大正三年臨時事件ニ關スル經費支辨ノ爲政府ハ特別會計ニ屬スル資金ヲ繰替使用シ、借入金ヲ爲シ又ハ公債ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ借入金及公債ノ額ハ通シテ三億二千萬圓以内トス

本法ニ依ル特別會計資金ノ繰替、借入金又ハ公債ヲ整理償還スル爲必要ナル場合ニ於テハ前項ノ制限以外ニ借入金ヲ爲シ又ハ公債ヲ發行スルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員神野勝之助君演壇ニ登ル〕

○政府委員(神野勝之助君) 臨時軍事費ハ大正九年度分ト致シマシテ一億三千四百萬圓ト云フモノヲ、追加豫算ニ計上イタシマシテ要求イタシタノデアリマス、其内千五百萬圓ハ臨時軍事費特別會計ノ收入ガアリマスルカラ、之ヲ差引キマシテ一億二千二百萬圓ト云フモノガ、借入金及ビ公債支辨トナッテ居ルノデアリマス、然ルニ右計上イタシマシタ以後ニ於テ、更ニ事情ノ變化ニ伴ヒマシテ、即チ薩哈噠州ノ一部ヲ占領イタス必要ヲ生ジマシタニ伴ヒマシテ、更ニ三千三百餘萬圓ノ必要ヲ生ズルニ至ッタノデアリマス、是ハ矢張り借入金及ビ公債ニ依ル必要ガアルノデアリマス、此二口合計一億五千五百萬圓ヲ切上ダテ一億六千萬圓ト致シマシテ、既定ノ募債額三億二千萬圓ニ合セテ四億八千萬圓ト改正イタシタイト云フノガ本案ノ趣意デアリマス、御協賛ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 本院規則第五十二條ニ依リマシテ會議時間ノ延長ヲ宣告イタシマス、日程第十五ノ特別委員ハ諸君ニ於テ御異議ガ無ケレバ、日程第七ノ法案ノ特別委員ニ付託イタシマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 又諸君ニ於テ御異議ガナケレバ、日程第十六號ヨ

リ第十九號マデ一括シテ議題トシ、説明ヲ煩ハシマヌ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 第十六、國債整理基金特別會計法中改正法律案、第十七、家祿賞典祿處分法施行法中改正法律案、第十八、鐵道國有法中改正法律案、第十九、京釜鐵道買收法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

國債整理基金特別會計法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十六日

衆議院議長奥繁三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

國債整理基金特別會計法中改正法律案

國債整理基金特別會計法中左ノ通改正ス

第五條 政府ハ國債ノ整理又ハ償還ノ爲必要ナル額ヲ限度トシ起債スルコトヲ得

トヲ得

附則

大正五年法律第三十四號ハ之ヲ廢止ス

本法施行前國債整理基金特別會計法ニ依リ發行シタル國債ノ元金ノ消滅時

效ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

參照

大正五年法律第三十四號

政府ハ外國債ヲ整理償還スル爲必要アルトキハ國債整理基金特別會計法第

五條ノ規定ニ依ラス内國債ヲ發行スルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

家祿賞典祿處分法施行法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十六日

衆議院議長奥繁三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

家祿賞典祿處分法施行法中改正法律案

家祿賞典祿處分法施行法中左ノ通改正ス

第五條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ公債ハ發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ五十年内ニ之ヲ償還

ス

第六條第二項ヲ削ル

附則

本法施行前祿高整理ノ爲發行シタル公債ノ元金ノ消滅時効ニ付テハ仍從前

ノ例ニ依ル

鐵道國有法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十六日

衆議院議長奥繁三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

鐵道國有法中改正法律案

鐵道國有法中左ノ通改正ス

第十五條 削除

第十六條 削除

第十八條中「第十六條」ヲ「第十四條」ニ改ム

附則

本法施行前鐵道國有法ニ依リ發行シタル國債ノ元金ノ消滅時効ニ付テハ仍

從前ノ例ニ依ル

京釜鐵道買收法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十六日

衆議院議長奥繁三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

京釜鐵道買收法中改正法律案

京釜鐵道買收法中左ノ通改正ス

第十三條 削除

第十四條 削除

附則

本法施行前京釜鐵道買收法ニ依リ發行シタル國債ノ元金ノ消滅時効ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

〔政府委員神野勝之助君演壇ニ登ル〕

○政府委員(神野勝之助君) 國債整理基金特別會計法ハ借換ノ制限ヲ改メヤウトスルノガ一ツデアリマシテ、其借換ニ付テハ整理公債條例ニ依ルト云フコトヲ改メヤウトスルノガ第二點デアリマス、國債整理基金法第五條ニハ「政府ハ計算上利益有リト認ムル場合ニ於テ國債借換ノ爲低利ノ國債ヲ募集スルコトヲ得」ト云フコトガ規定シテアリマス、然ルニ計算上利益アリト云フ意味ハ甚ダ不明デアリマシテ、利廻リガ利益ニナルト云フ意味デアルノカ、又新規ニ出ス公債ト現在アル公債トノ比較ハ現在ノ相場ニ依ッテ比較スルノカ、或ハ當初發行イタル時ノ相場、發行價格ト比較スルノカ、若クハ外國債デアレバ爲替相場マデモ加算シテ之ヲ考ヘナケレバナラスノカ、甚ダ不明ノ點ガ多イデアリマス、ソレカラ低利ノ公債デナクテハ借換ガ出來ナイト云フコトニナリマス、今日我が國債ハ皆五分利デアリマスルカラ少クモ四分五厘以下ノ利子デナイト云フト借換ガ出來ナイト云フコトニナリマシテ、殆ド借換ヲ爲ス餘地ト云フモノガ無イデアリマス、ソレ故ニ之ヲ改正イタシマシテ、此低利ト云フヤウナ條件ヲ削リタイト云フノデアリマス、此改正案ノ文字ハ京釜鐵道買收法、國有鐵道法等ノ借換規定ト同様ノ規定デアリマシテ、別ニ珍ラシイ規定ト云フノデアリマセス、ソレカラ整理條例ハ明治十九年ノ制定ニ係ル條例デアリマシテ、公債利拂時期、據置時期時効等ニ付テ細カク規定ガアリマシテ、今日ノ事情ニ適シナイ規定ガ多イデアリマス、最近ノ公債ニ關スル法律ハ据置期限トカ、償還期限、或ハ利拂時期等ハ之ヲ命令ニ委任シテアルノデアリマス、又國債ノ消滅時効ハ國債ニ關スル一般ノ法律ニ規定シテアリマシテ、別ニ差支ナイノデアリマスカラ、整理公債條例ニハ依ラナイコトニ致シタイト云フノガ趣意デアリマス、ソレカラ家祿賞典祿處分法施行法、鐵道國有法、京釜鐵道買收法、是ハ皆其借換ニ付テ整理公債條例ニ依ルト書イテアルノヲ皆削除イタシ、借換スル場合ニハ一般ニ國

債ニ關スル一般原則ニ依ッテ借換ヲ致スト云フノデアリマシテ、別ニ實體上ノ變更デハナイノデアリマス、斯ノ如ク致シマシテ公債ノ取扱ノ整理統一ヲ致シタイト云フノガ一ツデアリマス、殊ニ斯ノ如キ改正案ヲ此臨時議會ニ提出致シマシタル所以ハ、鐵道國有法ニ依リマシテ政府ガ承繼イタシマシタル舊名北海道炭礦鐵道會社ノ英貨社債約三百九十万圓ト云フモノハ來年ノ一月一日滿期ニナルノデアリマス、デ之ヲ借換ヘマスルニ付テ古イ整理公債條例ノ規定ニ依ッテ借換ヘルコトハ不便デアリマシテ、又公債ノ統一ヲ欲ク

ト云フコトニナリマスルカラ、此場合ニ之ヲ改正イタシマシテ、一般ノ國債法規ニ依ッテ借換ヘタイト云フノデアリマス、ソレデ外ノ京釜鐵道買收法、家祿賞典祿處分法モ同様ノ規定デアリマスルカラ、此序ヲ以テ改正イタシタイト云フ趣意ニ外ナラスノデアリマス、何卒御協賛ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ於テ御異議ナケレバ、第十六ヨリ第十九ノ法案モ第七ノ法案ト同一委員ニ付託イタシマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十、大正九年勅令第五十二號、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議、委員長報告

大正九年勅令第五十二號(承諾ヲ求ムル件)

右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月十七日

右特別委員長

伯爵柳原 義光

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵柳原義光君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳原義光君 大正九年勅令第五十二號ノ承諾ヲ……簡單ニ經過結果ヲ御報告申上ゲマス、此委員會ハ二回開キマシテ第一回ハ十六日ニ開イテ此時ハ單ニ正副委員長ノ選舉ダケデ終リマシタ、次ニ十七日ノ午前ニ會議ヲ致シマシテ、此時ニハ政府委員モ出席サレマシテ二三質問ヲ致シタ結果、全會一致ヲ以テ承諾ヲ與フベキモノ即チ可決ヲ致シタノデアリマス、此内容ハ現時一般ノ物價ガ暴騰致シマシテ、就中食糧品其他生活上ノ必需品ガ最モ著シク騰貴致シマシタニ付キマシテ、之ヲ緩和シ低廉ニシテ國民生活ノ基礎ヲ安定ス

ルガ爲ニ、昨年十一月ノ緊急勅令ヲ以テマシテ、大豆、生ノ牛肉、綿織糸、綿織物及ビ鳥ノ卵、此五品ノ關稅ヲ免除若クハ低減ヲスルト云フ趣旨ニ基ク所ノ緊急勅令ヲ出シマシタ、サウシテ此事後承諾ヲ得ムガ爲ニ前議會ニ於テ政府ガ之ヲ提出致サレタノデアリマス、然ル處諸君モ御存知ノ如ク、議會ガ解散ニ相成リマシタニ付キマシテ、當然ノ結果其效力ガ無クナリマシタガ故ニ、ソレデ解散ノ翌月、三月二十四日ニ再ビ此緊急勅令ヲ出シマシテ、本年ノ十一月末日マデ此五品ノ關稅ノ免除若クハ低減ヲスルト云フ緊急勅令ヲ出シタノデアリマス、從ツテ憲法第八條第二項ノ規定ニ基キマシテ、當議會ニ此事後承諾案ヲ政府ハ提出致サレタノデアリマス、特別委員ハ委員會ニ於キマシテ審議ノ結果洵ニ是ハ尤モ千萬ナモノデアルト云フコトヲ認メマシテ承諾ヲ致シタノデアリマス、即チ全會一致ヲ以テ承諾ヲ與フベキモノト可決ヲ致シタノデアリマスカラ、簡單ニ是ダケヲ御報告申上ゲテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ヲ承諾スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十一、郵便貯金法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、廣澤伯爵

郵便貯金法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月十五日

右特別委員長

伯爵廣澤金次郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵廣澤金次郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵廣澤金次郎君 唯今日程ニ上リマシタル郵便貯金法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過及ビ結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ノ委員會ハ都合三回開キマシテ、内一回ハ委員長及ビ副委員長ノ互選ニ止メマシタガ、次ノ二回即チ去スル十五六兩日ニ互リマシテ、政府當局者即チ遞信省ノ當局者及ビ大藏省ノ當局者ト種々質問應答ノ結果、委員會ニ於キマシテハ御手許ニアリマスル報告書ノ通り政府原案通り可決シタ次第デアリマス、本案ノ内容ヲ申上ゲマ

スレバ至ッテ簡單ナ案デアリマスガ、現今ノ郵便貯金法ハ明治三十八年ノ制定デアリマシテ、其當時ノ郵便貯金高ト云フモノハ一億乃至二億位ノ額ニナッテ居ッタノデアリマス、所ガ大正九年、本年度ノ先月ニ於キマシテ既ニ八億ヲ越エタト云フ情勢デアリマス、又一人割ニ割リマスルト現行法ノ制定當時ハ、一人割カ十一圓餘デアリマスガ、八億ニナリマシタル今日ニ於キマシテハ一人割ガ三十四圓五十錢、斯ウ云フ統計ヲ示シテ居リマス、且又比較的多額ノ貯金ヲ爲スモノ、七百圓以上ノ貯金ノ口數ハは大正七年度ノ計數デアリマスガ、人數ニ於テ四萬七千餘人トナッテ居リマス、全體ノ貯蓄預金者ノ數ニ比較シマスルト一萬分ノ二十四ト云フ比例ニナッテ居リマス、斯ノ如キ次第デモアリマスルシ、又今日ノ時勢ノ推移、殊ニ經濟上ノ發展ノ今日ニ於キマシテハ、一人割ノ預ケ高ノ最高金額ヲ現行ノ千圓ヲ二千圓ニスルト云フコトハ當然デアラウト云フノガ、委員會ノ決議デアリマス、次ニ此厘位ヲ錢位ニ改メルト云フノガ又改正ノ一箇條デアリマスガ、是モ今日ノ如ク郵便貯金ガ八億圓ニ達シ、又預入人ノ數モ八十三萬以上トナリマシタ今日デアリマスカラ、非常ナル手數ヲ要スルノデアリマス故ニ、事務ノ敏捷ヲ圖リ從ツテ經費ノ節減ヲ圖ルト云フ爲ニハ、今迄ノ厘位切捨ヲ錢位切捨ニスルト云フノモ、是亦時勢ニ伴ヒマシテ相當ノ改正デアラウ、斯ウ云フコトニ歸著シタノデアリマス、次ニ施行期日ノコトニ付テ申上ゲマスルガ、法律案ニハ本法施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムトアリマスガ、此施行期日ニ付キマシテ、政府ノ内意ヲ伺ヒマシタ所ガ、政府ハ管ニ通帳ノ印刷ト申シマスルガ此通帳ヲ新タニスルト同デアリマス、政府ハ管ニ通帳ノ印刷ト申シマスルガ此通帳ヲ新タニスルト同時ニ、通帳ノ内容ニ於キマシテモ、種々改正シタイト云フ點ガアルト云フコトデアリマス故ニ、是等ノ改正ノ點モアリマスルシ、又全然新ラシク通帳ヲ發行シナケレバナラスト云フコトニナリマスルカラ、ソノ準備ノ出來次第之ヲ施行スル、斯ウ云フ結果ニナルノデアリマス、以上ガ本案ニ對スル委員會ニ於キマスル質問ノ結果、又我々ノ論議ノ結果デアリマスガ、唯茲ニ本案ニ直接ノ關係ハアリマセスガ、委員會ニ種々議論ガアリマシタコトデゴザイマスカラ、茲ニ御報告申上ゲテ置キマスノハ、郵便貯金ノ利子引上ゲノコトデゴザイマス、郵便貯金利子引上ゲニ付キマシテハ、遞信省當局者トシテハ幾分カノ引上ゲハ希望セラレルヤウデアリマス、唯預金ノ運用ト云フモノハ、全然御承知ノ如ク大藏省所管ニ屬シマスカラ、大藏省當局者ノ意見ヲ伺ヒマ

シタ所ガ、大藏省當局者ノ意見ト致シマシテハ、他ノ銀行預金、民間ノ貯蓄銀行ノ預金トモ關係アリ、且又外國ノ例ニ依リマスルト、他ノ預金ノ利子ニ比較シマシテ、郵便貯金ノ利子ト云フモノハ、餘程低クナッテ居ルト云フコトデアリマス、是等ノ外國ノ例モアリ、且又一般銀行ノ預金ニ及ボス影響ガアルニ依ッテ、大藏省トシテハ郵便貯金利子引上ゲニハ同意ハ出來ナイト云フコトデアリマス、委員會ニ於キマシテハ委員ノ一人ヨリ説ガ出マシテ、成程一般ノ預金ノ利子ヲ引上ゲルト云フコトハ、其大藏省ノ意見ハ無論尊重スベキモノデアアル、故ニ唯銀行者ガ預金ノ利子ヲ引上ゲ又ハ貯蓄銀行ガ貯蓄預金ノ利息ヲ引上ゲル度ニ郵便貯金ノ利子ヲ引上ゲルガ如キハ、無論主張スル所デハナイガ、今日ノ經濟界ノ趨勢ノ如ク預金ト云ヒ、公債ノ利廻リト云ヒ日本銀行ノ貸付日歩ト云ヒ、總テ是等ノモノヲ參照シテ兎角總テ利子昇降ヲスルト云フ趨勢ガ、果シテマダ今後ニ於キマシテ繼續スルヤウナ状態ナラバ、郵便貯金ノ利子モ相當ニ引上ゲルノガ今日適當デナイカ、此點ニ於テハ宜シク政府當局者ノ考慮ヲ煩シタイ、斯ウ云フ説ガ出タノデアリマス、モウ一ツ委員會ニ於キマシテ御説ガ出マシタノハ、此執行期日ニ付テデアリマスガ、是モ通帳ノ印刷出來次第ト云フコトハ甚ダ漠然デアアル、殊ニ今日ノ如ク財界ノ不安ノ場合ニ於キマシテハ、成ルベク此實行期日ハ財界ノ安定ヲ俟ッテ實行期日ヲ發表シテ貫ヒタイト云フ一種ノ希望モ出タノデアリマス、要スルニ案其モノニ付キマシテハ、委員會ニ一ツモ異論ハアリマセヌガ、此貯金利子ノ引上ゲト云フコトニ付テハ、色々質問、又質問ニ非ズシテ議論モアリマサルシ、又質問的ノ意見モ出タト云フコトハ茲ニ御報告申上ゲテ置キマス、以上申上ゲル通りデアリマシテ、委員會ニ於キマシテハ法案其モノニ付キマシテハ修正等ノ意見モ出マセズ、全會一致ヲ以テ政府原案通り可決シタノデアリマス此段御報告申上ゲマス

〔國務大臣野田卯太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(野田卯太郎君) 唯今委員長ノ御報告ニ對シテ彼是申上グルデハゴザイマセヌガ、遞信省ハ幾ラカノ利子引上ハ希望シテ居ッテ、大藏省デ反對スルト云フガ如キ御言葉ゴザイマシタガ、政府ノ中ガ二ツニ割レテ居ルト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ存ジマス、重ニ此預金ノ運用ハ御報告ノ通り……重ニト云フヨリモ全クゴザイマセヌガ……大藏省デ取扱フノデゴザイマシテ、利子ノ關係ハ甚ダ大藏省デハ重要ノモノデ、民間ノ銀行及ビ貯蓄銀行、

殊ニ此公債ニ大關係ヲ持ツモノデゴザイマスカラ、大藏省デハ遞信大臣ヨリモ一層重ク考ヘラルルルチウハ當然ノコトト思ヒマス、決シテ私大藏省ヲ差置イテ希望スルト云フ譯デゴザイマセヌカラ、此段辯ジテ置キマス、又御希望ノ點ニ於キマシテハ、遞信大臣ト致シマシテモ、大藏大臣ト致シマシテモ、篤ト考慮イタシマシテ、出來ルダケノコトハ考慮スル積リデゴザイマスカラ、此段ヲ申上ゲテ置キマス

○伯爵廣澤金次郎君 本案ハ至ッテ簡單ナモノデアリマスカラ讀會ノ手續ヲ省略シテ、直チニ決セラレムコトヲ希望イタシマス

○子爵片桐貞央君 賛成

○子爵西大路吉光君 賛成

○子爵榎本武憲君 賛成

○子爵京極高備君 賛成

○子爵山口弘達君 賛成

○男爵内田正敏君 賛成

○男爵山内長人君 賛成

○男爵阪井重季君 賛成

○子爵吉田清風君 賛成

○阪本鈺之助君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 廣澤伯爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ニ對シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス……明二十日ハ本會議ハ休會イタシマス、本日指名イタシマシタ特別委員ニ於カレマシテハ、速ニ正副

委員長ノ互選ヲ行ハレムコトヲ望ミマス……議事日程ハ決定次第本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會
午後四時四十五分散會

